





科目コード	科目名	実務経験のある教員による授業	地域志向	単位	担当者	関連資格			
						生活	療法	樹木	フライフ
1 S K 22 KY	社会心理学			2	小石鉄兵		○		
学習成果	学習成果 1)一般教養知識								
	学習成果 7)社会的基礎知識								
授業の概要	社会心理学の位置付けを理解し、どのような学問であるのかを理解する。また、社会における立場・環境が個人・集団に与える影響により、陥りやすい心理状態やその特性を知る。これにより、社会で役立つための思考方法を身に付ける。								
授業の形式	基本的には、講義形式で行い、時折アクティブラーニングを実施する。								
到達目標と対応する学習成果	① 社会心理学の概要を説明できる						学習成果 1)一般教養知識		
	② 生活や仕事における倫理観や社会的責任などを理解し対応することができる						学習成果 7)社会的基礎知識		
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
履修上の注意点/試験やレポート等に対するフィードバックの方法	通常、配布する資料に沿って講義を行う。/資料の紛失に注意する(紛失時は有料)。/アクティブラーニング実践時のフィードバックは、終了直後に口頭で行う。								
評価の方法と基準	学習成果1):到達目標① 80点(内訳:定期試験で80点分) 学習成果7):到達目標② 20点(内訳:課題の提出内容および状況5点分、発表(アクティブラーニング)15点分)								
教科書	特に使用しない。適宜、プリントを配布する。								
参考書	・徹底図解 社会心理学 監修 山岸俊男 (株) 新生出版社								
	・社会心理学 キーワード 編者 山岸俊男 (株) 有斐閣双書								
	・グラフィック 社会心理学 第2版 池上知子・遠藤由美 共著 (株)サイエンス社								
	・面白くてよくわかる! 社会心理学 著者 齋藤 勇 (株)アスペクト								
授業計画	回	授業内容			アクティブラーニング	授業以外の学習(予習・復習などの具体的内容及びそれに必要な時間)			
	1	社会心理学について(歴史、分類、社会心理学が扱うテーマ等)				授業の予習(内容:社会心理学とはなにかについて)30分以上取り組むこと。授業で扱ったプリントの内容の要点を整理すること(復習1時間以上)。			
	2	社会の中の個人について①(自己認知、自己概念等)				授業の予習(内容:自己認知、自己概念等について)30分以上取り組むこと。授業で扱ったプリントの内容の要点を整理すること(復習1時間以上)。			
	3	社会の中の個人について②(防衛機制、アイデンティティ、自己カテゴリー化理論等)				授業の予習(内容:防衛機制、アイデンティティ、自己カテゴリー化理論等について)30分以上取り組むこと。授業で扱ったプリントの内容の要点を整理すること(復習1時間以上)。			
	4	対人認知と行動について①(ステレオタイプ、自己呈示等)			○	授業の予習(内容:ステレオタイプ、自己呈示、等について)30分以上取り組むこと。授業で扱ったプリントの内容の要点を整理すること(復習1時間以上)。			
	5	対人認知と行動について②(関係的自己、重要他者の存在等)				授業の予習(内容:関係的自己、重要他者の存在、等について)30分以上取り組むこと。授業で扱ったプリントの内容の要点を整理すること(復習1時間以上)。			
	6	対人認知と行動について③(自尊感情、態度等)				授業の予習(内容:自尊感情、態度、等について)30分以上取り組むこと。授業で扱ったプリントの内容の要点を整理すること(復習1時間以上)。			
	7	対人認知と行動について④(認知的不協和理論、自己効力感等)				授業の予習(内容:認知的不協和理論、自己効力感、等について)30分以上取り組むこと。授業で扱ったプリントの内容の要点を整理すること(復習6時間以上)。			
	8	対人認知と行動について⑤(表情の認知=ノンバーバルコミュニケーション、等)			○	授業の予習(内容:表情の認知=ノンバーバルコミュニケーション、等について)30分以上取り組むこと。授業で扱ったプリントの内容の要点を整理すること(復習1時間以上)。			
	9	偏った対人認知について(偏見、ステレオタイプ脅威等)				授業の予習(内容:偏見、ステレオタイプ脅威、等について)30分以上取り組むこと。授業で扱ったプリントの内容の要点を整理すること(復習1時間以上)。			
	10	偏った対人認知について(対人魅力、第一印象等)				授業の予習(内容:対人魅力、第一印象、等について)30分以上取り組むこと。授業で扱ったプリントの内容の要点を整理すること(復習1時間以上)。			
	11	対人関係の処理について(葛藤への対処行動モデル、対人関係の発展段階等)				授業の予習(内容:葛藤への対処行動モデル、対人関係の発展段階、等について)30分以上取り組むこと。授業で扱ったプリントの内容の要点を整理すること(復習1時間以上)。			
	12	交渉・および取引等の説得的コミュニケーションについて				授業の予習(内容:説得的コミュニケーション、等について)30分以上取り組むこと。授業で扱ったプリントの内容の要点を整理すること(復習1時間以上)。			
	13	集団の中の人間について(分配的公正、リーダーシップ等)			○	授業の予習(内容:分配的公正、リーダーシップ、等について)30分以上取り組むこと。授業で扱ったプリントの内容の要点を整理すること(復習1時間以上)。			
	14	文化と人間の心理について(分配的公正、リーダーシップ等)				授業の予習(内容:分配的公正、リーダーシップ、等について)30分以上取り組むこと。授業で扱ったプリントの内容の要点を整理すること(復習1時間以上)。			
	15	社会現象・社会問題の心理について(マスメディアの影響、行動感染等)			○	授業の予習(内容:マスメディアの影響、行動感染、等について)30分以上取り組むこと。授業で扱ったプリントの内容の要点を整理すること(復習1時間以上)。			
16	定期試験								

科目コード	科目名	実務経験のある教員による授業	地域志向	単位	担当者	関連資格			
						生活	療法	樹木	フライフ
2 S K 11 KY	英語 I			汎用力 2	清水孝子				
学習成果	学習成果 1)一般教養知識								
授業の概要	現代社会の興味ある話題について書かれた英文読解を通じ、英文を読む際に必要な重要構文やイディオム、現在よく使われる英単語の習得を目指す。英語のリスニングスキルを身につけるために、英語の歌を活用しながら英語音声の聞き取りの基礎を学ぶ。また、与えられたテーマに沿って、簡単に自分の考えを英語で述べる訓練もします。								
授業の形式	講義・演習(アクティブラーニング)								
到達目標と対応する学習成果	①リスニングを通じ、正確に聞き取るようになる					学習成果 1)一般教養知識			
	②英文を読む際に必要な重要構文やイディオム、現在よく使われる英単語を習得している					学習成果 1)一般教養知識			
	③英語で自分の意見をまとめる					学習成果 1)一般教養知識			
	④								
	⑤								
	⑥								
履修上の注意点／試験やレポート等に対するフィードバックの方法	各回の授業で、予習内容を確認するために、学生にアトランダムに発表させる。また、毎回のワークシートの提出で学習内容の理解度を確認する。								
評価の方法と基準	評価は毎回のワークシートの提出及び成果が50点、期末テストの成果が50点の総合評価で判定する。 学習成果 1)一般教養知識100点(到達目標①～③を上記基準で按分)								
教科書	教科書: AMBITIONS Elementary(金星堂出版)、A Shorter Course in TOEIC TEST READING 450(南雲堂)								
参考書	・ 特になし								
	・								
	・								
	・								
授業計画	回	授業内容			アクティブラーニング	授業以外の学習(予習・復習などの具体的内容及びそれに必要な時間)			
	1	Unit1 Cross-Cultural Understanding :異文化理解を学ぶ			○	知らなかった単語や熟語を覚え、復習をしておくこと(1時間)、次週の内容の予習(1時間)			
	2	課題プリントによる授業(1)			○	知らなかった単語や熟語を覚え、復習をしておくこと(1時間)、次週の内容の予習(1時間)			
	3	Unit2 Foods -海外の和食文化の人気について学ぶ			○	知らなかった単語や熟語を覚え、復習をしておくこと(1時間)、次週の内容の予習(1時間)			
	4	課題プリントによる授業(2)			○	知らなかった単語や熟語を覚え、復習をしておくこと(1時間)、次週の内容の予習(1時間)			
	5	Unit3 Foreign Language Learning-外国語の習得法を学ぶ			○	知らなかった単語や熟語を覚え、復習をしておくこと(1時間)、次週の内容の予習(1時間)			
	6	課題プリントによる授業(3)			○	知らなかった単語や熟語を覚え、復習をしておくこと(1時間)、次週の内容の予習(1時間)			
	7	Unit4 Sports-オリンピックのアスリートの生活について考える			○	知らなかった単語や熟語を覚え、復習をしておくこと(1時間)、次週の内容の予習(1時間)			
	8	課題プリントによる授業(4)			○	知らなかった単語や熟語を覚え、復習をしておくこと(1時間)、次週の内容の予習(1時間)			
	9	Unit5 Fashion-スティーブ・ジョブズ流のファッションの秘密について考える			○	知らなかった単語や熟語を覚え、復習をしておくこと(1時間)、次週の内容の予習(1時間)			
	10	課題プリントによる授業(5)			○	知らなかった単語や熟語を覚え、復習をしておくこと(1時間)、次週の内容の予習(1時間)			
	11	Unit6 Living Things-サボテンの意義を考える～弱いcanを聞き取る、「to+動詞」を			○	知らなかった単語や熟語を覚え、復習をしておくこと(1時間)、次週の内容の予習(1時間)			
	12	課題プリントによる授業(6)			○	知らなかった単語や熟語を覚え、復習をしておくこと(1時間)、次週の内容の予習(1時間)			
	13	Unit7 Art-ITが生み出す新しい芸術の学び方考える			○	知らなかった単語や熟語を覚え、復習をしておくこと(1時間)、次週の内容の予習(1時間)			
	14	課題プリントによる授業(7)			○	知らなかった単語や熟語を覚え、復習をしておくこと(1時間)、これまでの資料を整理しておくこと(1時間)			
	15	まとめ				総復習(2時間)			
16	定期試験(試験時間は70分)				復習の試験				

科目コード	科目名	実務経験のある教員による授業	地域志向	単位	担当者	関連資格			
						生活	療法	樹木	フライフ
3 S K 12 KY	英語 II		汎用力	2	清水孝子				
学習成果	学習成果 1)一般教養知識								
授業の概要	英語 I に引き続いての授業である。現代社会の興味ある話題について書かれた英文読解を通じ、英文を読む際に必要な重要構文やイディオム、現在よく使われる英単語の習得を目指す。英語のリスニングスキルを身につけるために、英語の歌を活用しながら英語音声の聞き取りの基礎を学ぶ。また、与えられたテーマに沿って、簡単に自分の考えを英語で述べる訓練もします。								
授業の形式	講義・演習(アクティブラーニング)								
到達目標と対応する学習成果	① リスニングを通じ、正確に聞き取るようになる					学習成果 1)一般教養知識			
	② 英文を読む際に必要な重要構文やイディオム、現在よく使われる英単語を習得している					学習成果 1)一般教養知識			
	③ 英語で自分の意見をまとめる					学習成果 1)一般教養知識			
	④								
	⑤								
	⑥								
履修上の注意点/試験やレポート等に対するフィードバックの方法	各回の授業で、予習内容を確認するために、学生にアトラダムに発表させる。また、毎回のワークシートの提出で学習内容の理解度を確認する。								
評価の方法と基準	評価は毎回のワークシートの提出及び成果が50点、期末テストの成果が50点の総合評価で判定する 学習成果 1)一般教養知識100点(到達目標①~③を上記基準で按分)								
教科書	教科書: AMBITIONS Elementary(4技能統合型で学ぶ英語コース: 初級編 金星堂出版、VELC研究会教材開発グループ編著。必要に応じてプリント(読解練習用他)を配布する。								
参考書	・ 特になし ・ ・ ・								
授業計画	回	授業内容			アクティブラーニング	授業以外の学習(予習・復習などの具体的内容及びそれに必要な時間)			
	1	Unit8 Global Issues-核廃棄物について考える			○	知らなかった単語や熟語を覚え、復習をしておくこと(1時間)、次週の内容の予習(1時間)			
	2	課題プリントによる授業(1)			○	知らなかった単語や熟語を覚え、復習をしておくこと(1時間)、次週の内容の予習(1時間)			
	3	Unit9 Japanese Culture-忍者の真実について考える～てつながる語句を聞き取る			○	知らなかった単語や熟語を覚え、復習をしておくこと(1時間)、次週の内容の予習(1時間)			
	4	課題プリントによる授業(2)			○	知らなかった単語や熟語を覚え、復習をしておくこと(1時間)、次週の内容の予習(1時間)			
	5	Unit10 Human Rights-世界の児童労働(児童虐待)について考える			○	知らなかった単語や熟語を覚え、復習をしておくこと(1時間)、次週の内容の予習(1時間)			
	6	課題プリントによる授業(3)			○	知らなかった単語や熟語を覚え、復習をしておくこと(1時間)、次週の内容の予習(1時間)			
	7	Unit11 Health & Medical Issues-誰もが実行できる長寿の秘訣について考える			○	知らなかった単語や熟語を覚え、復習をしておくこと(1時間)、次週の内容の予習(1時間)			
	8	課題プリントによる授業(4)			○	知らなかった単語や熟語を覚え、復習をしておくこと(1時間)、次週の内容の予習(1時間)			
	9	Unit12 Environmental Issues-騒音公害について考える			○	知らなかった単語や熟語を覚え、復習をしておくこと(1時間)、次週の内容の予習(1時間)			
	10	課題プリントによる授業(5)			○	知らなかった単語や熟語を覚え、復習をしておくこと(1時間)、次週の内容の予習(1時間)			
	11	Unit13 Economy & Industry-大量の食糧廃棄物について考える			○	知らなかった単語や熟語を覚え、復習をしておくこと(1時間)、次週の内容の予習(1時間)			
	12	課題プリントによる授業(6)			○	知らなかった単語や熟語を覚え、復習をしておくこと(1時間)、次週の内容の予習(1時間)			
	13	Unit15 Science & Technology-ドローンの無限の可能性を考える			○	知らなかった単語や熟語を覚え、復習をしておくこと(1時間)、次週の内容の予習(1時間)			
	14	課題プリントによる授業(7)			○	知らなかった単語や熟語を覚え、復習をしておくこと(1時間)、これまでの資料を整理しておくこと(1時間)			
	15	まとめ				総復習(2時間)			
16	定期試験(試験時間は70分)				復習の試験				

科目コード	科目名	実務経験のある教員による授業	地域志向	単位	担当者	関連資格			
						生活	療法	樹木	フライフ
4 S K 11 KY	データサイエンス入門		汎用力	2	摺崎宏				
学習成果	学習成果 1)一般教養知識								
授業の概要	データサイエンスの基礎となる統計学の初歩から実験における統計学の応用まで解説する。								
授業の形式	講義(演習を含む)								
到達目標と対応する学習成果	① 平均値・分散・標準偏差などについて理解し、計算できる					学習成果 1)一般教養知識			
	② 分散分析を理解し、計算できる					学習成果 1)一般教養知識			
	③ 各種統計的手法を用いた検定(t検定、X検定など)を理解し、計算できる					学習成果 1)一般教養知識			
	④ 回帰と相関について理解し、計算できる					学習成果 1)一般教養知識			
	⑤ 多重比較法を理解し、計算と評価ができる					学習成果 1)一般教養知識			
	⑥								
履修上の注意点/試験やレポート等に対するフィードバックの方法	授業には毎回、計算のできる電卓を持参すること。携帯電話の電卓機能、関数電卓は使用不可。Google Classroomを利用して授業(資料配布など)を行うので各自で登録すること。クラスコードは第1回授業にて案内する。								
評価の方法と基準	定期試験で評価する。 学習成果5)一般教養知識100点 (到達目標①～⑤各20点。定期試験100%)								
教科書	使用しない。適宜プリントを配布する。								
参考書	・ ・ ・								
授業計画	回	授業内容			アクティブ ラーニング	授業以外の学習(予習・復習などの具体的内容及びそれに必要な時間)			
	1	データサイエンスと統計学、集団構造の記述(平均値、偏差、分散、標準偏差、標準誤差、2項分布、正規分布、誤差法則と中心極限定理など)			○	授業後、授業の内容について2時間復習すること			
	2	推定と検定(統計的推論、検定のやり方、点推定、区間推定)			○	授業後、授業の内容について2時間復習すること			
	3	平均値に関する推定と検定(母平均の検定と母平均の差の推定と検定 一大標本の場合一)			○	授業後、授業の内容について2時間復習すること			
	4	平均値に関する推定と検定(母平均の検定と母平均の差の推定と検定 一小標本の場合一)			○	授業後、授業の内容について2時間復習すること			
	5	平均値に関する推定と検定(母平均の差の推定と検定 一対応のあるデータの場合一)			○	授業後、授業の内容について2時間復習すること			
	6	分散に関する推定と検定( $\chi^2$ 分布、分散の検定と推定)			○	授業後、授業の内容について2時間復習すること			
	7	離散量に関する推定と検定(割合の差の推定と検定、適合度検定)			○	授業後、授業の内容について2時間復習すること			
	8	回帰と相関①(相関・回帰の意味、相関図と相関係数・寄与率、回帰式、逆推定)			○	授業後、授業の内容について2時間復習すること			
	9	回帰と相関②(重回帰の考え方、重回帰分析、回帰係数の検定)			○	授業後、授業の内容について2時間復習すること			
	10	実験計画と統計学の応用①(乱塊法、ラテン方格法、一元配置実験)			○	授業後、授業の内容について2時間復習すること			
	11	実験計画と統計学の応用②(二元配置実験 一線り返しのない場合一)			○	授業後、授業の内容について2時間復習すること			
	12	実験計画と統計学の応用③(二元配置実験 一線り返しのある場合一)			○	授業後、授業の内容について2時間復習すること			
	13	実験計画と統計学の応用④(分散分析と多重比較)			○	授業後、授業の内容について2時間復習すること			
	14	実験計画と統計学の応用⑤(直交表を用いた実験計画と検定)			○	授業後、授業の内容について2時間復習すること			
	15	実験計画と統計学の応用⑥(官能検査と評価法(一対比較法、順位法))			○	授業後、授業の内容について2時間復習すること			
16	定期試験(90分)								

科目コード	科目名	実務経験のある教員による授業	地域志向	単位	担当者	関連資格			
						生活	療法	樹木	フラスコ
5 S K 11 KY	コミュニケーション論	○	汎用力	2	花坂歩 (実)		○		
学習成果	学習成果 1) 一般教養知識 学習成果 8) 多様性・協働性 学習成果 9) 主体性・思考力・判断力 学習成果 10) 表現力								
授業の概要	本授業では、自己の内外的現象を読み解き、言葉で表現できるようになることを目指す。まずは現象に触れた「自分」の意見を文字や音声で表現できるようにする。そして、自分の役割、他者との人間的なつながりを考えながら、その意見を場や目的に応じて応用できるようにする。そして、他者と協働的に話し合える力を実践を通して養っていく。								
授業の形式	講義及び実技								
到達目標と対応する学習成果	① 言語表現、身体表現に関する基礎的な知識や技能について説明することができる。						学習成果 1) 一般教養知識		
	② 自らの意見を論理的に表現するとともに、他者の意見を傾聴し、相互理解を図ることができる。						学習成果 8) 多様性・協働性		
	③ 内省を通して自らの課題と目標を定め、意欲と探究心を持って学修することができる。						学習成果 9) 主体性・思考力・判断力		
	④ 他者を尊重した言語及び身体表現ができる。						学習成果 10) 表現力		
	⑤								
	⑥								
履修上の注意点／試験やレポート等に対するフィードバックの方法	自分の思いや考えていることを文章にしたり、大勢の前で発表したり、表現したりしてもらう。また、毎回、「授業を振り返って」という300字作文に取り組み、他、中間レポートとして600字作文を課す。								
評価の方法と基準	毎回の300字作文と表現実技、最終レポートによって評価する。 学習成果 1) 一般教養知識 到達目標①) 30点 学習成果 8) 多様性・協働性 到達目標②) 10点 学習成果 9) 主体性・思考力・判断力 到達目標③) 20点 学習成果 10) 表現力 到達目標④) 40点								
教科書	使用しない。必要に応じてプリントを配布する。								
参考書	・ ・ ・ ・								
授業計画	回	授業内容			アクティブラーニング	授業以外の学習(予習・復習などの具体的内容及びそれに必要な時間)			
	1	これからの時代が求める自己と資質・能力			○	授業で学んだ基礎知識が日常生活の中でどのように現れているか、観察・記録する。(復習・予習として1週間で4時間)			
	2	伝達における「規制」と「補填」			○	授業で学んだ基礎理論が日常生活の中でどのように現れているか、観察・記録する。(復習として1週間で4時間)			
	3	会話における「含意」			○	授業で学んだ作文技術を活用して、作文力の向上を図る。(復習として1週間で4時間)			
	4	小括: コミュニケーションの仕組みについて			○	時間内に課題が終わるように、予習に努め、事後においては課題の修正に努める。(予習・復習として1週間で4時間)			
	5	文章記述の作法			○	授業で学んだ作文技術を活用して、作文力の向上を図る。(復習として1週間で4時間)			
	6	文章表記の作法			○	授業で学んだ作文技術を活用して、作文力の向上を図る。(復習として1週間で4時間)			
	7	文章表現の作法			○	授業で学んだ作文技術を活用して、作文力の向上を図る。(復習として1週間で4時間)			
	8	小括: 文章作成の際の留意点			○	時間内に課題が終わるように、予習に努め、事後においては課題の修正に努める。(予習・復習として1週間で4時間)			
	9	ポディーワーク(1)			○	弛緩操体法を指導するので、毎日、朝晩の20分ずつ体操をする。(1週間で4時間)			
	10	ポディーワーク(2)			○	弛緩操体法を指導するので、毎日、朝晩の20分ずつ体操をする。(1週間で4時間)			
	11	ポディーワーク(2)			○	弛緩操体法を指導するので、毎日、朝晩の20分ずつ体操をする。(1週間で4時間)			
	12	小括: 言語と身体の関係性			○	時間内に課題が終わるように、予習に努め、事後においては課題の修正に努める。(予習・復習として1週間で4時間)			
	13	自己の探究(1)			○	授業で学んだ自己探究の方法を用いて、復習課題に取り組む。(復習として1週間で4時間)			
	14	自己の探究(2)			○	授業で学んだ自己探究の方法を用いて、復習課題に取り組む。(復習として1週間で4時間)			
	15	授業全体のまとめ			○	時間内に課題が終わるように、予習に努め、事後においては課題の修正に努める。(予習・復習として1週間で4時間)			
16	定期試験								

科目コード	科目名	実務経験のある教員による授業	地域志向	単位	担当者	関連資格			
						生活	療法	樹木	フラフ
6 S E 21 KY	英会話 I		汎用力	1	清水孝子				
学習成果	学習成果 2)一般教養技能								
授業の概要	異文化理解、食料問題、生物などの諸問題についての英文を読み、そのための語彙や表現を学ぶ。一定のレベルの基礎力のある人が、さらにその力を強固なものにする。英語圏での日常生活を想定したコンテンツやタイムリーなスピーチの音声言語のリスキングの訓練だけでなく、自分の考えを英語で伝える運用練習も含まれます。								
授業の形式	講義・演習(アクティブラーニング)								
到達目標と対応する学習成果	① グローバルな現代のテーマに沿った諸問題についての英文を読み解き、その問題について考える力を身につける。					学習成果 2)一般教養技能			
	② 英語圏での日常生活を想定したコンテンツの音声英語を聞き取り、ペアワークを通して自分の考えを伝えられる。					学習成果 2)一般教養技能			
	③ 農業・園芸・造園・環境問題などのコンテンツの音声英語を聞き取り、ペアワークを通して自分の考えを伝えられる。					学習成果 2)一般教養技能			
	④								
	⑤								
	⑥								
履修上の注意点/試験やレポート等に対するフィードバックの方法	各回の授業で、予習内容を確認するために、学生にアトラダムに発表させる。また、毎回のワークシートの提出やペアワークの成果で学習内容の理解度を確認する。								
評価の方法と基準	評価は毎回のワークシートの提出やペアワークの成果が50点、期末テストの成果が50点の総合評価で判定 学習成果 2)一般教養技能100点(到達目標①~③を上記基準で按分)								
教科書	教科書: AMBITIONS Pre-intermediate(4技能統合型で学ぶ英語コース: 準中級編 金星堂出版、VELC研究会教材開発グループ編著。必要に応じてプリント(読解文やスピーチ原稿など)を配布する。								
参考書	・ 特になし ・ ・ ・								
授業計画	回	授業内容			アクティブラーニング	授業以外の学習(予習・復習などの具体的内容及びそれに必要な時間)			
	1	Unit1 Cross-Cultural Understanding-異文化理解について学ぶ~強く発音される語を聞き取る、仮の主語を見抜く			○	知らなかった単語や熟語を覚え、復習をしておくこと(1時間)、次週の内容の予習(1時間)			
	2	課題プリントによる授業(1)			○	知らなかった単語や熟語を覚え、復習をしておくこと(1時間)、次週の内容の予習(1時間)			
	3	Unit2 Foods-パブリカの色と値段の関係について考える~語順のまま理解する、後ろからの説明を見抜く(後置修飾)			○	知らなかった単語や熟語を覚え、復習をしておくこと(1時間)、次週の内容の予習(1時間)			
	4	課題プリントによる授業(2)			○	知らなかった単語や熟語を覚え、復習をしておくこと(1時間)、次週の内容の予習(1時間)			
	5	Unit3 Foreign Language Learning-英語上達法について学ぶ~消える t と d を聞き取る、実現の可能性を見抜く(仮定法)			○	知らなかった単語や熟語を覚え、復習をしておくこと(1時間)、次週の内容の予習(1時間)			
	6	課題プリントによる授業(3)			○	知らなかった単語や熟語を覚え、復習をしておくこと(1時間)、次週の内容の予習(1時間)			
	7	Unit4 Sports-スーパーボウルの魅力について考える~弱い can を聞き取る、and がつなぐものを見抜く(並列1)			○	知らなかった単語や熟語を覚え、復習をしておくこと(1時間)、次週の内容の予習(1時間)			
	8	課題プリントによる授業(4)			○	知らなかった単語や熟語を覚え、復習をしておくこと(1時間)、次週の内容の予習(1時間)			
	9	Unit5 Fashion: ファッションと生き方の因果関係について考える~弱い that を聞き取る、but や or がつなぐものを見抜く(並列2)			○	知らなかった単語や熟語を覚え、復習をしておくこと(1時間)、次週の内容の予習(1時間)			
	10	課題プリントによる授業(5)			○	知らなかった単語や熟語を覚え、復習をしておくこと(1時間)、次週の内容の予習(1時間)			
	11	Unit6 Living Things-人類の繁栄を支える「骨」について考える~n でつながる語句を聞き取る、文脈にあった意味を選ぶ(多義語)			○	知らなかった単語や熟語を覚え、復習をしておくこと(1時間)、次週の内容の予習(1時間)			
	12	課題プリントによる授業(6)			○	知らなかった単語や熟語を覚え、復習をしておくこと(1時間)、次週の内容の予習(1時間)			
	13	Unit7 Art-日本の芸術が海外にどのように影響を与えたかを考える~弱い of を聞き取る、知らない単語の意味を推測する 1			○	知らなかった単語や熟語を覚え、復習をしておくこと(1時間)、次週の内容の予習(1時間)			
	14	課題プリントによる授業(7)			○	知らなかった単語や熟語を覚え、復習をしておくこと(1時間)、次週の発表の準備(1時間)			
	15	まとめと英語でのReview Quiz			○	これまでの配布資料を整理し、次週のReview Quizの準備(2時間)			
16	定期試験(試験時間は70分)				復習の試験				

科目コード	科目名	実務経験のある教員による授業	地域志向	単位	担当者	関連資格			
						生活	療法	樹木	フライフ
7 S E 22 KY	英会話Ⅱ		汎用力	1	清水孝子				
学習成果	学習成果 2)一般教養技能								
授業の概要	英会話Ⅰに引き続いての授業である。食料危機、人権、健康、環境などの諸問題についての英文を読み、そのための語彙や表現を学ぶ。一定のレベルの基礎力のある人が、さらにその力を強固なものにする。英語圏での日常生活を想定したコンテンツやタイムリーなスピーチの音声言語のリスキングの訓練だけでなく、自分の考えを英語で伝える運用練習も含まれます。								
授業の形式	講義・演習(アクティブ・ラーニング)								
到達目標と対応する学習成果	① グローバルな現代のテーマに沿った諸問題についての英文を読み解き、その問題について考える力を身につける。 ② 英語圏での日常生活を想定したコンテンツの音声英語を聞き取り、ペアワークを通して自分の考えを伝えられる。 ③ 農業・園芸・造園・環境問題などのコンテンツの音声英語を聞き取り、ペアワークを通して自分の考えを伝えられる。 ④ ⑤ ⑥						学習成果 2)一般教養技能 学習成果 2)一般教養技能		
履修上の注意点／試験やレポート等に対するフィードバックの方法	各回の授業で、予習内容を確認するために、学生にアトラダムに発表させる。また、毎回のワークシートの提出やペアワークの成果で学習内容の理解度を確認する。								
評価の方法と基準	評価は毎回のワークシートの提出やペアワークの成果が50点、期末テストの成果が50点の総合評価で判定 学習成果 2)一般教養技能100点(到達目標①～③を上記基準で按分)								
教科書	教科書: AMBITIONS Pre-intermediate(4技能統合型で学ぶ英語コース: 準中級編 金星堂出版、VELC研究会教材開発グループ編著。必要に応じてプリント(読解文やスピーチ原稿など)を配布する。								
参考書	・ 特になし ・ ・ ・								
授業計画	回	授業内容			アクティブ・ラーニング	授業以外の学習(予習・復習などの具体的内容及びそれに必要な時間)			
	1	Unit8 Global Issues-先進国と発展途上国の格差を考える～対比による強調を理解する、知らない単語の意味を理解する 2			○	知らなかった単語や熟語を覚え、復習をしておくこと(1時間)、次週の内容の予習(1時間)			
	2	課題プリントによる授業(1)			○	知らなかった単語や熟語を覚え、復習をしておくこと(1時間)、次週の内容の予習(1時間)			
	3	Unit9 Japanese Culture-和食が海外で愛される理由を考える～話の展開を予測する、代名詞が受けているものを見つける			○	知らなかった単語や熟語を覚え、復習をしておくこと(1時間)、次週の内容の予習(1時間)			
	4	課題プリントによる授業(2)			○	知らなかった単語や熟語を覚え、復習をしておくこと(1時間)、次週の内容の予習(1時間)			
	5	Unit10 Human Rights-「死刑」執行の是非を考える～のみこまれる dn を聞き取る、同じことを指している語句を見つける			○	知らなかった単語や熟語を覚え、復習をしておくこと(1時間)、次週の内容の予習(1時間)			
	6	課題プリントによる授業(3)			○	知らなかった単語や熟語を覚え、復習をしておくこと(1時間)、次週の内容の予習(1時間)			
	7	Unit11 Health & Medical Issues-健康への向き合い方について考える～似た音に注意して聞き取る、文章展開の手がかりを見つける(談話標識)			○	知らなかった単語や熟語を覚え、復習をしておくこと(1時間)、次週の内容の予習(1時間)			
	8	課題プリントによる授業(4)			○	知らなかった単語や熟語を覚え、復習をしておくこと(1時間)、次週の内容の予習(1時間)			
	9	Unit12 Environmental Issues-地球温暖化の歴史を振り返る～強弱のリズムに慣れる、時間軸にそった文章展開を見抜く			○	知らなかった単語や熟語を覚え、復習をしておくこと(1時間)、次週の内容の予習(1時間)			
	10	課題プリントによる授業(5)			○	知らなかった単語や熟語を覚え、復習をしておくこと(1時間)、次週の内容の予習(1時間)			
	11	Unit13 Economy & Industry-IT進化和就活の方法の変化について考える～t でつながる語句を聞き取る、比較・対照する文章展開を見抜く			○	知らなかった単語や熟語を覚え、復習をしておくこと(1時間)、次週の内容の予習(1時間)			
	12	課題プリントによる授業(6)			○	知らなかった単語や熟語を覚え、復習をしておくこと(1時間)、次週の内容の予習(1時間)			
	13	Unit15 Science & Technology-自動車の自動運転化について考える～r でつながる語句を聞き取る、全体の要点を読み取る			○	知らなかった単語や熟語を覚え、復習をしておくこと(1時間)、次週の内容の予習(1時間)			
	14	課題プリントによる授業(7)			○	知らなかった単語や熟語を覚え、復習をしておくこと(1時間)、次週の発表の準備(1時間)			
	15	まとめと英語でのReview Quiz			○	これまでの配布資料を整理し、次週のReview Quizの準備(2時間)			
16	定期試験(試験時間は70分)				復習の試験				

科目コード	科目名	実務経験のある教員による授業	地域志向	単位	担当者	関連資格			
						生活	療法	樹木	フラフ
8 S E 11 KY	身体スポーツ科学 I			1	松田史朗				
学習成果	学習成果 2)一般教養技能								
授業の概要	「運動と健康」というテーマの基に授業を進め、自らの健康に目を向け、運動の実践を通して、健康の維持・増進を図る。また、その活動の中から、公正、協力、責任、参画、共生などに対する態度を育み、同時に、思考力、判断力、表現力を身に付け、自らの健康ライフの礎を築く。 題材となる競技の基本技術を習得し、ルールや戦術を学び、ゲームをととして競技力の向上を図る。また、競技の運営にも関わっていく。								
授業の形式	実技								
到達目標と対応する学習成果	① バドミントンの基本技術を身に付け、戦術やルールを理解し、ゲームが出来る。					学習成果 2)一般教養技能			
	② バレーボールの基本技術を身に付け、戦術やルールを理解し、ゲームが出来る。					学習成果 2)一般教養技能			
	③ バスケットボールの基本技術を身に付け、戦術やルールを理解し、ゲームが出来る。					学習成果 2)一般教養技能			
	④ 各競技、練習やゲームを通して、体力の向上と共に健康への意識を高めていくことが出来る。					学習成果 2)一般教養技能			
	⑤								
	⑥								
履修上の注意点／試験やレポート等に対するフィードバックの方法	運動に適したウェアとシューズを着用して臨むこと。 日頃より自らの「健康」に関しての意識を高め、主体的かつ積極的に授業に臨み、体力の維持や向上を目指した活動を行うこと。								
評価の方法と基準	学習成果2)一般教養技能100点 (到達目標①②③④各25点。それぞれ、実技への積極的参加30%、実技(技術等)点30%、定期試験40%)								
教科書									
参考書	・ ・ ・								
授業計画	回	授業内容			アクティブ ラーニング	授業以外の学習(予習・復習などの具体的内容及びそれに必要な時間)			
	1	オリエンテーション: 授業の概要と留意点、安全確認と実践についての講義 ウォーミングアップの重要性と怪我防止について(講義) ウォームアップの実践			○	自己の健康意識をもち、日常生活を見直す。 自らが出来る運動を行う。(1h)			
	2	バドミントン1: 技術説明(フォアハンド、バックハンド、ストローク) 上記、基礎技術の練習① ルール説明①			○	授業の反省と課題(フォアハンド、バックハンド等のイメージトレーニング) 余暇の時間を利用して、イメージを持って体を動かす。(1h)			
	3	バドミントン2: 前時の復習、技術説明(サーブ、ハイクリア、スマッシュ、ドライブ) 上記、基礎技術の練習② ルール説明②			○	授業の反省と課題(サーブ、ハイクリア、スマッシュ等に対するイメージ トレーニング)余暇の時間を利用して、イメージを持って体を動かす。(1h)			
	4	バドミントン3: 前時の復習、ゲーム説明(ルール、コート、ゲーム実践) これまでの応用実践			○	授業の反省と課題(ルールを覚える、ゲームイメージ 1h)			
	5	バドミントン4: 前時の復習、ゲームゲームを楽しむ シングルのルールとゲーム実践			○	授業の反省と課題(シングルス試合のイメージづくり 1h)			
	6	バドミントン5: 前時の復習、ゲームゲームを楽しむ ダブルスのルールとゲーム実践			○	授業の反省と課題(ダブルス試合のイメージづくり。 1h)			
	7	バレーボール1: 技術説明(オーバーハンドパス、アンダーハンドパス) 上記、基礎技術の練習① ルール説明①			○	授業の反省と課題(オーバーハンド、アンダーハンド等のイメージトレーニ ング)余暇の時間を利用して、イメージを持って体を動かす。 1h)			
	8	バレーボール2: 前時の復習、技術説明(レシーブ、トス、スパイク) 上記、基礎技術の練習② ルール説明②			○	授業の反省と課題(レシーブ、トス、スパイク等のイメージトレーニング) 余暇の時間を利用して、イメージを持って体を動かす。 1h)			
	9	バレーボール3: 前時の復習、ゲーム説明(ルール、コート、ゲーム実践) これまでの応用実践(簡易ゲーム)			○	授業の反省と課題(ルールを覚える、ゲームイメージ) 余暇の時間を利用して、イメージを持って体を動かす。 1h)			
	10	バレーボール4: 前時の復習、ゲームゲームを楽しむ ゲーム実践①、反省と課題			○	授業の反省と課題(ゲームに対するイメージづくり。1h)			
	11	バレーボール5: 前時の復習、ゲームゲームを楽しむ ゲーム実践②、反省と課題			○	授業の反省と課題(ゲームに対するイメージづくり。1h)			
	12	バスケットボール1: 技術説明(ボールフィーリング、パス、シュート) 上記、基礎技術の練習① ルール説明①			○	授業の反省と課題(パス、シュート等のイメージトレーニング) 余暇の時間を利用して、イメージを持って体を動かす。(1h)			
	13	バスケットボール2: 前時の復習、技術説明(ドリブル、シュート) 上記、基礎技術の練習② ルール説明②			○	授業の反省と課題(ドリブル、シュート等のイメージトレーニング、ルール を覚える15min)余暇の時間を利用して、イメージを持って体を動かす。(1 h)			
	14	バスケットボール3: 前時の復習、技術説明(アタック・ディフェンス) 上記、基礎技術の練習③ ルール説明③			○	授業の反省と課題(ルールを覚える) 余暇の時間を利用して、ゲームイメージを持って体を動かす。(1h)			
	15	バスケットボール4: 前時の復習、ゲームを楽しむ ゲーム実践①、反省と課題			○	前期授業を通して、健康の維持・増進に向けて自己課題を設けて実践す る。(1h)			
	16	定期試験							

科目コード	科目名	実務経験のある教員による授業	地域志向	単位	担当者	関連資格			
						生活	療法	樹木	フラフ
9 S E 12 KY	身体スポーツ科学Ⅱ			1	松田史朗				
学習成果	学習成果 2)一般教養技能								
授業の概要	「運動と健康」というテーマの基に授業を進め、自らの健康に目を向け、運動の実践を通して、健康の維持・増進を図る。前期授業をふまえ、スポーツの見方・考え方を働かせ、課題を発見し主体的、合理的、計画的解決に向けた学習過程を通して、心身の健全な育成を図ると共に、生涯スポーツへの推進・発展に寄与する態度を養う。題材となる競技の基本技術を活かし習得し、ルールや戦術を学び、ゲームをとおして競技力の向上を図る。また、競技の運営にも関わっていく。								
授業の形式	実技								
到達目標と対応する学習成果	① バドミントンの基礎技術を応用し高度なレベルでゲームが出来る。					学習成果 2)一般教養技能			
	② バレーボールの基礎技術を応用し高度なレベルでゲームが出来る。					学習成果 2)一般教養技能			
	③ バasketボールの基礎技術を応用し高度なレベルでゲームが出来る。					学習成果 2)一般教養技能			
	④ 各競技、練習やゲームを通して、生涯スポーツへの意識を高めていくことが出来る。					学習成果 2)一般教養技能			
	⑤								
	⑥								
履修上の注意点／試験やレポート等に対するフィードバックの方法	運動に適したウェアとシューズを着用して臨むこと。日頃より自らの「健康」に関しての意識を高め、主体的かつ積極的に授業に臨み、体力の維持や向上を目指した活動を行うこと。								
評価の方法と基準	学習成果2)一般教養技能100点 (到達目標①②③④各25点。それぞれ、実技への積極的参加70%、実技(技術等)点30%)								
教科書									
参考書	・ ・ ・								
授業計画	回	授業内容			アクティブラーニング	授業以外の学習(予習・復習などの具体的内容及びそれに必要な時間)			
	1	バドミントン1: 基礎技術の確認 シングルスゲーム実践①(準備から運営まで)			○	ラリーが続くように自己の課題をもって授業に臨み、修正点を見出す。余暇を利用しイメージトレーニングの実施。			
	2	バドミントン2: 基礎技術の確認 ダブルスゲーム実践②(準備から運営まで)			○	自己の役割を認識し、ゲームに臨む。互いに気づいたことを互いに指摘し合う。余暇を利用しイメージトレーニングの実施。			
	3	バレーボール1: 基礎技術の確認 ゲーム実践①(準備から運営まで)			○	自己の役割を認識し、ゲームに臨む。チームで気づいたことを互いに指摘し合い、余暇を利用しイメージトレーニングする。			
	4	バレーボール2: 基礎技術の確認 ゲーム実践①(準備から運営まで)			○	自己の役割を認識し、ゲームに臨む。チームで気づいたことを互いに指摘し合い、余暇を利用しイメージトレーニングする。			
	5	バスケット1: 基礎技術の確認 ゲーム実践①(準備から運営まで)			○	自己の役割を認識し、ゲームに臨む。チームで気づいたことを互いに指摘し合い、余暇を利用しイメージトレーニングする。			
	6	バスケット2: 基礎技術の確認 ゲーム実践①(準備から運営まで)			○	自己の役割を認識し、ゲームに臨む。チームで気づいたことを互いに指摘し合い、余暇を利用しイメージトレーニングする。			
	7	フリースポーツ1: 2競技実戦(自由選択) ゲーム実践①(準備から運営まで)			○	これまでの受講競技から1種目を選択肢、自らのゲームプランを立てて臨む。反省を怠らず次回に活かすこと。			
	8	フリースポーツ2: 2競技実戦(自由選択) ゲーム実践②(準備から運営まで)			○	これまでの受講から競技から1種目を選択肢、自らのゲームプランを立てて臨む。反省を怠らず次回に活かす。(競技種目は前回と異なっても良い)			
	9	フリースポーツ3: 2競技実戦(自由選択) ゲーム実践③(準備から運営まで)			○	これまでの受講から競技から1種目を選択肢、自らのゲームプランを立てて臨む。反省を怠らず次回に活かす。(競技種目は前回と異なっても良い)			
	10	フリースポーツ4: 2競技実戦(自由選択) ゲーム実践④(準備から運営まで)			○	これまでの受講から競技から1種目を選択肢、自らのゲームプランを立てて臨む。反省を怠らず次回に活かす。(競技種目は前回と異なっても良い)			
	11	フリースポーツ5: 2競技実戦(自由選択) ゲーム実践⑤(準備から運営まで)			○	これまでの受講から競技から1種目を選択肢、自らのゲームプランを立てて臨む。反省を怠らず次回に活かす。(競技種目は前回と異なっても良い)			
	12	フリースポーツ6: 2競技実戦(自由選択) ゲーム実践⑥(準備から運営まで)			○	これまでの受講から競技から1種目を選択肢、自らのゲームプランを立てて臨む。反省を怠らず次回に活かす。(競技種目は前回と異なっても良い)			
	13	フリースポーツ7: 2競技実戦(自由選択) ゲーム実践⑦(準備から運営まで)			○	これまでの受講から競技から1種目を選択肢、自らのゲームプランを立てて臨む。反省を怠らず次回に活かす。(競技種目は前回と異なっても良い)			
	14	フリースポーツ8: 2競技実戦(自由選択) ゲーム実践⑧(準備から運営まで)			○	これまでの受講から競技から1種目を選択肢、自らのゲームプランを立てて臨む。反省を怠らず次回に活かす。(競技種目は前回と異なっても良い)			
	15	フリースポーツ9: 2競技実戦(自由選択) ゲーム実践⑨(準備から運営まで)			○	後期の授業を振り返り、健康の維持・増進を図ると共に、生涯スポーツへと結びつけていく。			
16									

科目コード	科目名	実務経験のある教員による授業	地域志向	単位	担当者	関連資格			
						生活	療法	樹木	フライフ
10 S E 12 KY	情報処理		汎用力	1	摺崎宏				
学習成果	学習成果 2)一般教養技能								
授業の概要	現代社会におけるコンピュータの役割と利用、及びデータ処理の方法についてパソコンの使い方を学ぶ。また、論文やレポート原稿の作成、編集のためのワードプロセッサ、表計算の使い方を学ぶ。								
授業の形式	演習								
到達目標と対応する学習成果	① 指定された様式で正確に文章を作成することができる (Word)					学習成果 2)一般教養技能			
	② 見やすい表を作成することができる (Excel)					学習成果 2)一般教養技能			
	③ IF関数やデータベース関数を用いてプログラムを作成することができる (Excel)					学習成果 2)一般教養技能			
	④ プログラムを用いて統計学的検定ができる (Excel)					学習成果 2)一般教養技能			
	⑤ 見やすい棒グラフや折れ線グラフを作成することができる (Excel)					学習成果 2)一般教養技能			
	⑥								
履修上の注意点/試験やレポート等に対するフィードバックの方法	本授業を受講するにはノートパソコン(マイクロソフトOfficeインストール済み)が必要である。タブレットは不可。Google Classroomを利用して授業(資料配布、課題提出)を行うので各自登録すること。								
評価の方法と基準	課題で評価する。学習成果2)一般教養技能100点(到達目標①～⑤各20点。)毎授業のレポート内容をルーブリックにより評価する。ただし、レポートが1回でも提出されていない場合は不可とする。ルーブリック評価(A、B、C、D) A:20点(手順と内容を理解し正確に作業できる)、B:15点(手順と内容を理解し概ね正確に作業できる)、C:10点(手順と内容を理解し作業できる)、D:5点(手順と内容を理解していない)								
教科書	使用しない。								
参考書	・ ・ ・ ・								
授業計画	回	授業内容			アクティブラーニング	授業以外の学習(予習・復習などの具体的内容及びそれに必要な時間)			
	1	Wordによる文書作成①			○	何度も復習をしておくこと。時間内に課題が終わらない場合は次の授業までに終わらせておくこと(約1時間要する)			
	2	Wordによる文書作成②			○	何度も復習をしておくこと。時間内に課題が終わらない場合は次の授業までに終わらせておくこと(約1時間要する)			
	3	Excelによる表作成①			○	何度も復習をしておくこと。時間内に課題が終わらない場合は次の授業までに終わらせておくこと(約1時間要する)			
	4	Excelによる表作成②			○	何度も復習をしておくこと。時間内に課題が終わらない場合は次の授業までに終わらせておくこと(約1時間要する)			
	5	Excelによる表計算① 四則演算			○	何度も復習をしておくこと。時間内に課題が終わらない場合は次の授業までに終わらせておくこと(約1時間要する)			
	6	Excelによる表計算② セル参照			○	何度も復習をしておくこと。時間内に課題が終わらない場合は次の授業までに終わらせておくこと(約1時間要する)			
	7	Excelによる表計算③ 関数			○	何度も復習をしておくこと。時間内に課題が終わらない場合は次の授業までに終わらせておくこと(約1時間要する)			
	8	Excelによる表計算④ IF関数			○	何度も復習をしておくこと。時間内に課題が終わらない場合は次の授業までに終わらせておくこと(約1時間要する)			
	9	Excelによる表計算⑤ 3D計算、印刷			○	何度も復習をしておくこと。時間内に課題が終わらない場合は次の授業までに終わらせておくこと(約1時間要する)			
	10	Excelによる表計算⑤ Lookup関数、入力規則			○	何度も復習をしておくこと。時間内に課題が終わらない場合は次の授業までに終わらせておくこと(約1時間要する)			
	11	Excelによる表計算⑤ グラフ			○	何度も復習をしておくこと。時間内に課題が終わらない場合は次の授業までに終わらせておくこと(約1時間要する)			
	12	Excelによる表計算⑤ データベース			○	何度も復習をしておくこと。時間内に課題が終わらない場合は次の授業までに終わらせておくこと(約1時間要する)			
	13	Excelによる表計算⑤ 情報処理の応用(標準偏差、標準誤差)			○	何度も復習をしておくこと。時間内に課題が終わらない場合は次の授業までに終わらせておくこと(約1時間要する)			
	14	Excelによる表計算⑤ 情報処理の応用(統計学的検定)			○	何度も復習をしておくこと。時間内に課題が終わらない場合は次の授業までに終わらせておくこと(約1時間要する)			
	15	まとめ(課題に取り組み提出する)			○	課題を指定した期日までに電子ファイルでclassRoomに提出すること			
16									

科目コード	科目名	実務経験のある教員による授業	地域志向	単位	担当者	関連資格			
						生活	療法	樹木	フライフ
11 S O 30 KY	ボランティア実践			1	宮原ほか				
学習成果	学習成果 2)一般教養技能								
	学習成果 7)社会的基礎知識								
	学習成果 8)多様性・協働性								
授業の概要	ボランティアという言葉はvolunteer(自発性)に語源を発する言葉である。広い意味で語られる言葉であるが、言うまでもなく単なる無償の奉仕作業ということではない。ボランティアの実践を通して、身の回りの人々や現代社会の諸問題を見直し、ボランティアの意義を理解する。								
授業の形式	学内外でボランティアを実践する。ボランティアの内容については、老人ホームや身障者の施設等を訪問してボランティアを体験するなど医療、救急活動の分野から、大学周辺の清掃活動、災害支援活動、子供会等での支援活動などが該当するが、あらかじめ本学がボランティア活動に該当すると認めたものに限る。ボランティア時間は累計30時間以上とする。								
到達目標と対応する学習成果	① 社会科学と自然科学に関する基礎的な技能を習得し、実践することができる					学習成果 2)一般教養技能			
	② ボランティアの意義を理解し、実践することができる					学習成果 7)社会的基礎知識			
	③ 多様な他者を理解し協調・協働して課題に取り組むことができる					学習成果 8)多様性・協働性			
	④								
	⑤								
	⑥								
履修上の注意点／試験やレポート等に対するフィードバックの方法	対人援助やボランティア活動に関心をもつ学生であることが望ましい。自ら進んで考え行動して自己理解・他者理解を深めるよう意識してほしい。								
評価の方法と基準	ボランティア許可願とボランティア活動報告書等により評価する								
教科書									
参考書	・ ・ ・								
授業計画	回	授業内容			アクティブ ラーニング	授業以外の学習(予習・復習などの具体的内容及びそれに必要な時間)			
	1	受け入れ先でのボランティア			○	活動の振り返りと報告書の作成および翌日以降の準備			
	2	受け入れ先でのボランティア			○	活動の振り返りと報告書の作成および翌日以降の準備			
	3	受け入れ先でのボランティア			○	活動の振り返りと報告書の作成および翌日以降の準備			
	4	受け入れ先でのボランティア			○	活動の振り返りと報告書の作成および翌日以降の準備			
	5	受け入れ先でのボランティア			○	活動の振り返りと報告書の作成および翌日以降の準備			
	6	受け入れ先でのボランティア			○	活動の振り返りと報告書の作成および翌日以降の準備			
	7	受け入れ先でのボランティア			○	活動の振り返りと報告書の作成および翌日以降の準備			
	8	受け入れ先でのボランティア			○	活動の振り返りと報告書の作成および翌日以降の準備			
	9	受け入れ先でのボランティア			○	活動の振り返りと報告書の作成および翌日以降の準備			
	10	受け入れ先でのボランティア			○	活動の振り返りと報告書の作成および翌日以降の準備			
	11	受け入れ先でのボランティア			○	活動の振り返りと報告書の作成および翌日以降の準備			
	12	受け入れ先でのボランティア			○	活動の振り返りと報告書の作成および翌日以降の準備			
	13	受け入れ先でのボランティア			○	活動の振り返りと報告書の作成および翌日以降の準備			
	14	受け入れ先でのボランティア			○	活動の振り返りと報告書の作成および翌日以降の準備			
	15	受け入れ先でのボランティア			○	活動の振り返りと報告書の作成			
16									

科目コード	科目名	実務経験のある教員による授業	地域志向	単位	担当者	関連資格			
						生活	療法	樹木	フライフ
12 S J 30 KY	学外実習(インターンシップ)			1	小石ほか				
学習成果	学習成果 7)社会的基礎知識								
	学習成果 8)多様性・協働性								
授業の概要	インターンシップは、学生の将来のキャリアプランに関連して、短大在学中に一定期間を企業などで就業体験することによって、仕事の本質を理解し、更なるキャリアプランの構築を図る制度です。従って、学生自身が実際の職場において就業体験を積むことにより高い職業意識の育成を図り、自立心・責任感のある人材を育成することを目的とする。								
授業の形式	講義【事前研修・事後研修(本学)】・実習【実施研修3日以上(受け入れ企業)】								
到達目標と対応する学習成果	① 職業意識(自立心と責任感)を身につけることができる。					学習成果 7)社会的基礎知識			
	② 指導者からの教育指導を謙虚な姿勢で学び、職業人としての協調的行動をとることができる。					学習成果 8)多様性・協働性			
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
履修上の注意点/試験やレポート等に対するフィードバックの方法	服装は学生らしい清楚なものを着用する。作業がともなう場合は作業着を着用する。就業については、実習先企業の就業規則を守り、遅刻・無断欠勤は厳に慎むこと。フィードバックについては、研修先からの報告を受け取り後に実施予定とする。								
評価の方法と基準	学習成果7):到達目標① 40点 (内訳:日報の内容40点分) 学習成果8):到達目標② 60点 (内訳:終了報告書の内容20点分、修了証明書の内容40点分)								
教科書	キャリアガイドブック 日経DISCO社								
参考書	・ ・ ・ ・								
授業計画	回	授業内容			アクティブラーニング	授業以外の学習(予習・復習などの具体的内容及びそれに必要な時間)			
	1	事前研修(研修企業の説明・社会人の基本心得・電話対応など)				実習の準備(インターンシップ先企業についての事前調査)30分以上、事前研修内容(企業人としての対応、等)についての振り返り(1時間以上)			
	2	企業で就業体験			○	実習の振り返りと報告書の作成(1時間以上)および翌日以降の準備(30分以上)			
	3	企業で就業体験			○	実習の振り返りと報告書の作成(1時間以上)および翌日以降の準備(30分以上)			
	4	企業で就業体験			○	実習の振り返りと報告書の作成(1時間以上)および翌日以降の準備(30分以上)			
	5	企業で就業体験			○	実習の振り返りと報告書の作成(1時間以上)および翌日以降の準備(30分以上)			
	6	企業で就業体験			○	実習の振り返りと報告書の作成(1時間以上)および翌日以降の準備(30分以上)			
	7	企業で就業体験			○	実習の振り返りと報告書の作成(1時間以上)および翌日以降の準備(30分以上)			
	8	企業で就業体験			○	実習の振り返りと報告書の作成(1時間以上)および翌日以降の準備(30分以上)			
	9	企業で就業体験			○	実習の振り返りと報告書の作成(1時間以上)および翌日以降の準備(30分以上)			
	10	企業で就業体験			○	実習の振り返りと報告書の作成(1時間以上)および翌日以降の準備(30分以上)			
	11	企業で就業体験			○	実習の振り返りと報告書の作成(1時間以上)および翌日以降の準備(30分以上)			
	12	企業で就業体験			○	実習の振り返りと報告書の作成(1時間以上)および翌日以降の準備(30分以上)			
	13	企業で就業体験			○	実習の振り返りと報告書の作成(1時間以上)および翌日以降の準備(30分以上)			
	14	企業で就業体験			○	実習の振り返りと終了報告書の作成(1時間30分以上)			
	15	事後研修【実習日報の提出 実習報告会(実施する場合あり)】			○				
16									

科目コード	科目名	実務経験のある教員による授業	地域志向	単位	担当者	関連資格				
						生活	療法	樹木	フアラフ	
13 S E 11 KY	教養演習 I		汎用力	1	宮原、小野、鍵和田					
学習成果	学習成果 1)一般教養知識									
授業の概要	生物(火曜)、国語(火曜)、化学(木曜)、数学(木曜)英語(金曜)に関する演習を行う。英語はeラーニングで行う。									
授業の形式	演習									
到達目標と対応する学習成果	① 英語に関する教養知識を身につけている(英検2級以上の文法の修得を目標とする)					学習成果 1)一般教養知識				
	② 国語に関する教養知識(漢字検定2級以上を目標とする)を身に付け、日常生活で活用することができる					学習成果 1)一般教養知識				
	③ 生物に関する教養知識を身に付け、他人にその知識を表現することができる					学習成果 1)一般教養知識				
	④ 化学に関する教養知識を身につけている					学習成果 1)一般教養知識				
	⑤ 数学、数的推理に関する教養知識を身につけている					学習成果 1)一般教養知識				
	⑥									
履修上の注意点/試験やレポート等に対するフィードバックの方法	編入学や公務員を目指す人は受講することが望ましい。本科目は卒業に要する単位数には含めることができないので注意すること。生・国は毎回ノートの内容を評価し、返却する。生・国は復習時に作成したノートを評価の対象としますので、その点に留意すること。英語eラーニングではパソコンを使用するので毎回必ず持参すること。									
評価の方法と基準	学習成果 1)一般教養知識100点((到達目標①、②と③、④と⑤をそれぞれ100点とし、3分の1に圧縮して合計する) 英語:eラーニングの進捗具合 国語・生物:家庭学習時のノートの提出状況及び内容 100% 化学数学:配布プリントの進捗状況									
教科書	英語:CASEC-G 和文英訳テスト 英文法学習教材 (和文英訳を自動添削するコンピュータテスト) 国語:漢検2級過去問題 漢検協会 (テキスト) 生物:生物トレーニングノートα 受験研究社(テキスト)									
参考書	・ 三訂版 サンエンスビュー生物総合資料 実教出版 *すでに生物の資料集を持っている人は、そちらで構いません。 ・ ・									
授業計画	回	授業内容			アクティブラーニング	授業以外の学習(予習・復習などの具体的内容及びそれに必要な時間)				
	1	英語	Eラーニング				毎日家で1時間Eラーニングする			
	2	英語	Eラーニング				毎日家で1時間Eラーニングする			
	3	英語	Eラーニング				毎日家で1時間Eラーニングする			
	4	英語	Eラーニング				毎日家で1時間Eラーニングする			
	5	英語	Eラーニング				毎日家で1時間Eラーニングする			
	6	英語	Eラーニング				毎日家で1時間Eラーニングする			
	7	英語	Eラーニング				毎日家で1時間Eラーニングする			
	8	英語	Eラーニング				毎日家で1時間Eラーニングする			
	9	英語	Eラーニング				毎日家で1時間Eラーニングする			
	10	英語	Eラーニング				毎日家で1時間Eラーニングする			
	11	英語	Eラーニング				毎日家で1時間Eラーニングする			
	12	英語	Eラーニング				毎日家で1時間Eラーニングする			
	13	英語	Eラーニング				毎日家で1時間Eラーニングする			
	14	英語	Eラーニング				毎日家で1時間Eラーニングする			
	15	英語	Eラーニング				毎日家で1時間Eラーニングする			
	16	国語1:漢字検定2級過去問①				○	過去問①の内容を復習ノートにまとめ、生物①の予習をすること(各1時間以上)			
	17	生物1:生命現象と物質				○	生物①の内容を復習ノートにまとめ、過去問②の予習をすること(各1時間以上)			
	18	国語2:漢字検定2級過去問②				○	過去問②の内容を復習ノートにまとめ、生物②の予習をすること(各1時間以上)			
	19	生物2:遺伝子のほたらき				○	生物②の内容を復習ノートにまとめ、過去問③の予習をすること(各1時間以上)			
	20	国語3:漢字検定2級過去問③				○	過去問③の内容を復習ノートにまとめ、生物③の予習をすること(各1時間以上)			
	21	生物3:生殖と発生				○	生物③の内容を復習ノートにまとめ、過去問④の予習をすること(各1時間以上)			
	22	国語4:漢字検定2級過去問④				○	過去問④の内容を復習ノートにまとめ、生物④の予習をすること(各1時間以上)			
	23	生物4:生物の環境応答				○	生物④の内容を復習ノートにまとめ、過去問⑤の予習をすること(各1時間以上)			
	24	国語5:漢字検定2級過去問⑤				○	過去問⑤の内容を復習ノートにまとめ、生物⑤の予習をすること(各1時間以上)			
	25	生物5:生態と環境				○	生物⑤の内容を復習ノートにまとめ、過去問⑥の予習をすること(各1時間以上)			
	26	国語6:漢字検定2級過去問⑥				○	過去問⑥の内容を復習ノートにまとめ、生物⑥の予習をすること(各1時間以上)			
	27	生物6:生物の進化と系統				○	生物⑥の内容を復習ノートにまとめ、過去問⑦の予習をすること(各1時間以上)			
	28	国語7:漢字検定2級過去問⑦				○	過去問⑦の内容を復習ノートにまとめ、生物⑦の予習をすること(各1時間以上)			
	29	生物7:生物の進化と系統②				○	生物⑦の内容を復習ノートにまとめ、過去問⑧の予習をすること(各1時間以上)			
30	国語8:漢字検定2級過去問⑧				○	生物⑦の内容を復習ノートにまとめ、全体の復習をすること(2時間以上)				

科目コード	科目名	実務経験のある教員による授業	地域志向	単位	担当者	関連資格				
						生活	療法	樹木	フライフ	
13 S E 11 KY	教養演習 I			汎用力 1	宮原、小野、鍵和田					
授業計画	回	授業内容			アクティブ ラーニング	授業以外の学習(予習・復習などの具体的内容及びそれに必要な時間)				
	31	化学1:原子量、分子量①				予習・復習にそれぞれ30分以上取り組むこと。				
	32	化学2:原子量、分子量②				予習・復習にそれぞれ30分以上取り組むこと。				
	33	化学3:物質①				予習・復習にそれぞれ30分以上取り組むこと。				
	34	化学4:物質②				予習・復習にそれぞれ30分以上取り組むこと。				
	35	化学5:化学反応式①				予習・復習にそれぞれ30分以上取り組むこと。				
	36	化学6:化学反応式②				予習・復習にそれぞれ30分以上取り組むこと。				
	37	化学7:化学反応の量的関係①				予習・復習にそれぞれ30分以上取り組むこと。				
	38	化学8:化学反応の量的関係②				予習・復習にそれぞれ30分以上取り組むこと。				
	39	数学1:速さ				予習・復習にそれぞれ30分以上取り組むこと。				
	40	数学2:濃度				予習・復習にそれぞれ30分以上取り組むこと。				
	41	数学3:集合算				予習・復習にそれぞれ30分以上取り組むこと。				
	42	数学4:数の性質				予習・復習にそれぞれ30分以上取り組むこと。				
	43	数学5:仕事算、ニュートン算				予習・復習にそれぞれ30分以上取り組むこと。				
	44	数学6:魔法陣				予習・復習にそれぞれ30分以上取り組むこと。				
	45	数学7:記数法				予習・復習にそれぞれ30分以上取り組むこと。				
	46	英語 Eラーニング					毎日家で1時間程度Eラーニングをする			
	47	英語 Eラーニング					毎日家で1時間程度Eラーニングをする			
	48	英語 Eラーニング					毎日家で1時間程度Eラーニングをする			
	49	英語 Eラーニング					毎日家で1時間程度Eラーニングをする			
	50	英語 Eラーニング					毎日家で1時間程度Eラーニングをする			
	51	英語 Eラーニング					毎日家で1時間程度Eラーニングをする			
	52	英語 Eラーニング					毎日家で1時間程度Eラーニングをする			
	53	英語 Eラーニング					毎日家で1時間程度Eラーニングをする			
	54	英語 Eラーニング					毎日家で1時間程度Eラーニングをする			
	55	英語 Eラーニング					毎日家で1時間程度Eラーニングをする			
	56	英語 Eラーニング					毎日家で1時間程度Eラーニングをする			
	57	英語 Eラーニング					毎日家で1時間程度Eラーニングをする			
	58	英語 Eラーニング					毎日家で1時間程度Eラーニングをする			
	59	英語 Eラーニング					毎日家で1時間程度Eラーニングをする			
60	英語 Eラーニング					毎日家で1時間程度Eラーニングをする				

科目コード	科目名	実務経験のある教員による授業	地域志向	単位	担当者	関連資格			
						生活	療法	樹木	フライフ
14 S E 12 KY	教養演習 II		汎用力	1	橋本、岩崎、小石				
学習成果	学習成果 1)一般教養知識								
授業の概要	時事・論述(火曜)、英検(木曜)、TOEIC(金曜)に関する演習を行う。								
授業の形式	演習								
到達目標と対応する学習成果	① 英語に関する教養知識を身につけている(TOEICスコア500以上を目標とする)					学習成果 1)一般教養知識			
	② 論述文を作成することができる					学習成果 1)一般教養知識			
	③ 英語に関する教養知識を身につけることができる(英検2級以上を目標)					学習成果 1)一般教養知識			
	④								
	⑤								
	⑥								
履修上の注意点/試験やレポート等に対するフィードバックの方法	編入学や公務員を目指す人は受講することが望ましい。本科目は卒業に要する単位数には含めることができないので注意すること。 論述課題はその都度添削して返却する。								
評価の方法と基準	学習成果 1)一般教養知識100点 (到達目標①、②、③をそれぞれ100点とし、3分の1に圧縮して合計する) TOEIC:模擬テスト(50点)、単語テスト(50点)、TOEIC 公開テスト、IPテストのスコアが500点以上の者は点数を加点する。 時事論述:課題レポートの提出状況により評価する 英検(到達目標③):定期的に実施する小テスト(ミニ模試およびまとめテスト(80点)、課題提出(20点)により評価する								
教科書	・教科書1:はじめてのTOEIC L&Rテスト 全パート総合対策								
参考書	・ ・ ・								
授業計画	回	授業内容			アクティブラーニング	授業以外の学習(予習・復習などの具体的内容及びそれに必要な時間)			
	1	TOEIC1:単語テスト、TOEIC試験について				TOEICの試験について公式HP等で調べておく(1時間以上)			
	2	TOEIC2:単語テスト、part1 写真描写問題について				単語テストの予習、教科書1を使用して復習(3時間以上)			
	3	TOEIC3:単語テスト、part2 応答問題について				単語テストの予習、教科書1を使用して復習(3時間以上)			
	4	TOEIC4:単語テスト、part3 会話問題について				単語テストの予習、教科書1を使用して復習(3時間以上)			
	5	TOEIC5:単語テスト、part4 説明文問題について				単語テストの予習、教科書1を使用して復習(3時間以上)			
	6	TOEIC6:単語テスト、part5 短文穴埋め問題について				単語テストの予習、教科書1を使用して復習(3時間以上)			
	7	TOEIC7:単語テスト、part6 長文問題について				単語テストの予習、教科書1を使用して復習(3時間以上)			
	8	TOEIC8:単語テスト、part7 読解問題について				単語テストの予習、教科書1を使用して復習(3時間以上)			
	9	TOEIC9:単語テスト、リスニング、ディクテーション				単語テストの予習、教科書1を使用して復習(3時間以上)			
	10	TOEIC10:単語テスト、リスニング、ディクテーション				単語テストの予習、教科書1を使用して復習(3時間以上)			
	11	TOEIC11:単語テスト、リーディング練習				単語テストの予習、教科書1を使用して復習(3時間以上)			
	12	TOEIC12:単語テスト、リーディング練習				単語テストの予習、教科書1を使用して復習(3時間以上)			
	13	TOEIC13:単語テスト、リーディング練習				単語テストの予習、教科書1を使用して復習(3時間以上)			
	14	TOEIC14:単語テスト、リスニング模擬テスト				単語テストの予習、教科書1を使用して復習(3時間以上)			
	15	TOEIC15:単語テスト、リーディング模擬テスト				単語テストの予習、教科書1を使用して復習(3時間以上)			
	16	時事論述1:論述の基本構造、表現の留意点				授業の内容について復習する(1時間)			
	17	時事論述2:論述の基本構造、表現の留意点				授業の内容について復習する(1時間)			
	18	時事論述3:例題1				課題について復習する(1時間)			
	19	時事論述4:例題2				課題について復習する(1時間)			
	20	時事論述3:例題3				課題について復習する(1時間)			
	21	時事論述4:例題4				課題について復習する(1時間)			
	22	時事論述5:例題5				課題について復習する(1時間)			
	23	時事論述4:例題6				課題について復習する(1時間)			
	24	時事論述5:例題7				課題について復習する(1時間)			
	25	時事論述6:例題8				課題について復習する(1時間)			
	26	時事論述5:例題9				課題について復習する(1時間)			
	27	時事論述6:例題10				課題について復習する(1時間)			
	28	時事論述7:例題12				課題について復習する(1時間)			
	29	時事論述6:例題13				課題について復習する(1時間)			
	30	時事論述7:例題14				課題について復習する(1時間)			

科目コード	科目名	実務経験のある教員による授業	地域志向	単位	担当者	関連資格			
						生活	療法	樹木	フライフ
14 S E 12 KY	教養演習Ⅱ			汎用力 1	橋本、摺崎、小石				
	回	授業内容		アクティブ ラーニング	授業以外の学習(予習・復習などの具体的内容及びそれに必要な時間)				
	31	英検1:単語、ミニ模試①:読解、リスニング			予習・復習にそれぞれ30分以上取り組むこと。				
	32	英検2:単語、ミニ模試②:読解、リスニング			予習・復習にそれぞれ30分以上取り組むこと。				
	33	英検3:単語、ミニ模試③:読解、リスニング			予習・復習にそれぞれ30分以上取り組むこと。				
	34	英検4:単語、ミニ模試④:読解、リスニング			予習・復習にそれぞれ30分以上取り組むこと。				
	35	英検5:単語、ミニ模試⑤:読解、リスニング			予習・復習にそれぞれ30分以上取り組むこと。				
	36	英検6:単語、ミニ模試⑥:読解、リスニング			予習・復習にそれぞれ30分以上取り組むこと。				
	37	英検7:単語、ミニ模試⑦:読解、リスニング			予習・復習にそれぞれ30分以上取り組むこと。				
	38	英検8:単語、ミニ模試⑧:読解、リスニング			予習・復習にそれぞれ30分以上取り組むこと。				
	39	英検9:単語、ミニ模試⑨:読解、リスニング			予習・復習にそれぞれ30分以上取り組むこと。				
	40	英検10:単語、ミニ模試⑩:読解、リスニング			予習・復習にそれぞれ30分以上取り組むこと。				
	41	英検11:単語、ミニ模試⑪:読解、リスニング			予習・復習にそれぞれ30分以上取り組むこと。				
	42	英検12:単語、ミニ模試⑫:読解、リスニング			予習・復習にそれぞれ30分以上取り組むこと。				
	43	英検13:単語、まとめテスト①			予習・復習にそれぞれ30分以上取り組むこと。				
	44	英検14:単語、まとめテスト②			予習・復習にそれぞれ30分以上取り組むこと。				
授業計画	45	英検15:単語、まとめテスト③			予習・復習にそれぞれ30分以上取り組むこと。				
	46								
	47								
	48								
	49								
	50								
	51								
	52								
	53								
	54								
	55								
	56								
	57								
	58								
	59								
	60								

科目コード	科目名	実務経験のある教員による授業	地域志向	単位	担当者	関連資格			
						生活	療法	樹木	フラワ
15 H K 11 AL	園芸学総論			2	清末、摺崎、宮原、橋本、小石、小野	◎	◎		
学習成果	学習成果 3)基礎的専門知識								
授業の概要	日本における園芸学の粗生産額は農業粗生産額の約4割を占めている。本授業では、花、野菜、果樹という園芸作物の生産・栽培を中心に歴史、分類から利用まで広い範囲を幅広く学ぶ。本学で開講している花卉園芸学、野菜園芸学、果樹園芸学、園芸療法学を学ぶ上での礎となる。								
授業の形式	講義(アクティブ・ラーニングを含む)								
到達目標と対応する学習成果	① 園芸作物の特徴、歴史、生産と消費、形態、品質保持、機能性成分について説明できる	学習成果 3)基礎的専門知識							
	② 園芸作物の環境と栽培との関係、生理・生態学的特性について説明できる	学習成果 3)基礎的専門知識							
	③ 花卉の種類と分類、育種と繁殖、栽培について説明できる	学習成果 3)基礎的専門知識							
	④ 野菜の種類と分類、育種と繁殖、栽培について説明できる	学習成果 3)基礎的専門知識							
	⑤ 果樹の種類と分類、育種と繁殖、栽培について説明できる	学習成果 3)基礎的専門知識							
	⑥ 園芸と健康の関係について説明できる	学習成果 3)基礎的専門知識							
履修上の注意点/試験やレポート等に対するフィードバックの方法	本授業は6人の教員によるオムニバス形式で行う。必修科目であることに留意すること。								
評価の方法と基準	定期試験で評価する。 学習成果3)100点(到達目標①15点、到達目標②15点、到達目標③20点、到達目標④20点、到達目標⑤20点、到達目標⑥10点)								
教科書	見てわかる農学シリーズ2 園芸学入門(第2版) 朝倉書店								
参考書	・田中宏著作「園芸学入門」(川島書店)								
	・樋口春三編著「観賞園芸」(全国農業改良普及協会)								
	・篠原温ら著「野菜」(実教出版)								
	・杉浦 明編著「果樹栽培の基礎」(農文協)								
授業計画	回	授業内容			アクティブ ラーニング	授業以外の学習(予習・復習などの具体的内容及びそれに必要な時間)			
	1	園芸と園芸作物(定義と特徴、発展の歴史、生産と消費) 担当:摺崎				2時間の予習と2時間の復習をすること。予習では教科書をしっかり読み込むこと。復習では生産と消費について最新情報を農水省のホームページで確認すること。			
	2	園芸作物の形態(栄養器官、生殖器官) 担当:摺崎				2時間の予習と2時間の復習をすること。予習では教科書をしっかり読み込むこと。復習では形態の名称と働きについてしっかり覚えること。			
	3	生育環境と栽培(土壌環境と管理、養分吸収と施肥、光合成と環境要因) 担当:小野				2時間の予習と2時間の復習をすること。予習では教科書をしっかり読み込むこと。復習では生育環境と栽培の関連性についてしっかり覚えること。			
	4	園芸作物の生理・生態学的特性(生活環、開花生理、果実の発育と成熟) 担当:小野				2時間の予習と2時間の復習をすること。予習では教科書をしっかり読み込むこと。復習では生理・生態学的特性についてしっかり覚えること。			
	5	花卉の種類と分類(原産地、来歴、学名、植物学的分類) 担当:宮原				2時間の予習は教科書を読み、教科書の復習と紹介した花など季節の花を身の周りや園芸店などで復習をして覚えることが望ましいです			
	6	花卉の育種と繁殖(遺伝学的特性、生殖様式、種子・種苗生産) 担当:宮原				2時間の予習は教科書を読み、教科書の復習と紹介した花など季節の花を身の周りや園芸店などで復習をして覚えることが望ましいです			
	7	花卉の栽培(品種、作型、環境、栽培技術) 担当:宮原				2時間の予習は教科書を読み、教科書の復習と紹介した花など季節の花を身の周りや園芸店などで復習をして覚えることが望ましいです			
	8	野菜の種類と分類(原産地、来歴、学名、植物学的分類) 担当:橋本				2時間の予習と2時間の復習をすること。予習では教科書をしっかり読み込むこと。復習では生育環境と栽培の関連性についてしっかり覚えること。			
	9	野菜の育種と繁殖(遺伝学的特性、生殖様式、種子・種苗生産) 担当:橋本				2時間の予習と2時間の復習をすること。予習では教科書をしっかり読み込むこと。復習では生育環境と栽培の関連性についてしっかり覚えること。			
	10	野菜の栽培(品種、作型、環境、栽培技術) 担当:橋本				2時間の予習と2時間の復習をすること。予習では教科書をしっかり読み込むこと。復習では生育環境と栽培の関連性についてしっかり覚えること。			
	11	果樹の種類と分類(原産地、来歴、学名、植物学的分類) 担当:清末				2時間の予習と2時間の復習をすること。予習では教科書をしっかり読み込むこと。復習では特に原産地についてしっかり覚えること。			
	12	果樹の育種と繁殖(遺伝学的特性、生殖様式、種子・種苗生産) 担当:清末				2時間の予習と2時間の復習をすること。予習では教科書をしっかり読み込むこと。復習では特に遺伝的特性についてしっかり覚えること。			
	13	果樹の栽培(品種、作型、環境、栽培技術) 担当:清末				2時間の予習と2時間の復習をすること。予習では教科書をしっかり読み込むこと。復習では特に品種についてしっかり覚えること。			
	14	園芸作物の品質と収穫後管理(品質と品質保持、機能性成分) 担当:摺崎				2時間の予習と2時間の復習をすること。予習では教科書をしっかり読み込むこと。復習では授業で取り上げていない品質保持の事例や機能性成分について調べること。			
	15	健康と園芸学(社会園芸(園芸福祉、園芸療法)) 担当:小石				2時間の予習と2時間の復習をすること。予習では教科書をしっかり読み込むこと。復習では社会園芸学で取り扱った内容についてしっかり覚えること。			
16	定期試験				教科書、資料等の持ち込みはできません。				

科目コード	科目名	実務経験のある教員による授業	地域志向	単位	担当者	関連資格			
						生活	療法	樹木	フライフ
16 H K 11 AL	造園学総論			2	鍵和田又一			○	
学習成果	学習成果 3)基礎的専門知識								
授業の概要	造園学は、私たちの生活空間を快適かつ機能的に修景していくこととする学問といえる。そのなかで社会が必要とする指導的立場の技術者の養成に寄与することである。造園学総論は造園の入門的学問と位置づけられる。造園の各論あるいは関係分野の教科目への理解、進展が円滑になるようにする。								
授業の形式	講義。講義終了時の定期試験を実施。レポートを提出。発表とまとめの討論を2回行う スライドやビデオを活用。								
到達目標と対応する学習成果	① 庭園・公園等の作品を通して、造園の知識や技術を理解することができる						学習成果 3)基礎的専門知識		
	② 庭園・公園等の作品についてテーマを選び調査研究し、その技術や知識(レポート含む)を発表することができる						学習成果 3)基礎的専門知識		
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
履修上の注意点/試験やレポート等に対するフィードバックの方法	先達が極めた修景・伝統的庭園・公園の作品を通して、造園の基本的な考え方、もの見方、感じ方、美的感性、高度で繊細な技術をぜひ学び取って欲しい。まとめのレポートは返却する。								
評価の方法と基準	評価の目安は学習成果 3)基礎的専門知識 庭園・公園等の作品を通して、造園の知識や技術の理解(定期試験)が50点、庭園・公園等の作品の調査研究や発表(レポート提出を含む)が50点。								
教科書	社団法人日本造園組合連合会編「造園施工必携」								
参考書	・ 上原敬二著「造園大辞典」加島書店								
	・ 日本公園緑地協会編「造園施工管理技術編」第一法規出版								
	・								
	・								
授業計画	回	授業内容			アクティブラーニング	授業以外の学習(予習・復習などの具体的内容及びそれに必要な時間)			
	1	ガイダンス:造園の学び方、造園に求められるもの。				造園の学び方、造園に求められるものについて要点を整理し一時間復習し、日本庭園の様式について一時間予習すること			
	2	日本庭園の様式。浄土式。枯山水。回遊式庭園。露地。西洋庭園の式との比較。露埋式庭園。平面幾何学式庭園。自然風景式庭園。パティオ。				日本庭園の様式について要点を整理し一時間復習し、造園の伝統的技法と手法について一時間予習すること			
	3	造園の伝統的技法と手法。見立ての手法。障りの手法。見え隠れの手法。				造園の伝統的技法と手法について要点を整理し一時間復習し、思想観と庭園の構図について一時間予習すること			
	4	思想観と庭園の構図。代表的な思想観を学び、それが庭園としてどのように造形されているか。真・添・対の不等辺三角形の配置。				思想観と庭園の構図について要点を整理し一時間復習し、作家とその作品について一時間予習すること			
	5	作家の職業とその作品。				作家の職業とその作品について要点を整理し一時間復習し、庭園の素材と役割について一時間予習すること			
	6	庭園の素材と役割。本歌と写し。役石と役木。庭石や庭木はその配される場所に意味がある。				庭園の素材と役割について要点を整理し一時間復習し、造園の今日的な課題について一時間予習すること			
	7	造園の今日的な課題。環境と景観の時代への対応を考える。				造園の今日的な課題と現状について要点を整理し一時間復習し、美の基本と造園について一時間予習すること			
	8	学生の発表とレポート提出と討論。			○	発表準備をし、造園の課題に対するレポートを作成し、要点を整理し一時間復習し、美の基本と造園について一時間予習すること			
	9	様々な美の基本。美の基本が造園にどう活かされているか。黄金分割の例を示し、造園設計に役立てる。				美の基本が造園にどう活かされているかについて要点を整理し一時間復習し、植物材料について一時間予習すること			
	10	植物材料。造園樹木、地被、芝生、花卉園芸植物。				植物材料について要点を整理し一時間復習し、ヒューマンスケールについて一時間復習すること			
	11	ヒューマンスケールとは。造園ではどう生かすか。人間工学的にみた各種施設の標準寸法。				ヒューマンスケールについて要点を整理し一時間復習し、都市と造園の役割について一時間予習すること			
	12	都市計画論:都市と造園の役割。アメニティーとは。快適な都市空間づくりに何が大切かを考える。地球温暖化を緩和する緑化法。				快適な都市空間づくりに関する要点を整理し一時間復習し、科学的環境修景について一時間予習すること			
	13	新しい造園:科学的環境修景。園芸療法とモデルガーデン。インテリアスケープ論。ピオトープとは。				科学的環境修景について要点を整理し一時間復習し、造園学の分野に求められるものについて一時間予習すること			
	14	学生の発表とレポート提出と討論。			○	発表準備をし、造園の課題に対するレポートを作成し、要点を整理し一時間予習し、造園の課題について一時間復習すること			
	15	造園学総論のまとめとレポート提出				造園学の分野に求められるものについて要点を整理し一時間復習し、造園学の分野に求められるものについて一時間予習すること			
16	定期試験				テストの復習を一時間すること、テスト後、自己採点し、必ず見直し理解を深めること				

科目コード	科目名	実務経験のある教員による授業	地域志向	単位	担当者	関連資格			
						生活	療法	樹木	フライフ
17 H K 11 AL	作物学			2	小野宣幸				
学習成果	学習成果 3)基礎的専門知識								
授業の概要	主要食糧である作物と人間生活の係わり、イネを中心とした主要作物の形態や生理・生態的特性並びに栽培方法について学ぶ。								
授業の形式	講義								
到達目標と対応する学習成果	① 人間生活と作物の係わりを習得し、自分の考えを表現できる					学習成果 3)基礎的専門知識			
	② 作物の成長と収量のしくみを習得し、自分の考えを表現できる					学習成果 3)基礎的専門知識			
	③ イネ科作物の生育と栽培法を習得し、自分の考えを表現できる					学習成果 3)基礎的専門知識			
	④ マメ類・イモ類・雑穀の生育と栽培法を習得し、自分の考えを表現できる					学習成果 3)基礎的専門知識			
	⑤								
	⑥								
履修上の注意点／試験やレポート等に対するフィードバックの方法	必修科目なので受講生は出席回数に留意すること。作物学の講義内容は、園芸実験実習で実際に栽培を行うこと(特に稲作)で、深く理解できる。また各講義に前回の復習を行う。各自前回講義の内容・要点を整理しておくこと。								
評価の方法と基準	期末試験で評価する。学習成果 3)基礎的専門知識 100点(到達目標①10点、到達目標②30点、到達目標③40点、到達目標④20点 期末試験100%)								
教科書	堀江武編著「作物栽培の基礎」農文協								
参考書	・ 国分牧衛著「新訂 食用作物」養賢堂 (図書館にあり)								
	・ 後藤雄佐ら著「作物学の基礎Ⅰ 食用作物」農文協 (図書館にあり)								
	・								
	・								
授業計画	回	授業内容			アクティブラーニング	授業以外の学習(予習・復習などの具体的内容及びそれに必要な時間)			
	1	人間生活と作物 食糧需給と作物生産			○	1回目の授業で学習した内容(人間生活と作物)を復習する(1時間以上)。2回目の授業予定の内容(作物の成長と体のしくみ)を予習する(1時間以上)。			
	2	作物の成長と体のしくみ ①栄養成長の進み方 ②生殖成長の進み方			○	2回目の授業で学習した内容(作物の成長と体のしくみ)を復習する(1時間以上)。3回目の授業予定の内容(作物の収量と栽培環境)を予習する(1時間以上)。			
	3	作物の収量と栽培環境			○	3回目の授業で学習した内容(作物の収量と栽培環境)を復習する(1時間以上)。4回目の授業予定の内容(稲作と米の利用)を予習する(1時間以上)。			
	4	稲作と米の利用			○	4回目の授業で学習した内容(稲作と米の利用)を復習する(1時間以上)。5回目の授業予定の内容(イネの一生と成長)を予習する(1時間以上)。			
	5	イネの一生と成長			○	5回目の授業で学習した内容(イネの一生と成長)を復習する(1時間以上)。6回目の授業予定の内容(イネの生育・収量と栽培環境)を予習する(1時間以上)。			
	6	イネの生育・収量と栽培環境			○	6回目の授業で学習した内容(イネの生育・収量と栽培環境)を復習する(1時間以上)。7回目の授業予定の内容(イネ栽培の実際)を予習する(1時間以上)。			
	7	イネ栽培の実際			○	7回目の授業で学習した内容(イネ栽培の実際)を復習する(1時間以上)。8回目の授業予定の内容(ムギ類の一生と成長)を予習する(1時間以上)。			
	8	ムギ類の一生と成長			○	8回目の授業で学習した内容(ムギ類の一生と成長)を復習する(1時間以上)。9回目の授業予定の内容(ムギ類栽培の実際)を予習する(1時間以上)。			
	9	ムギ類栽培の実際			○	9回目の授業で学習した内容(ムギ類栽培の実際)を復習する(1時間以上)。10回目の授業予定の内容(マメ類の一生と成長)を予習する(1時間以上)。			
	10	マメ類の一生と成長			○	10回目の授業で学習した内容(マメ類の一生と成長)を復習する(1時間以上)。11回目の授業予定の内容(マメ類栽培の実際)を予習する(1時間以上)。			
	11	マメ類栽培の実際			○	11回目の授業で学習した内容(マメ類栽培の実際)を復習する(1時間以上)。12回目の授業予定の内容(イモ類の一生と成長)を予習する(1時間以上)。			
	12	イモ類の一生と成長			○	12回目の授業で学習した内容(イモ類の一生と成長)を復習する(1時間以上)。13回目の授業予定の内容(イモ類栽培の実際)を予習する(1時間以上)。			
	13	イモ類栽培の実際			○	13回目の授業で学習した内容(イモ類栽培の実際)を復習する(1時間以上)。14回目の授業予定の内容(雑穀類の一生と成長)を予習する(1時間以上)。			
	14	雑穀類の一生と成長			○	14回目の授業で学習した内容(雑穀類の一生と成長)を復習する(1時間以上)。15回目の授業予定の内容(雑穀類栽培の実際)を予習する(1時間以上)。			
	15	雑穀類栽培の実際			○	15回目の授業で学習した内容(雑穀類栽培の実際)も含め、講義全体の復習を行う(約2時間)。			
16	定期試験								

科目コード	科目名	実務経験のある教員による授業	地域志向	単位	担当者	関連資格				
						生活	療法	樹木	フライフ	
18 H K 11 AL	人-農業・園芸・環境関係論		地域力	1	小野、宮原、摺崎、橋本、清末、小石、鍵和田					
学習成果	学習成果 1) 一般教養知識									
	学習成果 8) 多様性・協働性									
	学習成果 9) 主体性・思考力・判断力									
	学習成果 10) 表現力									
授業の概要	園芸学は花卉、野菜、果樹などの生産と利用に関する科学として発展してきた。近年は、これらに加えて園芸植物のもつ多様な機能を利用して、都市の緑化・美化、地域環境の改善あるいは社会福祉の向上などを通して、LOHAS(Life styles Of Health And Sustainability、健康と持続可能性)を志向するライフスタイルの実現に寄与しようという気運が高まっている。本授業では人と農業、園芸、環境、福祉、文化などの関係を多面的に捉え、実学的に学習範囲を拡大しようとするものである。園芸学のみに関わらず農業全般との関連をマクロに捉えてさらに人と人の関わり合いを考える。									
授業の形式	講義(学生主体型授業が中心となる)									
到達目標と対応する学習成果	① 人と花、森、土、川、海、畜産、果物、の関連性について説明することができる。					学習成果 1) 一般教養知識				
	② グループ活動に責任をもって取り組むことができる。					学習成果 8) 多様性・協働性				
	③ 自ら考えて、積極的に学習行動できる。					学習成果 9) 主体性・思考力・判断力				
	④ 人に情報をわかりやすく伝えることができる。					学習成果 10) 表現力				
	⑤									
	⑥									
履修上の注意点/試験やレポート等に対するフィードバックの方法	グループワークで学習を進めていく。科目開講から各班の発表までの間にグループでミーティングを重ねて準備しておくこと。ラーニングコンモンスも利用できる。各班の発表に対するフィードバックは、最終講義時のまとめにて行う。※授業回数が少ないので、欠席数に注意すること。									
評価の方法と基準	学習成果1) 一般教養知識50点 (内訳:講義毎に各班が出題した小テストへの解答 50点) 学習成果8) 多様性・協働性 20点 (内訳:発表準備について(グループワークでの取り組み状況)10点、発表の内容について10点) 学習成果9) 主体性・思考力・判断力 20点 (内訳:発表準備について(個人の取り組み状況)10点、レジュメ・スライドの作成内容について10点) (※学習成果8および9は各班の担当教員が評価する) 学習成果10) 表現力10点 (内訳:聴講する教員により評価(10段階))									
教科書	使用しない。必要に応じてプリントを配布する。									
参考書	・「花と人間編」「農業と人間編」「土と人間編」「森と人間編」「川と人間編」「海と人間編」 農文協、他									
	・									
	・									
	・									
授業計画	回	授業内容			アクティブ ラーニング	授業以外の学習(予習・復習などの具体的内容及びそれに必要な時間)				
	1	ガイダンス 班決め(仮)			○	各班で担当、レジュメ、発表の仕方、順番等について話し合う。				
	2	中間チェック・準備(仮)			○	レジュメ、パワーポイント作成。発表練習をする。講義前後に予復習に取り組むこと(各1時間)。				
	3	発表: 人と花(仮)			○	聞く側はレジュメでの予習をする。発表側は発表の練習をする。 ※終了後の復習を含めて予復習に各1時間以上取り組むこと				
	4	発表: 人と森(仮)			○	聞く側はレジュメでの予習をする。発表側は発表の練習をする。 ※終了後の復習を含めて予復習に各1時間以上取り組むこと				
	5	発表: 人と土(仮)			○	聞く側はレジュメでの予習をする。発表側は発表の練習をする。 ※終了後の復習を含めて予復習に各1時間以上取り組むこと				
	6	発表: 人と川(仮)			○	聞く側はレジュメでの予習をする。発表側は発表の練習をする。 ※終了後の復習を含めて予復習に各1時間以上取り組むこと				
	7	発表: 人と海(仮)			○	聞く側はレジュメでの予習をする。発表側は発表の練習をする。 ※終了後の復習を含めて予復習に各1時間以上取り組むこと				
	8	発表: 人と畜産(仮)			○	聞く側はレジュメでの予習をする。発表側は発表の練習をする。 ※終了後の復習を含めて予復習に各1時間以上取り組むこと				
	9	発表: 人とくだもの(仮)			○	聞く側はレジュメでの予習をする。発表側は発表の練習をする。 ※終了後の復習を含めて予復習に各1時間以上取り組むこと				
	10	発表: まとめ			○	自分たちが実施したプレゼンに対する評価を再考し、今後の課題を見つける。※終了後の復習を含めて予復習に各1時間以上取り組むこと				
	11									
	12									
	13									
	14									
	15									
16										

科目コード	科目名	実務経験のある教員による授業	地域志向	単位	担当者	関連資格			
						生活	療法	樹木	フラワー
19 H J 11 AL	園芸実験実習 I			2	清末、宮原、鍵和田、橋本、小野、本郷	◎	◎	○	
学習成果	学習成果 4) 基礎的専門技能								
	学習成果 10) 表現力								
授業の概要	基礎的実験を行い基礎的専門技能を修得する。さらに植物・作物の観察や栽培を通して基礎的専門技能を修得する。								
授業の形式	実験及び実習								
到達目標と対応する学習成果	① 植物に関する基本的な栽培方法、管理方法、利用方法を理解し植物を管理できる。					学習成果 4) 基礎的専門技能			
	② 授業内容等のレポートが作成できる。					学習成果 10) 表現力			
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
履修上の注意点／試験やレポート等に対するフィードバックの方法	鎌やハサミなどの刃物を使用することがある。毎回提出する実習ノートは各教員が一読し、必要があればコメントし返却します。適切な服装、装備で、安全に配慮して作業すること。＊実習ノートの提出回数が規定回数以下の場合、「未評価」とする場合があります。								
評価の方法と基準	毎回提出してもらった実習ノートの内容、実習時の取り組み状況をルーブリック形式で評価する。 学習成果4) 基礎的専門技能 50点(到達目標①50点 実習時における取組み内容 100% S評価50点、A評価40点、B評価30点、C評価20点) 学習成果10) 表現力 50点(到達目標②50点 実験実習ノートの提出状況及び内容 100% S評価50点、A評価40点、B評価30点、C評価20点)								
教科書									
参考書	・ 作物栽培の基礎								
	・								
	・								
	・								
授業計画	回	授業内容			アクティブ ラーニング	授業以外の学習(予習・復習などの具体的内容及びそれに必要な時間)			
	1	野菜:ミニトマト栽培について、夏野菜栽培について			○	各回テーマに基づき、予習1時間以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめ復習1時間以上(ノート含む)取り組むこと。			
	2	野菜:ミニトマト栽培について、夏野菜栽培について			○	各回テーマに基づき、予習1時間以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめ復習1時間以上(ノート含む)取り組むこと。			
	3	野菜:ミニトマト栽培について、夏野菜栽培について、歩行型トラクターについて			○	各回テーマに基づき、予習1時間以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめ復習1時間以上(ノート含む)取り組むこと。			
	4	花:春から夏の花と花の分類について				各回テーマに基づき、予習1時間以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめ復習1時間以上(ノート含む)取り組むこと。			
	5	花:花の管理について				各回テーマに基づき、予習1時間以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめ復習1時間以上(ノート含む)取り組むこと。			
	6	花:草花の増殖について				各回テーマに基づき、予習1時間以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめ復習1時間以上(ノート含む)取り組むこと。			
	7	果樹:栽培管理について			○	各回テーマに基づき、予習1時間以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめ復習1時間以上(ノート含む)取り組むこと。			
	8	果樹:病害虫について			○	各回テーマに基づき、予習1時間以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめ復習1時間以上(ノート含む)取り組むこと。			
	9	果樹:自然災害について			○	各回テーマに基づき、予習1時間以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめ復習1時間以上(ノート含む)取り組むこと。			
	10	造園・林業:里山の管理				各回テーマに基づき、予習1時間以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめ復習1時間以上(ノート含む)取り組むこと。			
	11	造園・林業:水準測量				各回テーマに基づき、予習1時間以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめ復習1時間以上(ノート含む)取り組むこと。			
	12	造園・林業:樹木の同定実習				各回テーマに基づき、予習1時間以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめ復習1時間以上(ノート含む)取り組むこと。			
	13	作物:イネ(飼料イネも含む)の栽培・管理 田植え生育調査と出穂観察、開花時の形態、除草				各回テーマに基づき、予習1時間以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめ復習1時間以上(ノート含む)取り組むこと。			
	14	作物:イネ科作物(トウモロコシ等)、マメ科作物(ダイズ等)の栽培・管理				各回テーマに基づき、予習1時間以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめ復習1時間以上(ノート含む)取り組むこと。			
	15	作物:ジャガイモ、サツマイモの栽培・管理 土寄せ、追肥、収穫				各回テーマに基づき、予習1時間以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめ復習1時間以上(ノート含む)取り組むこと。			
16									

科目コード	科目名	実務経験のある教員による授業	地域志向	単位	担当者	関連資格			
						生活	療法	樹木	フラワー
20 H J 12 AL	園芸実験実習Ⅱ			2	清末、宮原、鍵和田、橋本、小野、本郷	◎	○	○	
学習成果	学習成果 4) 基礎的専門技能								
	学習成果 10) 表現力								
授業の概要	基礎的実験を行い基礎的専門技能を習得する。さらに植物・作物の観察や栽培を通して基礎的専門技能を習得する。								
授業の形式	実験及び実習								
到達目標と対応する学習成果	① 植物に関する基本的な栽培方法、管理方法、利用方法について理解し、植物を管理できる					学習成果 4) 基礎的専門技能			
	② 授業内容等のレポートの作成ができる					学習成果 10) 表現力			
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
履修上の注意点／試験やレポート等に対するフィードバックの方法	鎌やハサミなどの刃物を使用することがある。毎回提出する実習ノートは各教員が一読し、必要があればコメントし返却します。適切な服装、装備で、安全に配慮して作業すること。＊実習ノートの提出回数が規定回数以下の場合、「未評価」とする場合があります。								
評価の方法と基準	毎回提出してもらった実習ノートの内容、実習時の取り組み状況をルーブリック形式で評価する。 学習成果4) 基礎的専門技能 50点(到達目標①50点 実習時における取組み内容 100% S評価50点、A評価40点、B評価30点、C評価20点) 学習成果10) 表現力 50点(到達目標②50点 実験実習ノートの提出状況及び内容 100% S評価50点、A評価40点、B評価30点、C評価20点)								
教科書	適宜プリントを配布する								
参考書	・								
	・								
	・								
	・								
授業計画	回	授業内容			アクティブラーニング	授業以外の学習(予習・復習などの具体的内容及びそれに必要な時間)			
	1	野菜:冬野菜栽培について			○	各回テーマに基づき、予習1時間以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめ復習1時間以上(ノート含む)取り組むこと。			
	2	野菜:冬野菜栽培について			○	各回テーマに基づき、予習1時間以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめ復習1時間以上(ノート含む)取り組むこと。			
	3	野菜:冬野菜栽培について			○	各回テーマに基づき、予習1時間以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめ復習1時間以上(ノート含む)取り組むこと。			
	4	花:秋から冬の花について				各回テーマに基づき、予習1時間以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめ復習1時間以上(ノート含む)取り組むこと。			
	5	花:球根について				各回テーマに基づき、予習1時間以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめ復習1時間以上(ノート含む)取り組むこと。			
	6	花:フラワーアレンジメントについて				各回テーマに基づき、予習1時間以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめ復習1時間以上(ノート含む)取り組むこと。			
	7	果樹:施肥について			○	各回テーマに基づき、予習1時間以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめ復習1時間以上(ノート含む)取り組むこと。			
	8	果樹:収穫、運搬車の扱い方、品種特性について			○	各回テーマに基づき、予習1時間以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめ復習1時間以上(ノート含む)取り組むこと。			
	9	果樹:剪定について			○	各回テーマに基づき、予習1時間以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめ復習1時間以上(ノート含む)取り組むこと。			
	10	造園・林業:竹垣の製作(竹の切断・結束)				各回テーマに基づき、予習1時間以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめ復習1時間以上(ノート含む)取り組むこと。			
	11	造園・林業:平板測量				各回テーマに基づき、予習1時間以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめ復習1時間以上(ノート含む)取り組むこと。			
	12	造園・林業:樹木の同定実習				各回テーマに基づき、予習1時間以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめ復習1時間以上(ノート含む)取り組むこと。			
	13	作物:イネ(飼料イネも含む)の栽培・管理 収穫:出荷調整、収量調査、販路調査				各回テーマに基づき、予習1時間以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめ復習1時間以上(ノート含む)取り組むこと。			
	14	作物:イネ科作物(トウモロコシ等)、マメ科作物(ダイズ等)の栽培・管理 収穫:収量調査、流通調査				各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめ復習30分以上(ノート含む)取り組むこと。			
	15	作物:ジャガイモ、サツマイモの栽培・管理 収穫:収量調査、流通調査				各回テーマに基づき、予習1時間以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめ復習1時間以上(ノート含む)取り組むこと。			
16									

科目コード	科目名(専攻)	実務経験のある教員による授業	地域志向	単位	担当者	関連資格				
						生活	療法	樹木	フラワー	
21 H J 21 AL	園芸実験実習Ⅲ(果樹)	○		2	清末(実)	○		○		
授業計画	回	授業内容			アクティブ ラーニング	授業以外の学習(予習・復習などの具体的内容及びそれに必要な時間)				
	1	カンキツ類の接ぎ木技術			○	各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめて復習30分以上(ノート含む)取り組むこと。				
	2	温州ミカンの整枝・剪定技術			○	各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめて復習30分以上(ノート含む)取り組むこと。				
	3	ブドウの新梢管理技術			○	各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめて復習30分以上(ノート含む)取り組むこと。				
	4	カキの摘蕾技術			○	各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめて復習30分以上(ノート含む)取り組むこと。				
	5	カンキツ類の生育診断方法			○	各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめて復習30分以上(ノート含む)取り組むこと。				
	6	ブドウの無核化技術			○	各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめて復習30分以上(ノート含む)取り組むこと。				
	7	ブドウの摘粒技術			○	各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめて復習30分以上(ノート含む)取り組むこと。				
	8	温州ミカンの生理落果			○	各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめて復習30分以上(ノート含む)取り組むこと。				
	9	カキの摘果技術について			○	各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめて復習30分以上(ノート含む)取り組むこと。				
	10	ウメの収穫			○	各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめて復習30分以上(ノート含む)取り組むこと。				
	11	カンキツ類の病害虫診断と防除技術			○	各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめて復習30分以上(ノート含む)取り組むこと。				
	12	カンキツ類の摘果技術について			○	各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめて復習30分以上(ノート含む)取り組むこと。				
	13	カンキツの種類別の摘果技術の習得			○	各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめて復習30分以上(ノート含む)取り組むこと。				
	14	ブドウの病害虫診断と防除技術			○	各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめて復習30分以上(ノート含む)取り組むこと。				
	15	果樹栽培における自然災害対策			○	各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめて復習30分以上(ノート含む)取り組むこと。				
16										

科目コード	科目名(専攻)	実務経験のある教員による授業	地域志向	単位	担当者	関連資格			
						生活	療法	樹木	フラワー
21 H J 21 AL	園芸実験実習Ⅲ(野菜)			2	橋本	○		○	
授業計画	回	授業内容			アクティブ ラーニング	授業以外の学習(予習・復習などの具体的内容及びそれに必要な時間)			
	1	学生主体園場:計画、果菜類の栽培:定植			○	作業内容、栽培管理方法を調べ、把握しておく(2時間) また、作業内容の記録、生長経過を観察し、レポートを作成(2時間)			
	2	学生主体園場:施肥設計、果菜類の栽培:支柱立て			○	作業内容、栽培管理方法を調べ、把握しておく(2時間) また、作業内容の記録、生長経過を観察し、レポートを作成(2時間)			
	3	学生主体園場:土づくり、果菜類の栽培:誘引・整枝			○	作業内容、栽培管理方法を調べ、把握しておく(2時間) また、作業内容の記録、生長経過を観察し、レポートを作成(2時間)			
	4	学生主体園場:播種、果菜類の栽培:誘引・整枝			○	作業内容、栽培管理方法を調べ、把握しておく(2時間) また、作業内容の記録、生長経過を観察し、レポートを作成(2時間)			
	5	学生主体園場:除草作業等、果菜類の栽培:誘引・整枝			○	作業内容、栽培管理方法を調べ、把握しておく(2時間) また、作業内容の記録、生長経過を観察し、レポートを作成(2時間)			
	6	学生主体園場:間引き、果菜類の栽培:誘引・整枝、糖度測定(統計処理)			○	作業内容、栽培管理方法を調べ、把握しておく(2時間) また、作業内容の記録、生長経過を観察し、レポートを作成(2時間)			
	7	学生主体園場:除草作業、支柱立て等、果菜類の栽培:誘引・整枝、収穫			○	作業内容、栽培管理方法を調べ、把握しておく(2時間) また、作業内容の記録、生長経過を観察し、レポートを作成(2時間)			
	8	学生主体園場:除草作業、誘引等、果菜類の栽培:誘引・整枝、下葉かき、収穫			○	作業内容、栽培管理方法を調べ、把握しておく(2時間) また、作業内容の記録、生長経過を観察し、レポートを作成(2時間)			
	9	学生主体園場:除草作業、誘引等、果菜類の栽培:誘引・整枝、下葉かき、収穫			○	作業内容、栽培管理方法を調べ、把握しておく(2時間) また、作業内容の記録、生長経過を観察し、レポートを作成(2時間)			
	10	学生主体園場:除草作業、誘引等、果菜類の栽培:誘引・整枝、下葉かき、収穫			○	作業内容、栽培管理方法を調べ、把握しておく(2時間) また、作業内容の記録、生長経過を観察し、レポートを作成(2時間)			
	11	学生主体園場:除草作業、誘引等、果菜類の栽培:誘引・整枝、下葉かき、収穫			○	作業内容、栽培管理方法を調べ、把握しておく(2時間) また、作業内容の記録、生長経過を観察し、レポートを作成(2時間)			
	12	学生主体園場:除草作業、誘引等、果菜類の栽培:誘引・整枝、下葉かき、収穫			○	作業内容、栽培管理方法を調べ、把握しておく(2時間) また、作業内容の記録、生長経過を観察し、レポートを作成(2時間)			
	13	学生主体園場:野菜の効能等について(調理を含む)			○	作業内容、栽培管理方法を調べ、把握しておく(2時間) また、作業内容の記録、生長経過を観察し、レポートを作成(2時間)			
	14	学生主体園場:除草、収穫、果菜類の栽培:収穫、撤去、耕運			○	作業内容、栽培管理方法を調べ、把握しておく(2時間) また、作業内容の記録、生長経過を観察し、レポートを作成(2時間)			
	15	学生主体園場:収穫、撤去、果菜類の栽培			○	作業内容、栽培管理方法をまとめる(2時間) また、作業内容の記録、生長経過を観察し、レポートを作成(2時間)			
16									

科目コード		科目名(専攻)	実務経験のある教員による授業	地域志向	単位	担当者	関連資格			
							生活	療法	樹木	フラワー
21 H J 21 AL		園芸実験実習Ⅲ(花卉)			2	宮原	○		○	
授業計画	回	授業内容			アクティブラーニング	授業以外の学習(予習・復習などの具体的内容及びそれに必要な時間)				
	1	春植え草花の種まき				毎日身の回りや園芸店などで季節の花を観察し(予習1時間)名前、開花の状態などを予習し、各回のテーマについて30分以上復習する				
	2	ランの植え替え				毎日身の回りや園芸店などで季節の花を観察し(予習1時間)名前、開花の状態などを予習し、各回のテーマについて30分以上復習する				
	3	春から夏の花壇づくり				毎日身の回りや園芸店などで季節の花を観察し(予習1時間)名前、開花の状態などを予習し、各回のテーマについて30分以上復習する				
	4	ハンギングバスケット				毎日身の回りや園芸店などで季節の花を観察し(予習1時間)名前、開花の状態などを予習し、各回のテーマについて30分以上復習する				
	5	花木の管理				毎日身の回りや園芸店などで季節の花を観察し(予習1時間)名前、開花の状態などを予習し、各回のテーマについて30分以上復習する				
	6	春植え球根について				毎日身の回りや園芸店などで季節の花を観察し(予習1時間)名前、開花の状態などを予習し、各回のテーマについて30分以上復習する				
	7	ハーブについて				毎日身の回りや園芸店などで季節の花を観察し(予習1時間)名前、開花の状態などを予習し、各回のテーマについて30分以上復習する				
	8	摘心、摘蕾について				毎日身の回りや園芸店などで季節の花を観察し(予習1時間)名前、開花の状態などを予習し、各回のテーマについて30分以上復習する				
	9	草花、花木の植え替え				毎日身の回りや園芸店などで季節の花を観察し(予習1時間)名前、開花の状態などを予習し、各回のテーマについて30分以上復習する				
	10	草花の繁殖				毎日身の回りや園芸店などで季節の花を観察し(予習1時間)名前、開花の状態などを予習し、各回のテーマについて30分以上復習する				
	11	観葉植物の繁殖				毎日身の回りや園芸店などで季節の花を観察し(予習1時間)名前、開花の状態などを予習し、各回のテーマについて30分以上復習する				
	12	多肉植物の繁殖				毎日身の回りや園芸店などで季節の花を観察し(予習1時間)名前、開花の状態などを予習し、各回のテーマについて30分以上復習する				
	13	夏植え球根について				毎日身の回りや園芸店などで季節の花を観察し(予習1時間)名前、開花の状態などを予習し、各回のテーマについて30分以上復習する				
	14	草花の利用①花束				毎日身の回りや園芸店などで季節の花を観察し(予習1時間)名前、開花の状態などを予習し、各回のテーマについて30分以上復習する				
	15	草花の利用②コサージュ				毎日身の回りや園芸店などで季節の花を観察し(予習1時間)名前、開花の状態などを予習し、各回のテーマについて30分以上復習する				
16										

科目コード	科目名	実務経験のある教員による授業	地域志向	単位	担当者	関連資格				
						生活	療法	樹木	フラワー	
21 H J 21 AL	園芸実験実習Ⅲ			2	宮原、橋本、清末(実)、鍵和田、小野、本郷	○		○		
学習成果	学習成果 6) 応用的専門技能									
	学習成果 10) 表現力									
授業の概要	専攻別(花卉・野菜・果樹・造園・作物・林業)に実験及び実習を行う。									
授業の形式	実験及び実習									
到達目標と対応する学習成果	① 専攻分野の植物について適切に管理(栽培)することができる						学習成果 6) 応用的専門技能			
	② 実習内容のレポート作成ができる						学習成果 10) 表現力			
	③									
	④									
	⑤									
	⑥									
履修上の注意点/試験やレポート等に対するフィードバックの方法	雨天時のために、雨具などを各自準備する。怪我と体調管理に気を付ける。鎌やハサミなどの刃物を使用することがある。毎回提出する実習ノートは各教員が一読し、必要があればコメントし返却します。適切な服装、装備で、安全に配慮して作業すること。*実習ノートの提出回数が規定回数以下の場合、「未評価」とする場合がある。									
評価の方法と基準	毎回提出してもらう実習ノートの内容、実習時の取り組み状況をルーブリック形式で評価する。 学習成果6) 応用的専門技能 50点(到達目標①50点 実習時における取組み内容 100% S評価50点、A評価40点、B評価30点、C評価20点) 学習成果10) 表現力 50点(到達目標②50点 実験実習ノートの提出状況及び内容 100% S評価50点、A評価40点、B評価30点、C評価20点)									
教科書	文部科学省 森林経営 文部科学省 森林科学(林業専攻) 社団法人 日本造園組合連合編 「改定新版造園施工必携」(造園専攻)									
参考書	・ 果樹園芸大百科1~18 農文協(果樹専攻) ・ 作物栽培の基礎 農文協(作物専攻) ・ ・									
授業計画	回	授業内容				アクティブ ラーニング	授業以外の学習(予習・復習などの具体的内容及びそれに必要な時間)			
	1	各専攻による実験実習(別紙参照)					各教員の指示に従うこと(別紙参照)			
	2	各専攻による実験実習(別紙参照)					各教員の指示に従うこと(別紙参照)			
	3	各専攻による実験実習(別紙参照)					各教員の指示に従うこと(別紙参照)			
	4	各専攻による実験実習(別紙参照)					各教員の指示に従うこと(別紙参照)			
	5	各専攻による実験実習(別紙参照)					各教員の指示に従うこと(別紙参照)			
	6	各専攻による実験実習(別紙参照)					各教員の指示に従うこと(別紙参照)			
	7	各専攻による実験実習(別紙参照)					各教員の指示に従うこと(別紙参照)			
	8	各専攻による実験実習(別紙参照)					各教員の指示に従うこと(別紙参照)			
	9	各専攻による実験実習(別紙参照)					各教員の指示に従うこと(別紙参照)			
	10	各専攻による実験実習(別紙参照)					各教員の指示に従うこと(別紙参照)			
	11	各専攻による実験実習(別紙参照)					各教員の指示に従うこと(別紙参照)			
	12	各専攻による実験実習(別紙参照)					各教員の指示に従うこと(別紙参照)			
	13	各専攻による実験実習(別紙参照)					各教員の指示に従うこと(別紙参照)			
	14	各専攻による実験実習(別紙参照)					各教員の指示に従うこと(別紙参照)			
	15	各専攻による実験実習(別紙参照)					各教員の指示に従うこと(別紙参照)			
16										

科目コード	科目名	実務経験のある教員による授業	地域志向	単位	担当者	関連資格			
						生活	療法	樹木	フラワー
21 H J 21 AL	園芸実験実習Ⅲ(作物)			2	小野	○		○	
授業計画	回	授業内容			アクティブ ラーニング	授業以外の学習(予習・復習などの具体的内容及びそれに必要な時間)			
	1	貯蔵サツマイモの堀上げ・選別 景観形成作物とは 圃場整備			○	各回テーマに基づき、予習1時間以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめて復習1時間以上(ノート含む)取り組むこと。			
	2	サツマイモの苗床作り(仕組み・作り方) サツマイモの種類			○	各回テーマに基づき、予習1時間以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめて復習1時間以上(ノート含む)取り組むこと。			
	3	サツマイモの圃場づくり・畝立て 黒ボク土・マルチ・肥料・除草剤について			○	各回テーマに基づき、予習1時間以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめて復習1時間以上(ノート含む)取り組むこと。			
	4	サツマイモ定植 畝補修 サツマイモの植え方について			○	各回テーマに基づき、予習1時間以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめて復習1時間以上(ノート含む)取り組むこと。			
	5	作物苗作り(エダマメ・ラッカセイ)景観形成作物の苗作り(ヒマワリ・マーガレット)			○	各回テーマに基づき、予習1時間以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめて復習1時間以上(ノート含む)取り組むこと。			
	6	圃場準備 エダマメ・ラッカセイ・サツマイモ定植			○	各回テーマに基づき、予習1時間以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめて復習1時間以上(ノート含む)取り組むこと。			
	7	ヒマワリ定植 作物管理(施肥・除草・剪定) 景観形成作物の利用			○	各回テーマに基づき、予習1時間以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめて復習1時間以上(ノート含む)取り組むこと。			
	8	水稲(飼料イネも含む)田植え(機械植えと手植えの違い) ヒノヒカリ・ジャンボタニシについて			○	各回テーマに基づき、予習1時間以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめて復習1時間以上(ノート含む)取り組むこと。			
	9	作物管理(除草) 圃場補修(溝掘・水はけ改善)			○	各回テーマに基づき、予習1時間以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめて復習1時間以上(ノート含む)取り組むこと。			
	10	作物管理(除草・石灰) 植物の手入れ			○	各回テーマに基づき、予習1時間以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめて復習1時間以上(ノート含む)取り組むこと。			
	11	アズキについて(播種・圃場準備)			○	各回テーマに基づき、予習1時間以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめて復習1時間以上(ノート含む)取り組むこと。			
	12	エダマメ収穫・観察・利用方法 植物の手入れ(摘心の原理と方法)			○	各回テーマに基づき、予習1時間以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめて復習1時間以上(ノート含む)取り組むこと。			
	13	秋ジャガイモについて(品種・芽出し処理の原理と方法) 作物管理(除草)			○	各回テーマに基づき、予習1時間以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめて復習1時間以上(ノート含む)取り組むこと。			
	14	秋ジャガイモと春ジャガイモの違い 圃場準備 作物管理(施肥・土寄せ)			○	各回テーマに基づき、予習1時間以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめて復習1時間以上(ノート含む)取り組むこと。			
	15	秋ジャガイモ定植(種イモの植え方の種類) 作物管理(除草)			○	各回テーマに基づき、予習1時間以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめて復習1時間以上(ノート含む)取り組むこと。			
16									

科目コード	科目名	実務経験のある教員による授業	地域志向	単位	担当者	関連資格			
						生活	療法	樹木	フラワー
21 H J 21 AL	園芸実験実習Ⅲ(造園)			2	鍵和田	○		○	
授業計画	回	授業内容			アクティブラーニング	授業以外の学習(予習・復習などの具体的内容及びそれに必要な時間)			
	1	樹木の同定実習(樹木観察)				樹木の外部形態の観察について要点を整理し、一時間復習し、剪定技術の基本について1時間予習すること			
	2	剪定技術の基本				剪定技術の基本について要点を整理し、一時間復習し、竹類の剪定について1時間予習すること			
	3	剪定の応用:竹類				竹類の剪定について要点を整理し、一時間復習し、剪定技術の基本について1時間予習すること			
	4	刈り払機の構造と下刈作業				樹木の外部形態の観察について要点を整理し、一時間復習し、刈り払機の構造と下刈作業について1時間予習すること			
	5	除伐・間伐				除伐・間伐について要点を整理し、一時間復習し、床替え・苗圃管理について1時間予習すること			
	6	床替え・苗圃管理				床替え・苗圃管理について要点を整理し、一時間復習し、挿し木接ぎ木による育苗について1時間予習すること			
	7	挿し木接ぎ木による育苗				挿し木接ぎ木による育苗について要点を整理し、一時間復習し、常緑樹剪定技術について1時間予習すること			
	8	剪定の応用:常緑樹				常緑樹の剪定について要点を整理し、一時間復習し、距離測量について1時間予習すること			
	9	距離測量				距離測量について要点を整理し、一時間復習し、水準測量について1時間予習すること			
	10	水準測量				水準測量について要点を整理し、一時間復習し、竹垣の製作について1時間予習すること			
	11	竹垣の製作				竹垣の製作について要点を整理し、一時間復習し、蹲踞について1時間予習すること			
	12	蹲踞の制作 蹲踞の役石を理解し、据え方を学ぶ				蹲踞について要点を整理し、一時間復習し、飛石について1時間予習すること			
	13	飛石制作 飛石の据え方を理解し据え方を学ぶ				飛石について要点を整理し、一時間復習し、延段・敷石について1時間予習すること			
	14	延段・敷石制作① 丁張をし、延段・敷石の据え方を学ぶ				延段・敷石について要点を整理し、一時間復習し、樹木の外部形態について1時間予習すること			
	15	樹木の同定実習				樹木の外部形態の観察について要点を整理し、一時間復習すること			
16									

科目コード	科目名(専攻)	実務経験のある教員による授業	地域志向	単位	担当者	関連資格				
						生活	療法	樹木	フラワー	
22 H J 22 AL	園芸実験実習Ⅳ(果樹)	○		2	清末(実)	○		○		
授業計画	回	授業内容			アクティブラーニング	授業以外の学習(予習・復習などの具体的内容及びそれに必要な時間)				
	1	果樹の施設及び露地栽培における防災・減災技術について			○	各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめ復習30分以上(ノート含む)取り組むこと。				
	2	施肥時期及び施肥方法			○	各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめ復習30分以上(ノート含む)取り組むこと。				
	3	省力的な土壌改良(草生栽培)方法			○	各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめ復習30分以上(ノート含む)取り組むこと。				
	4	早生温州ミカンの品種の特性			○	各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめ復習30分以上(ノート含む)取り組むこと。				
	5	普通温州ミカンの品種の特性			○	各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめ復習30分以上(ノート含む)取り組むこと。				
	6	普通温州ミカンの収穫と貯蔵方法について			○	各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめ復習30分以上(ノート含む)取り組むこと。				
	7	カキの脱渋方法			○	各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめ復習30分以上(ノート含む)取り組むこと。				
	8	中晩柑類の品種特性			○	各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめ復習30分以上(ノート含む)取り組むこと。				
	9	中晩柑類の収穫時期・貯蔵方法			○	各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめ復習30分以上(ノート含む)取り組むこと。				
	10	落葉果樹(ウメ)の整枝・剪定技術の理論と実際			○	各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめ復習30分以上(ノート含む)取り組むこと。				
	11	落葉果樹(ブドウ)の整枝・剪定技術の理論と実際			○	各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめ復習30分以上(ノート含む)取り組むこと。				
	12	落葉果樹(カキ)の整枝・剪定技術の理論と実際			○	各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめ復習30分以上(ノート含む)取り組むこと。				
	13	ブルーベリーの剪定技術			○	各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめ復習30分以上(ノート含む)取り組むこと。				
	14	落葉果樹類の接ぎ木理論と実際			○	各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめ復習30分以上(ノート含む)取り組むこと。				
	15	温州ミカンの整枝・剪定技術			○	各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめ復習30分以上(ノート含む)取り組むこと。				
16										

科目コード	科目名(専攻)	実務経験のある教員による授業	地域志向	単位	担当者	関連資格			
						生活	療法	樹木	フラワー
22 H J 22 AL	園芸実験実習Ⅳ(花卉)			2	宮原	○		○	
授業計画	回	授業内容			アクティブ ラーニング	授業以外の学習(予習・復習などの具体的内容及びそれに必要な時間)			
	1	秋から冬の花壇づくり				毎日身の回りや園芸店などで季節の花を観察し(予習1時間)名前、開花の状態などを予習し、各回のテーマについて30分以上復習する			
	2	秋植え草花の種まき・鉢上げ				毎日身の回りや園芸店などで季節の花を観察し(予習1時間)名前、開花の状態などを予習し、各回のテーマについて30分以上復習する			
	3	コンテナガーデン				毎日身の回りや園芸店などで季節の花を観察し(予習1時間)名前、開花の状態などを予習し、各回のテーマについて30分以上復習する			
	4	宿根草の株分け				毎日身の回りや園芸店などで季節の花を観察し(予習1時間)名前、開花の状態などを予習し、各回のテーマについて30分以上復習する			
	5	秋植え球根				毎日身の回りや園芸店などで季節の花を観察し(予習1時間)名前、開花の状態などを予習し、各回のテーマについて30分以上復習する			
	6	トビアリーについて				毎日身の回りや園芸店などで季節の花を観察し(予習1時間)名前、開花の状態などを予習し、各回のテーマについて30分以上復習する			
	7	多肉植物について				毎日身の回りや園芸店などで季節の花を観察し(予習1時間)名前、開花の状態などを予習し、各回のテーマについて30分以上復習する			
	8	カラーコーディネート				毎日身の回りや園芸店などで季節の花を観察し(予習1時間)名前、開花の状態などを予習し、各回のテーマについて30分以上復習する			
	9	ハーブの利用				毎日身の回りや園芸店などで季節の花を観察し(予習1時間)名前、開花の状態などを予習し、各回のテーマについて30分以上復習する			
	10	ツバキの花について				毎日身の回りや園芸店などで季節の花を観察し(予習1時間)名前、開花の状態などを予習し、各回のテーマについて30分以上復習する			
	11	ハンギングバスケット①				毎日身の回りや園芸店などで季節の花を観察し(予習1時間)名前、開花の状態などを予習し、各回のテーマについて30分以上復習する			
	12	ハンギングバスケット②				毎日身の回りや園芸店などで季節の花を観察し(予習1時間)名前、開花の状態などを予習し、各回のテーマについて30分以上復習する			
	13	エディブルフラワー、ハーブティについて				毎日身の回りや園芸店などで季節の花を観察し(予習1時間)名前、開花の状態などを予習し、各回のテーマについて30分以上復習する			
	14	草花の利用①フラワーアレンジメント				毎日身の回りや園芸店などで季節の花を観察し(予習1時間)名前、開花の状態などを予習し、各回のテーマについて30分以上復習する			
	15	草花の利用②ブーケ				毎日身の回りや園芸店などで季節の花を観察し(予習1時間)名前、開花の状態などを予習し、各回のテーマについて30分以上復習する			
16									

科目コード	科目名(専攻)	実務経験のある教員による授業	地域志向	単位	担当者	関連資格			
						生活	療法	樹木	フラワー
22 H J 22 AL	園芸実験実習Ⅳ(野菜)			2	橋本	○		○	
授業計画	回	授業内容			アクトイブ ラーニング	授業以外の学習(予習・復習などの具体的内容及びそれに必要な時間)			
	1	学生主体園場:土づくり・耕運など、ハウス内の園場整備			○	作業内容、栽培管理方法を調べ、把握しておく(2時間) また、作業内容の記録、生長経過を観察し、レポートを作成(2時間)			
	2	学生主体園場:pH・ECの測定、施肥設計、土壌採集方法			○	作業内容、栽培管理方法を調べ、把握しておく(2時間) また、作業内容の記録、生長経過を観察し、レポートを作成(2時間)			
	3	学生主体園場:葉菜類、根菜類の播種、畝作り			○	作業内容、栽培管理方法を調べ、把握しておく(2時間) また、作業内容の記録、生長経過を観察し、レポートを作成(2時間)			
	4	学生主体園場:葉菜類、根菜類の栽培管理、除草作業			○	作業内容、栽培管理方法を調べ、把握しておく(2時間) また、作業内容の記録、生長経過を観察し、レポートを作成(2時間)			
	5	学生主体園場:葉菜類、根菜類の栽培管理、除草作業			○	作業内容、栽培管理方法を調べ、把握しておく(2時間) また、作業内容の記録、生長経過を観察し、レポートを作成(2時間)			
	6	学生主体園場:葉菜類、根菜類の栽培管理、除草作業			○	作業内容、栽培管理方法を調べ、把握しておく(2時間) また、作業内容の記録、生長経過を観察し、レポートを作成(2時間)			
	7	学生主体園場:葉菜類、根菜類の栽培管理、除草作業			○	作業内容、栽培管理方法を調べ、把握しておく(2時間) また、作業内容の記録、生長経過を観察し、レポートを作成(2時間)			
	8	学生主体園場:葉菜類、根菜類の栽培管理、除草作業、ハウスの内張り作業			○	作業内容、栽培管理方法を調べ、把握しておく(2時間) また、作業内容の記録、生長経過を観察し、レポートを作成(2時間)			
	9	学生主体園場:葉菜類、根菜類の栽培管理、除草作業			○	作業内容、栽培管理方法を調べ、把握しておく(2時間) また、作業内容の記録、生長経過を観察し、レポートを作成(2時間)			
	10	学生主体園場:葉菜類、根菜類の栽培管理、除草作業			○	作業内容、栽培管理方法を調べ、把握しておく(2時間) また、作業内容の記録、生長経過などを観察し、レポートを作成(2時間)			
	11	学生主体園場:葉菜類、根菜類の栽培管理、除草作業、収穫			○	作業内容、栽培管理方法を調べ、把握しておく(2時間) また、作業内容の記録、生長経過を観察し、レポートを作成(2時間)			
	12	学生主体園場:野菜の効能等について(調理を含む)			○	作業内容、栽培管理方法を調べ、把握しておく(2時間) また、作業内容の記録、生長経過を観察し、レポートを作成(2時間)			
	13	学生主体園場:葉菜類、根菜類の栽培管理、除草作業、収穫			○	作業内容、栽培管理方法を調べ、把握しておく(2時間) また、作業内容の記録、生長経過を観察し、レポートを作成(2時間)			
	14	学生主体園場:撤去作業、土壌分析採取方法			○	作業内容、栽培管理方法を調べ、把握しておく(2時間) また、作業内容の記録、生長経過を観察し、レポートを作成(2時間)			
	15	ハウス内の土づくり			○	作業内容を調べ、把握しておく(2時間) また、作業内容の記録し、レポートを作成(2時間)			
16									

科目コード	科目名	実務経験のある教員による授業	地域志向	単位	担当者	関連資格				
						生活	療法	樹木	フラワー	
22 H J 22 AL	園芸実験実習Ⅳ			2	宮原、橋本、清末(実)、鍵和田、小野、本郷	○	◎	○		
学習成果	学習成果 6)応用的専門技能									
	学習成果 10)表現力									
授業の概要	専攻別(花卉・野菜・果樹・造園・作物・林業)に実験及び実習を行う。									
授業の形式	実験及び実習									
到達目標と対応する学習成果	・専攻分野の植物について適切に管理(栽培)することができる						学習成果 6)応用的専門技能			
	・実習内容のレポート作成ができる						学習成果 10)表現力			
	・									
	・									
	・									
履修上の注意点/試験やレポート等に対するフィードバックの方法	鎌やハサミなどの刃物を使用することがある。毎回提出する実習ノートは各教員が一読し、必要があればコメントし返却します。適切な服装、装備で、安全に配慮して作業すること。*実習ノートの提出回数が規定回数以下の場合、「未評価」とする場合があります。									
評価の方法と基準	毎回提出してもらう実習ノートの内容、実習時の取り組み状況をルーブリック形式で評価する。 学習成果6)応用的専門技能 50点(到達目標①50点 実習時における取組み内容 100% S評価50点、A評価40点、B評価30点、C評価20点) 学習成果10)表現力 50点(到達目標②50点 実験実習ノートの提出状況及び内容 100% S評価50点、A評価40点、B評価30点、C評価20点)									
教科書	文部科学省 森林経営 文部科学省 森林科学(林業専攻) 社団法人 日本造園組合連合編 「改定新版造園施工必携」(造園専攻)									
参考書	・果樹園芸大百科1~18 農文協(果樹専攻)									
	・作物栽培の基礎 農文協(作物専攻)									
	・									
	・									
授業計画	回	授業内容						アクティブ ラーニング	授業以外の学習(予習・復習などの具体的内容及びそれに必要な時間)	
	1	各専攻による実験実習(別紙参照)							各教員の指示に従うこと(別紙参照)	
	2	各専攻による実験実習(別紙参照)							各教員の指示に従うこと(別紙参照)	
	3	各専攻による実験実習(別紙参照)							各教員の指示に従うこと(別紙参照)	
	4	各専攻による実験実習(別紙参照)							各教員の指示に従うこと(別紙参照)	
	5	各専攻による実験実習(別紙参照)							各教員の指示に従うこと(別紙参照)	
	6	各専攻による実験実習(別紙参照)							各教員の指示に従うこと(別紙参照)	
	7	各専攻による実験実習(別紙参照)							各教員の指示に従うこと(別紙参照)	
	8	各専攻による実験実習(別紙参照)							各教員の指示に従うこと(別紙参照)	
	9	各専攻による実験実習(別紙参照)							各教員の指示に従うこと(別紙参照)	
	10	各専攻による実験実習(別紙参照)							各教員の指示に従うこと(別紙参照)	
	11	各専攻による実験実習(別紙参照)							各教員の指示に従うこと(別紙参照)	
	12	各専攻による実験実習(別紙参照)							各教員の指示に従うこと(別紙参照)	
	13	各専攻による実験実習(別紙参照)							各教員の指示に従うこと(別紙参照)	
	14	各専攻による実験実習(別紙参照)							各教員の指示に従うこと(別紙参照)	
	15	各専攻による実験実習(別紙参照)							各教員の指示に従うこと(別紙参照)	
16										

科目コード	科目名(専攻)	実務経験のある教員による授業	地域志向	単位	担当者	関連資格			
						生活	療法	樹木	フラワー
22 H J 22 AL	園芸実験実習Ⅳ(作物)			2	小野	○		○	
授業計画	回	授業内容			アクティブ ラーニング	授業以外の学習(予習・復習などの具体的内容及びそれに必要な時間)			
	1	アズキ収穫 ジャガイモの土寄せ 作物管理(除草) 景観作物管理			○	各回テーマに基づき、予習1時間以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめて復習1時間以上(ノート含む)取り組むこと。			
	2	ラッカセイ収穫・観察・利用方法 根粒菌観察 植物手入れ			○	各回テーマに基づき、予習1時間以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめて復習1時間以上(ノート含む)取り組むこと。			
	3	サツマイモつる切り つるの利用方法 土壌生物について			○	各回テーマに基づき、予習1時間以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめて復習1時間以上(ノート含む)取り組むこと。			
	4	サツマイモつる切り アレロパシーについて			○	各回テーマに基づき、予習1時間以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめて復習1時間以上(ノート含む)取り組むこと。			
	5	サツマイモつる切り・マルチ剥ぎ			○	各回テーマに基づき、予習1時間以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめて復習1時間以上(ノート含む)取り組むこと。			
	6	サツマイモ収穫・観察 イモの肥大・デンプンについて イモの利用方法			○	各回テーマに基づき、予習1時間以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめて復習1時間以上(ノート含む)取り組むこと。			
	7	サツマイモ洗い イモの出荷(規定・方法) ヒマワリ種取			○	各回テーマに基づき、予習1時間以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめて復習1時間以上(ノート含む)取り組むこと。			
	8	サツマイモ・ジャガイモ収穫・観察 サツマイモの腐敗(原因と対策)			○	各回テーマに基づき、予習1時間以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめて復習1時間以上(ノート含む)取り組むこと。			
	9	サツマイモ貯蔵(原理と方法) 景観形成作物(クリムゾンクローバー)播種			○	各回テーマに基づき、予習1時間以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめて復習1時間以上(ノート含む)取り組むこと。			
	10	サツマイモ貯蔵 ワラの利用方法(飼料イネも含む) モチ米とウルチ米の違い(栽培・利用)			○	各回テーマに基づき、予習1時間以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめて復習1時間以上(ノート含む)取り組むこと。			
	11	餅つき(方法・臼と杵について)			○	各回テーマに基づき、予習1時間以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめて復習1時間以上(ノート含む)取り組むこと。			
	12	天地返し 水はけ改善 畑と水田の違い			○	各回テーマに基づき、予習1時間以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめて復習1時間以上(ノート含む)取り組むこと。			
	13	焼き芋 サツマイモの加工			○	各回テーマに基づき、予習1時間以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめて復習1時間以上(ノート含む)取り組むこと。			
	14	天地返し 水はけ改善 春ジャガイモ芽出し			○	各回テーマに基づき、予習1時間以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめて復習1時間以上(ノート含む)取り組むこと。			
	15	天地返し 水はけ改善 春ジャガイモ定植			○	各回テーマに基づき、予習1時間以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめて復習1時間以上(ノート含む)取り組むこと。			
16									

科目コード	科目名(専攻)	実務経験のある教員による授業	地域志向	単位	担当者	関連資格			
						生活	療法	樹木	フライフ
22 H J 22 AL	園芸実験実習Ⅳ(造園)			2	鍵和田	○		○	
授業計画	回	授業内容			アクティブラーニング	授業以外の学習(予習・復習などの具体的内容及びそれに必要な時間)			
	1	樹木の同定実習(樹木観察)				樹木の外部形態の観察について要点を整理し、一時間復習し、剪定技術の基本について1時間予習すること			
	2	トラバース測量				トラバース測量について要点を整理し、一時間復習し、竹類の剪定について1時間予習すること			
	3	下刈作業				下刈り作業について要点を整理し、一時間復習し、土工について1時間予習すること			
	4	土工 丁張り				土工について要点を整理し、一時間復習し、運土計画・造成について1時間予習すること			
	5	土工 運土計画・造成				運土計画・造成について要点を整理し、一時間復習し、石材などの運搬について1時間予習すること			
	6	石組制作 : 石材などの運搬について				石材などの運搬について要点を整理し、一時間復習し、石組みについて1時間予習すること			
	7	石組制作 石組みの据え付け方法を学ぶ				石組みについて要点を整理し、一時間復習し、コンクリート工について1時間予習すること			
	8	コンクリート工 型枠・支保工				型枠・支保工について要点を整理し、一時間復習し、スランプ試験について1時間予習すること			
	9	コンクリート工 スランプ試験				コンクリート工のスランプ試験について要点を整理し、一時間復習し、チェーンソーの構造について1時間予習すること			
	10	コンクリート工 養生				コンクリート工の養生について要点を整理し、一時間復習し、チェーンソーの構造について1時間予習すること			
	11	チェーンソーの構造				チェーンソーの構造について要点を整理し、一時間復習し、伐木・造材作業について1時間予習すること			
	12	伐木・造材作業				伐木・造材作業について要点を整理し、一時間復習し、剪定の応用(マツ)について1時間予習すること			
	13	剪定の応用:マツ				剪定の応用(マツ)について要点を整理し、一時間復習し、樹木の外部形態について1時間予習すること			
	14	剪定の応用:落葉樹				剪定の応用(落葉樹)について要点を整理し、一時間復習し、樹木の外部形態について1時間予習すること			
	15	樹木の同定実習(樹木観察)				樹木の外部形態の観察について要点を整理し、一時間復習すること			
16									

科目コード	科目名	実務経験のある教員による授業	地域志向	単位	担当者	関連資格			
						生活	療法	樹木	フアラフ
23 H K 10 AL	特別講義			1	外部講師、専任教員(橋本、小石ほか)				
学習成果	学習成果 5) 応用的専門知識								
	学習成果 7) 社会的基礎知識								
授業の概要	農業や園芸に関するテーマについて学長、専任教員及び第一線の外部講師が講義する(1年次)。講師と講義内容は変更になる場合がある。								
授業の形式	講義								
到達目標と対応する学習成果	① 様々な分野の高度な学術的・専門的知識を修得できる					学習成果 5) 応用的専門知識			
	② 規定(書式など)に合わせた対応ができる					学習成果 7) 社会的基礎知識			
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
履修上の注意点/試験やレポート等に対するフィードバックの方法	かなり高度で専門的な内容も含まれることがあるので、配布したプリントにしっかりと目を通しておくこと。 ※講義を欠席した場合でも、レポートは提出すること。なお、提出期限を過ぎたレポートは、受け付けない。また、講義数が少ないため欠席回数に注意すること。フィードバックは、レポートを確認した後、全体に向けた講評を行うこととする。※講師、講義内容、回数は変更になる場合がある。								
評価の方法と基準	各回のレポート提出を求める(1コマにつき1枚以上;評価は各回の評価点を平均して算出する。レポートの未提出は0点として扱う) 学習成果 5) 応用的専門知識 60点 (内訳:内容60点) 学習成果 7) 社会的基礎知識 40点 (内訳:枚数および文量 20点、書式 20点) ※参考とするレポート評価の詳細については、別途配布・提示する。								
教科書	必要に応じてプリントを配布する。								
参考書	・ ・ ・ ・								
授業計画	回	授業内容			アクティブ ラーニング	授業以外の学習(予習・復習などの具体的内容及びそれに必要な時間)			
	1	「園芸植物の機能性①」講師:池浦博美(島根大学准教授)				レポートを作成する(2時間)			
	2	「園芸植物の機能性②」講師:池浦博美(島根大学准教授)				レポートを作成する(2時間)			
	3	「農林水産省について」講師:農林水産省				レポートを作成する(2時間)			
	4	「特別講義」講師:平松(大分短期大学学長)				レポートを作成する(2時間)			
	5	「植物遺伝資源と種子ビジネス」講師:勝本(大分短期大学教授)				レポートを作成する(2時間)			
	6	「大分県の果樹」講師:清末(大分短期大学教授)				レポートを作成する(2時間)			
	7	「これからの農業について考えよう」講師:摺崎(大分短期大学教授)				レポートを作成する(2時間)			
	8	「花と人」講師:宮原(大分短期大学教授)				レポートを作成する(2時間)			
	9	「造園について」講師:鍵和田(大分短期大学准教授)				レポートを作成する(2時間)			
	10	「農福連携について」講師:小石(大分短期大学助教)				レポートを作成する(2時間)			
	11	「園芸と英語」講師:橋本(大分短期大学助教)				レポートを作成する(2時間)			
	12	「日本の馬産と被覆植物との関係について」講師:小野(大分短期大学助教)				レポートを作成する(2時間)			
	13								
	14								
	15								
16									

科目コード	科目名	実務経験のある教員による授業	地域志向	単位	担当者	関連資格			
						生活	療法	樹木	フライフ
24 H E 10 AL	進路支援 I			1	小野ほか				
学習成果	学習成果 7)社会的基礎知識								
授業の概要	充実したキャンパスライフと明確な大学生生活の目標の構築、「農」に関する職能の理解、社会人として活躍できる基礎的な態度(マナー)、知識・能力を総合的に習得することを目的とする。定期的に担当教員と面談を行う。								
授業の形式	講義、毎月1回個別面談を行う								
到達目標と対応する学習成果	① 生活基礎、一般常識、マナー、社会対応力を身に付けることができる					学習成果 7)社会的基礎知識			
	② 社会人として活躍できる基礎的な態度(マナー)、知識・能力を総合的に習得することができる					学習成果 7)社会的基礎知識			
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
履修上の注意点/試験やレポート等に対するフィードバックの方法	来る社会人としての意識を常に持ち、学生生活を送ること。自分のスケジュールや留意事項は配布する手帳を活用すること。								
評価の方法と基準	学習成果 7)社会的基礎知識 100点:講義50点(小テスト・レポート等)、個人面談50点(ゼミ担当教員)								
教科書	「キャリアガイドブック」 キャリタス株式会社								
参考書	・ ・ ・								
授業計画	回	授業内容			アクティブラーニング	授業以外の学習(予習・復習などの具体的内容及びそれに必要な時間)			
	1	総務部長からの入学時における講話・個人面談				学習ポートフォリオで2年間の計画をたてる			
	2	福祉・園芸療法の仕事(小石)				「キャリアブック」で要点を整理し1時間予習し1時間復習すること			
	3	公務員の仕事(清末)				「キャリアブック」で要点を整理し1時間予習し1時間復習すること			
	4	個人面談(全員)				学習ポートフォリオで現状を確認し、変更があれば再計画をする			
	5	個人面談(全員)				学習ポートフォリオで現状を確認し、変更があれば再計画をする			
	6	造園業の仕事(鍵和田)				「キャリアブック」で要点を整理し1時間予習し1時間復習すること			
	7	個人面談(全員)				学習ポートフォリオで現状を確認し、変更があれば再計画をする			
	8	「農」の仕事 生花・ブライダル(宮原)				「キャリアブック」で要点を整理し1時間予習し1時間復習すること			
	9	「農」の仕事 野菜(橋本)				「キャリアブック」で要点を整理し1時間予習し1時間復習すること			
	10	林業の仕事(鍵和田)				「キャリアブック」で要点を整理し1時間予習し1時間復習すること			
	11	海外農業研修制度				「海外農業」の要点を整理し1時間予習し1時間復習する			
	12	個人面談(全員)				学習ポートフォリオで現状を確認し、変更があれば再計画をする			
	13	個人面談(全員)				学習ポートフォリオで現状を確認し、変更があれば再計画をする			
	14	「農」の仕事 果樹(清末)				「キャリアブック」で要点を整理し1時間予習し1時間復習すること			
	15	個人面談(全員)				学習ポートフォリオで現状を確認し、変更があれば再計画をする			
	16	個人面談(全員)				学習ポートフォリオで現状を確認し、変更があれば再計画をする			
	17	「農」の仕事 作物・畜産(小野)				「キャリアブック」で要点を整理し1時間予習し1時間復習すること			
	18	「農」の仕事 パイオ(摺崎)				「キャリアブック」で要点を整理し1時間予習し1時間復習すること			
	19	マナーを身に付けよう①敬語について(橋本)				「キャリアブック」で要点を整理し1時間予習し1時間復習すること			
	20	個人面談(全員)				学習ポートフォリオで現状を確認し、変更があれば再計画をする			
	21	マナーを身に付けよう②社会人としてのマナー(宮原)				「キャリアブック」で要点を整理し1時間予習し1時間復習すること			
	22	個人面談(全員)				学習ポートフォリオで現状を確認し、変更があれば再計画をする			
	23	アプローチを開始しよう(鍵和田)				「キャリアブック」で要点を整理し1時間予習し1時間復習すること			
	24	エントリーシートの書き方(摺崎)				「キャリアブック」で要点を整理し1時間予習し1時間復習すること			
	25	面接試験の対策と準備(清末)				「キャリアブック」で要点を整理し1時間予習し1時間復習すること			
	26	個人面談(全員)				学習ポートフォリオで現状を確認し、変更があれば再計画をする			
	27	個人面談(全員)				学習ポートフォリオで現状を確認し、変更があれば再計画をする			
	28	内定まであと一歩(小石)				「キャリアブック」で要点を整理し1時間予習し1時間復習すること			
	29	内定とその対応・注意すべきこと(摺崎)				「キャリアブック」で要点を整理し1時間予習し1時間復習すること			
30	総務部長からの1年次終了における講話・個人面談				学習ポートフォリオで現状を確認し、変更があれば再計画をする				

科目コード	科目名	実務経験のある教員による授業	地域志向	単位	担当者	関連資格			
						生活	療法	樹木	フアラフ
25 H E 20 AL	進路支援Ⅱ			1	小野ほか				
学習成果	学習成果 7)社会的基礎知識								
授業の概要	充実したキャンパスライフと明確な大学生活の目標の構築、「農」に関する職能の理解、社会人として活躍できる基礎的な態度(マナー)、知識・能力を総合的に習得することを目的とする。定期的に担当教員と面談を行う。								
授業の形式	講義、毎月1回個別面談を行う								
到達目標と対応する学習成果	① 生活基礎、一般常識、マナー、社会対応力を身に付けることができる					学習成果 7)社会的基礎知識			
	② 社会人として活躍できる基礎的な態度(マナー)、知識・能力を総合的に習得することができる					学習成果 7)社会的基礎知識			
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
履修上の注意点/試験やレポート等に対するフィードバックの方法	来る社会人としての意識を常に持ち、学生生活を送ること。自分のスケジュールや留意事項は配布する手帳を活用すること。								
評価の方法と基準	学習成果 7)社会的基礎知識 100点:講義50点(小テスト・レポート等)、個人面談50点(ゼミ担当教員)								
教科書	「キャリアガイドブック」 キャリタス株式会社								
参考書	・ ・ ・								
授業計画	回	授業内容			アクティブラーニング	授業以外の学習(予習・復習などの具体的内容及びそれに必要な時間)			
	1	総務部長からの入学時における講話・個人面談				学習ポートフォリオで現状を確認し、変更があれば再計画をする			
	2	労働法・求人票について(橋本)				「キャリアブック」で要点を整理し1時間予習し1時間復習すること			
	3	就職模試試験(宮原)				就職模試の復習を1時間する			
	4	個人面談(全員)				学習ポートフォリオで現状を確認し、変更があれば再計画をする			
	5	個人面談(全員)				学習ポートフォリオで現状を確認し、変更があれば再計画をする			
	6	就職模擬試験(摺崎)				前回の就職模試を再度行い、今回の模試の復習を1時間する			
	7	個人面談(全員)				学習ポートフォリオで現状を確認し、変更があれば再計画をする			
	8	就職模擬試験(橋本)				前回の就職模試を再度行い、今回の模試の復習を1時間する			
	9	就職模擬試験(小石)				前回の就職模試を再度行い、今回の模試の復習を1時間する			
	10	就職模擬試験(小野)				前回の就職模試を再度行い、今回の模試の復習を1時間する			
	11	海外農業研修制度				「海外農業」の要点を整理し1時間予習し1時間復習する			
	12	個人面談(全員)				学習ポートフォリオで現状を確認し、変更があれば再計画をする			
	13	個人面談(全員)				学習ポートフォリオで現状を確認し、変更があれば再計画をする			
	14	就職模擬試験(小野)				前回の就職模試を再度行い、今回の模試の復習を1時間する			
	15	個人面談(全員)				学習ポートフォリオで現状を確認し、変更があれば再計画をする			
	16	個人面談(全員)				学習ポートフォリオで現状を確認し、変更があれば再計画をする			
	17	ビジネス文書の書き方(宮原)				「キャリアブック」で要点を整理し1時間予習し1時間復習すること			
	18	コンプライアンス(法令遵守)(小石)				「キャリアブック」で要点を整理し1時間予習し1時間復習すること			
	19	生涯教育・スキルアップ(鍵和田)				「キャリアブック」で要点を整理し1時間予習し1時間復習すること			
	20	個人面談(全員)				学習ポートフォリオで現状を確認し、変更があれば再計画をする			
	21	社会人としての身だしなみ(橋本)				「キャリアブック」で要点を整理し1時間予習し1時間復習すること			
	22	個人面談(全員)				学習ポートフォリオで現状を確認し、変更があれば再計画をする			
	23	社会保障制度(摺崎)				「キャリアブック」で要点を整理し1時間予習し1時間復習すること			
	24	ビジネス電話の応対とセクシャルハラスメント(小野)				「キャリアブック」で要点を整理し1時間予習し1時間復習すること			
	25	来客応対と外出・訪問のマナー(小野)				「キャリアブック」で要点を整理し1時間予習し1時間復習すること			
	26	個人面談(全員)				学習ポートフォリオで現状を確認し、変更があれば再計画をする			
	27	個人面談(全員)				学習ポートフォリオで現状を確認し、変更があれば再計画をする			
	28	よりよいコミュニケーションのために、職場の一員として気を付けたこと(清末)				「キャリアブック」で要点を整理し1時間予習し1時間復習すること			
	29	社会人として旅立ちに際して(小石)				「キャリアブック」で要点を整理し1時間予習し1時間復習すること			
30	学長からの卒業時における講話・個人面談				学習ポートフォリオで現状を確認し、変更があれば再計画をする				

科目コード	科目名	実務経験のある教員による授業	地域志向	単位	担当者	関連資格			
						生活	療法	樹木	フライフ
26 H O 30 AL	園芸研究(卒業論文)			4	清末(実)、摺崎(実)、宮原、小石(実)、 鍵和田、橋本(実)、小野(実)			○	
学習成果	学習成果 9)主体性・思考力・判断力 学習成果 10)表現力								
授業の概要	園芸、農業にはまだ定説がない事柄も、いままで誰もが見過ごしてきたようなこともある。先人の残した経験や知識を、結果として理解し覚え込むばかりでなく、自分で新しい事柄に気付き、多くの現象を統一的に考察する訓練も重要である。園芸研究では、ひとり一人テーマをもって2年間にわたって研究に取り組む。								
授業の形式	2年間を通じた実験または調査、発表会用のレジメ提出2回、発表会2回、ポスター掲示2回、論文(大分短期大学研究報告)提出、60回の講義								
到達目標と対応する学習成果	①興味のある分野の研究テーマを設定し、自ら進んで研究に取り組み、まとめることができる。					学習成果 9)主体性・思考力・判断力			
	②自分の研究について、他者にわかりやすく発表することができる。					学習成果 10)表現力			
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
履修上の注意点/試験やレポート等に対するフィードバックの方法	研究活動を通じて主体性、思考力、判断力を養成する。ゼミナールの担当教員と相談して早くから取り組むこと。 ※「樹木医補」資格取得希望者で園芸研究を申請科目とする場合は造園・樹木分野に関する研究テーマとしなければならない。								
評価の方法と基準	60回の講義20点 研究への取り組み(ポスター提出20点、発表会用レジメ20点、研究発表20点、研究報告20点)で評価する 学習成果番号9番50点 学習成果番号10番 50点								
教科書									
参考書	・ ・ ・ ・								
授業計画	回	授業内容	授業以外の学習(予習・復習などの具体的な内容及びそれに必要な時間)	回	授業内容	授業以外の学習(予習・復習などの具体的な内容及びそれに必要な時間)			
	1	ゼミ紹介 全員	研究に取り組む	31	発表の方法、プレゼンテーション 小野	研究に取り組む			
	2	花の研究 ゼミ所属希望調査 宮原	研究に取り組む	32	中間発表準備 全員	研究に取り組む			
	3	ゼミ所属 全員	研究に取り組む	33	課題研究 全員	研究に取り組む			
	4	温室の使い方 小石	研究に取り組む	34	課題研究 全員	研究に取り組む			
	5	造園・樹木・林業の研究 鍵和田	研究に取り組む	35	課題研究 全員	研究に取り組む			
	6	土壌肥料の研究 橋本	研究に取り組む	36	課題研究 全員	研究に取り組む			
	7	野生植物の観察	研究に取り組む	37	野生植物の観察	研究に取り組む			
	8	作物の研究 小野	研究に取り組む	38	課題研究 全員	研究に取り組む			
	9	野菜の研究 橋本	研究に取り組む	39	課題研究 全員	研究に取り組む			
	10	園芸療法・園芸福祉の研究 小石	研究に取り組む	40	課題研究 全員	研究に取り組む			
	11	海外農業研修制度	研究に取り組む	41	海外農業研修制度	研究に取り組む			
	12	生物工学の研究 摺崎	研究に取り組む	42	課題研究 全員	研究に取り組む			
	13	果樹の研究 清末	研究に取り組む	43	課題研究 全員	研究に取り組む			
	14	実験実習場の使い方 橋本	研究に取り組む	44	課題研究 全員	研究に取り組む			
	15	実験室の使い方 摺崎	研究に取り組む	45	課題研究 全員	研究に取り組む			
	16	研究計画の立案と実験計画方法 摺崎	研究に取り組む	46	研究報告の書き方 宮原	研究に取り組む			
	17	調査・測定・評価方法 小野	研究に取り組む	47	ポスターの作成 全員	研究に取り組む			
	18	植物の観察・スケッチ 鍵和田	研究に取り組む	48	ポスターの作成 全員	研究に取り組む			
	19	図表の読み方・書き方 ① 宮原	研究に取り組む	49	ポスターの作成 全員	研究に取り組む			
	20	科学論文の読み方① 摺崎	研究に取り組む	50	課題研究 全員	研究に取り組む			
	21	科学論文の読み方② 摺崎	研究に取り組む	51	課題研究 全員	研究に取り組む			
	22	図表の読み方・書き方② 宮原	研究に取り組む	52	課題研究 全員	研究に取り組む			
	23	写真の撮り方 小野	研究に取り組む	53	研究発表準備 全員	研究に取り組む			
	24	学術情報の収集と研究者倫理 小石	研究に取り組む	54	研究発表準備 全員	研究に取り組む			
	25	土壌分析と施肥設計 橋本	研究に取り組む	55	研究発表準備 全員	研究に取り組む			
	26	知的財産権 小石	研究に取り組む	56	研究発表準備 全員	研究に取り組む			
	27	ポスターの作成方法 鍵和田	研究に取り組む	57	卒業論文(大分短期大学研究報告)執筆 全員	研究に取り組む			
	28	ポスターの作成 全員	研究に取り組む	58	卒業論文(大分短期大学研究報告)執筆 全員	研究に取り組む			
	29	ポスターの作成 全員	研究に取り組む	59	卒業論文(大分短期大学研究報告)執筆 全員	研究に取り組む			
30	ポスターの作成 全員	研究に取り組む	60	卒業論文(大分短期大学研究報告)執筆 全員	研究に取り組む				

科目コード	科目名	実務経験のある教員による授業	地域志向	単位	担当者	関連資格			
						生活	療法	樹木	フラスコ
27 S K 12 AL	土壌肥科学	○		2	橋本裕輝〈実〉	○		○	
学習成果	学習成果 3)基礎的専門知識								
	学習成果 5)応用的専門知識								
授業の概要	土壌肥料は作物を育てていくうえで、必要な知識である。昨今、慣行の施肥体系から肥料コスト低減体系へ転換が求められており、土壌診断に基づく土作りが重要になってくる。本授業では土壌分析表、保証書を説明できることを目的とする。なお土壌医3級の対策も兼ねる。								
授業の形式	講義、パワーポイント								
到達目標と対応する学習成果	① 土壌分析表を説明できる						学習成果 3)基礎的専門知識		
	② 保証書の見方を説明できる						学習成果 3)基礎的専門知識		
	③ 単肥の性質を説明できる						学習成果 3)基礎的専門知識		
	④ 施肥量の計算ができる						学習成果 3)基礎的専門知識		
	⑤ 化成肥料・配合肥料の製造の仕組みを理解できる						学習成果 5)応用的専門知識		
	⑥								
履修上の注意点／試験やレポート等に対するフィードバックの方法	ノートを準備しておくこと。講義のはじめにコメント用紙を配布するので、受講後、感想、質問を記入し、必ず提出すること。提出により出席とします。コメントに書かれた感想、質問に対しは次回の講義でフィードバックします。また、定期試験の解答および配点は開示する。試験終了後1週間以内に申し出ることに。								
評価の方法と基準	学習成果3)基礎的専門知識 90点(到達目標①②定期試験各40点、到達目標③④アクティブラーニング各5点) 学習成果5)応用的専門知識 10点(到達目標⑤アクティブラーニング10点) *アクティブラーニングでの様式・提出期限等が守られていない場合は減点の対象とする。								
教科書	土づくりと作物生産 日本土壌協会								
参考書	・土と微生物と肥料の働き 農文協								
	・ポケット肥料要覧								
	・だれにもできる 土壌診断の読み方と肥料計算 JA全農肥料農薬部								
	・農業技術体系・土壌肥料編 農文協								
授業計画	回	授業内容			アクティブラーニング	授業以外の学習(予習・復習などの具体的内容及びそれに必要な時間)			
	1	作物と土・肥料:作物の生育に必要な条件、農業における土の役割			○	第1回の講義の内容をまとめ、復習すること(2時間)			
	2	土壌の種類と土性			○	第2回の授業内容の箇所を教科書を読んで予習すること(2時間) 第2回の講義の内容をまとめ、復習すること(2時間)			
	3	作物の健全な生育と土壌環境			○	第3回の授業内容の箇所を教科書を読んで予習すること(2時間) 第3回の講義の内容をまとめ、復習すること(2時間)			
	4	土壌の化学性(必須元素・土壌診断項目)			○	第4回の授業内容の箇所を教科書を読んで予習すること(2時間) 第4回の講義の内容をまとめ、復習すること(2時間)			
	5	土壌の化学性(CEC・リン酸吸収係数)			○	第5回の授業内容の箇所を教科書を読んで予習すること(2時間) 第5回の講義の内容をまとめ、復習すること(2時間)			
	6	土壌の化学性(腐植・pH・EC)			○	第6回の授業内容の箇所を教科書を読んで予習すること(2時間) 第6回の講義の内容をまとめ、復習すること(2時間)			
	7	土壌の化学性(窒素固定・遊離酸鉄・ケイ酸施用)			○	第7回の授業内容の箇所を教科書を読んで予習すること(2時間) 第7回の講義の内容をまとめ、復習すること(2時間)			
	8	土壌の物理性(土層・土壌硬度・三相分佈・pF)			○	第8回の授業内容の箇所を教科書を読んで予習すること(2時間) 第8回の講義の内容をまとめ、復習すること(2時間)			
	9	土壌の生物性(土壌微生物・センチュウ)			○	第9回の授業内容の箇所を教科書を読んで予習すること(2時間) 第9回の講義の内容をまとめ、復習すること(2時間)			
	10	肥料・堆肥の性質と種類、保証書について			○	プリントを配布するので内容を予習しておく(2時間) 保証書について説明できるように復習し、理解する(2時間)			
	11	政令指定土壌改良資材の性質と種類について			○	プリントを配布するので内容を予習しておく(2時間) 第11回の講義の内容をまとめ、復習すること(2時間)			
	12	主要作物の施肥特性と施肥管理			○	第10回の授業内容の復習しておくこと(2時間) 第12回の講義の内容をまとめ、復習すること(2時間)			
	13	肥料の製造設計について			○	肥料の特徴、保証成分、作物の栽培方法を予習しておく(2時間) 肥料の製造設計書を作成する(2時間)			
	14	土壌診断の内容と進め方			○	第14回の授業内容の箇所を教科書を読んで予習すること(2時間) 第14回の講義の内容をまとめ、復習すること(2時間)			
	15	まとめ			○	今までの授業内容の箇所を教科書を読んで予習すること(2時間)			
16	定期試験								

科目コード	科目名	実務経験のある教員による授業	地域志向	単位	担当者	関連資格			
						生活	療法	樹木	フライフ
28 S K 22 AL	植物病理学	○		2	清末義信〈実〉	○		○	
学習成果	学習成果 3)基礎的専門知識								
授業の概要	作物(植物)の病気が我々の暮らしや文化を大きく変えてきたことはよく知られている。今もなお、世界の年間食糧生産額の約15%(8億人分の食糧に相当)が農作物の病気で失われている。この講義では、我々、という人類の生存基盤を支える植物特に農作物の病気のしくみや原因となる病原を解説するとともに、農業生産現場における実用性の観点から、その予防と制御技術の開発の現状と今後の展望について学ぶ。								
授業の形式	講義(アクティブラーニングを含む)								
到達目標と対応する学習成果	① 植物の病気の仕組みを理解している					学習成果 3)基礎的専門知識			
	② 植物の病気の防除方法を理解している					学習成果 3)基礎的専門知識			
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
履修上の注意点/試験やレポート等に対するフィードバックの方法	植物病理に関する重要な項目について、レポートにまとめて発表する(アクティブラーニング含む)。フィードバックについては、次回の講義で前回の内容をとりまとめた説明する。								
評価の方法と基準	レポート、定期試験で評価する。 学習成果3)基礎的専門知識100点 (到達目標①50点、到達目標②50点。それぞれレポート50%、定期試験50%)								
教科書	植物病理学の基礎(2021) 農山漁村文化協会								
参考書	・「植物防疫 改訂」(社)全国農業改良普及支援協会								
	・「農業概説」(2020) 社団法人日本植物防疫協会編								
	・								
	・								
授業計画	回	授業内容			アクティブラーニング	授業以外の学習(予習・復習などの具体的内容及びそれに必要な時間)			
	1	植物の病気とは: 病気と病害、病気の原因、何故、植物病理学という学問が起こったか?				各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。講義内容を振り返り、要点をまとめて復習30分以上(ノート含む)取り組むこと。			
	2	植物の病気: 病気の成立の3要因、病原体の侵入、感染、発病、病徴と標徴、宿主交代と中間宿主			○	各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。講義内容を振り返り、要点をまとめて復習30分以上(ノート含む)取り組むこと。			
	3	病原の種類と性質: ウィルス・ウイロイド				各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。講義内容を振り返り、要点をまとめて復習30分以上(ノート含む)取り組むこと。			
	4	病原の種類と性質: ファイトプラズマ				各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。講義内容を振り返り、要点をまとめて復習30分以上(ノート含む)取り組むこと。			
	5	病原の種類と性質: 細菌			○	各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。講義内容を振り返り、要点をまとめて復習30分以上(ノート含む)取り組むこと。			
	6	病原の種類と性質: 糸状菌				各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。講義内容を振り返り、要点をまとめて復習30分以上(ノート含む)取り組むこと。			
	7	病原の種類と性質: 線虫				各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。講義内容を振り返り、要点をまとめて復習30分以上(ノート含む)取り組むこと。			
	8	病気の発生生態: 第一次伝染源、第二次伝染など				各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。講義内容を振り返り、要点をまとめて復習30分以上(ノート含む)取り組むこと。			
	9	病気の診断: 植物診断、圃場診断、各種診断法(光学顕微鏡、電子顕微鏡、血清、)				各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。講義内容を振り返り、要点をまとめて復習30分以上(ノート含む)取り組むこと。			
	10	病害防除: 生物的防除法			○	各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。講義内容を振り返り、要点をまとめて復習30分以上(ノート含む)取り組むこと。			
	11	病害防除: 化学的防除法と薬剤耐性菌				各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。講義内容を振り返り、要点をまとめて復習30分以上(ノート含む)取り組むこと。			
	12	病害防除: 物理的防除法			○	各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。講義内容を振り返り、要点をまとめて復習30分以上(ノート含む)取り組むこと。			
	13	病害防除: 環境の制御				各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。講義内容を振り返り、要点をまとめて復習30分以上(ノート含む)取り組むこと。			
	14	総合防除: 持続可能な農業の視点に立ったIPM			○	各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。講義内容を振り返り、要点をまとめて復習30分以上(ノート含む)取り組むこと。			
	15	植物病理学の総括				各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。講義内容を振り返り、要点をまとめて復習30分以上(ノート含む)取り組むこと。			
16	定期試験								

科目コード	科目名	実務経験のある教員による授業	地域志向	単位	担当者	関連資格			
						生活	療法	樹木	フアラフ
29 S K 12 AL	植物生理生態学			2	小野宣幸			○	
学習成果	学習成果 3) 基礎的専門知識								
	学習成果 5) 応用的専門知識								
授業の概要	植物の生理を植物体の構造と働きから学び、これによって起こる生命現象を学習する。花卉園芸、野菜園芸、育種、土壌肥料、作物学等を学ぶために必要不可欠な基礎知識である。								
授業の形式	講義								
到達目標と対応する学習成果	① 植物の構造と働きを理解することができる						学習成果 3) 基礎的専門知識		
	② 環境によって植物がどのように生きていくか理解することができる						学習成果 5) 応用的専門知識		
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
履修上の注意点／試験やレポート等に対するフィードバックの方法	植物生理学は、農業や園芸を学ぶ上で最も基礎的で不可欠な知識である。高校で生物を学んでいない学生は、特に学習してもらいたい科目である。各講義で前回の内容を振り返る時間を設ける。各自前回の講義内容・要点をまとめておくのが望ましい。								
評価の方法と基準	定期試験の結果によって評価する。以下は単位認定時における学習成果への点数(評価)配分。 学習成果 3) 基礎的専門知識 50点(到達目標①50点) 学習成果 5) 応用的専門知識 50点(到達目標②50点) それぞれ定期試験100%								
教科書	寺島一郎・新・生命科学シリーズ 植物の生態-生理機能を中心に-改訂版 裳華房								
参考書	・ 増田芳雄:植物生理学[改訂版] 培風館								
	・ 東京農工大学出版会:人が学ぶ 植物の知恵 ・ 山本良一・絵とき植物生理学入門 改訂3版 オーム社 ・								
授業計画	回	授業内容			アクティブラーニング	授業以外の学習(予習・復習などの具体的内容及びそれに必要な時間)			
	1	植物の環境対応 陸上植物の進化			○	1回目の授業で学習した内容(植物の環境対応 陸上植物の進化)を復習する(1時間以上)。2回目の授業予定の内容(植物の体制)を予習する(1時間以上)。			
	2	植物の体制:植物のからだの構造とはたらき(根・茎・葉)			○	2回目の授業で学習した内容(植物の体制)を復習する(1時間以上)。3回目の授業予定の内容(植物と水)を予習する(1時間以上)。			
	3	植物と水			○	3回目の授業で学習した内容(植物と水)を復習する(1時間以上)。4回目の授業予定の内容(植物の光環境と光吸収)を予習する(1時間以上)。			
	4	植物の光環境と光吸収			○	4回目の授業で学習した内容(植物の光環境と光吸収)を復習する(1時間以上)。5回目の授業予定の内容(光合成のあらまし)を予習する(1時間以上)。			
	5	光合成のあらまし			○	5回目の授業で学習した内容(光合成のあらまし)を復習する(1時間以上)。6回目の授業予定の内容(植物の生活)を予習する(1時間以上)。			
	6	植物の生活:C <sub>3</sub> 植物 C <sub>4</sub> 植物 CAM植物について			○	6回目の授業で学習した内容(植物の生活)を復習する(1時間以上)。7回目の授業予定の内容(光合成の生理生態学)を予習する(1時間以上)。			
	7	光合成の生理生態学			○	7回目の授業で学習した内容(光合成の生理生態学)を復習する(1時間以上)。8回目の授業予定の内容(呼吸と転流)を予習する(1時間以上)。			
	8	呼吸と転流			○	8回目の授業で学習した内容(呼吸と転流)を復習する(1時間以上)。9回目の授業予定の内容(無期栄養の獲得)を予習する(1時間以上)。			
	9	無期栄養の獲得			○	9回目の授業で学習した内容(無期栄養の獲得)を復習する(1時間以上)。10回目の授業予定の内容(植物の成長)を予習する(1時間以上)。			
	10	植物の成長:植物ホルモンについて			○	10回目の授業で学習した内容(植物の成長)を復習する(1時間以上)。11回目の授業予定の内容(外来生物について)を予習する(1時間以上)。			
	11	外来生物について			○	11回目の授業で学習した内容(外来生物について)を復習する(1時間以上)。12回目の授業予定の内容(陸域生態系の生態学 土壌・植生)を予習する(1時間以上)。			
	12	陸域生態系の生態学 土壌・植生			○	12回目の授業で学習した内容(陸域生態系の生態学 土壌・植生)を復習する(1時間以上)。13回目の授業予定の内容(植物群落)を予習する(1時間以上)。			
	13	植物群落:遷移系列 遷移の種類 極相 ギャップ			○	13回目の授業で学習した内容(植物群落)を復習する(1時間以上)。14回目の授業予定の内容(生態系)を予習する(1時間以上)。			
	14	生態系:植物と動物との関係			○	14回目の授業で学習した内容(生態系)を復習する(1時間以上)。15回目の授業予定の内容(生態系)を予習する(1時間以上)。			
	15	生態系:植物と人類との関係			○	15回目の授業で学習した内容(生態系)も含め、講義全体の復習を行う(約2時間)。			
16	定期試験								

科目コード	科目名	実務経験のある教員による授業	地域志向	単位	担当者	関連資格			
						生活	療法	樹木	フライフ
30 S K 22 AL	育種遺伝学	○		2	清末義信〈実〉				
学習成果	学習成果 3)基礎的専門知識								
授業の概要	農業生産性を向上させるためには、育種技術によって今までになかった新品種を作出したり、今まで以上に生産能力の高い作物を開発することが重要である。そのため、遺伝学の基礎と農業生産力を高めるための基本的な育種技術について学ぶ。								
授業の形式	講義(アクティブラーニングを含む)								
到達目標と対応する学習成果	① 育種の基礎となる知識を理解できる					学習成果 3)基礎的専門知識			
	② 基本的な育種法について理解できる					学習成果 3)基礎的専門知識			
	③ 遺伝子組換え等新しい育種技術について理解できる					学習成果 3)基礎的専門知識			
	④								
	⑤								
	⑥								
履修上の注意点/試験やレポート等に対するフィードバックの方法	育種に関する重要な項目について、レポートにまとめ発表する(アクティブラーニング含む)。フィードバックについては、次回の講義で前回の内容をとりまとめ説明する。								
評価の方法と基準	レポート及び定期試験で評価する。学習成果 3)基礎的専門知識100点。(到達目標①40点、②30点、③30点。それぞれレポート50%、定期試験50%)								
教科書	北柴大泰ら著「植物育種学 第5版」								
参考書	・ 福井希一ら著「植物の遺伝と育種 第2版」(図書館にあり) ・ 中島哲夫監修「新しい植物育種技術」(図書館にあり) ・ 鶴飼保雄ら編「品種改良の日本史」(図書館にあり) ・								
授業計画	回	授業内容			アクティブラーニング	授業以外の学習(予習・復習などの具体的内容及びそれに必要な時間)			
	1	品種と育種				各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。講義内容を振り返り、要点をまとめて復習30分以上(ノート含む)取り組むこと。			
	2	植物の生殖様式と雑種強勢				各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。講義内容を振り返り、要点をまとめて復習30分以上(ノート含む)取り組むこと。			
	3	ゲノムと倍数性			○	各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。講義内容を振り返り、要点をまとめて復習30分以上(ノート含む)取り組むこと。			
	4	量的形質				各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。講義内容を振り返り、要点をまとめて復習30分以上(ノート含む)取り組むこと。			
	5	遺伝資源とゲノム情報				各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。講義内容を振り返り、要点をまとめて復習30分以上(ノート含む)取り組むこと。			
	6	交雑技術と種間交雑育種			○	各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。講義内容を振り返り、要点をまとめて復習30分以上(ノート含む)取り組むこと。			
	7	突然変異育種とゲノム編集				各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。講義内容を振り返り、要点をまとめて復習30分以上(ノート含む)取り組むこと。			
	8	遺伝子組換えによる育種			○	各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。講義内容を振り返り、要点をまとめて復習30分以上(ノート含む)取り組むこと。			
	9	自殖性植物の育種法と半数体育種				各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。講義内容を振り返り、要点をまとめて復習30分以上(ノート含む)取り組むこと。			
	10	他殖性植物と栄養繁殖植物の育種法				各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。講義内容を振り返り、要点をまとめて復習30分以上(ノート含む)取り組むこと。			
	11	DNAマーカー選抜法と品種同定技術			○	各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。講義内容を振り返り、要点をまとめて復習30分以上(ノート含む)取り組むこと。			
	12	多収性と早晩性				各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。講義内容を振り返り、要点をまとめて復習30分以上(ノート含む)取り組むこと。			
	13	環境ストレス耐性				各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。講義内容を振り返り、要点をまとめて復習30分以上(ノート含む)取り組むこと。			
	14	耐病性と耐虫性			○	各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。講義内容を振り返り、要点をまとめて復習30分以上(ノート含む)取り組むこと。			
	15	食味および品質と成分				各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。講義内容を振り返り、要点をまとめて復習30分以上(ノート含む)取り組むこと。			
16	定期試験								

科目コード	科目名	実務経験のある教員による授業	地域志向	単位	担当者	関連資格			
						生活	療法	樹木	フライフ
31 S K 11 AL	農業学	○		2	清末義信			○	
学習成果	学習成果 3) 基礎的専門知識								
授業の概要	農作物の病気や害虫、それに雑草などは農作物安定生産の阻害要因として重要である。これらの阻害要因を排除するために農業の果たす役割は極めて重要であり、農業は農業生産にとって必要不可欠なものである。その一方で農業は、食の安全安心や環境保全の観点から、消費者をはじめ社会的理解が不十分である。この講義を通して農業について、病害虫・雑草に対する作用機序、人畜に対する毒性、生態系への影響と安全性評価、農作物の安定生産に果たす役割、農業の正しい使い方等を科学的に正しく理解してもらう。さらに生産現場での実用性の観点から、適正かつ安全な使用法の習得を中心に授業を行う。								
授業の形式	講義(アクティブラーニングを含む)								
到達目標と対応する学習成果	① 農業の毒性と安全性について「化学物質のベネフィットとリスク」の観点から科学的に理解している。					学習成果 3) 基礎的専門知識			
	② 農業の安全かつ適正な使用方法について実用性の観点から理解している。					学習成果 3) 基礎的専門知識			
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
履修上の注意点/試験やレポート等に対するフィードバックの方法	農業に関する重要な項目について、レポートにまとめ発表する(アクティブラーニング含む)。フィードバックについては、次回の講義で前回の内容をとりまとめ説明する。								
評価の方法と基準	レポート、定期試験で評価する。 学習成果3) 基礎的専門知識100点 (到達目標①50点、到達目標②50点。それぞれレポート50%、定期試験50%)								
教科書	「農業学」 佐藤ほか								
参考書	・「改訂 植物防疫」(社)全国農業改良普及支援協会								
	・「農業概説」(2021) 日本植物防疫協会編								
	・農業ハンドブック(2021) 日本植物防疫協会編								
	・								
授業計画	回	授業内容			アクティブラーニング	授業以外の学習(予習・復習などの具体的内容及びそれに必要な時間)			
	1	農業の現況: 農業の定義、農業の必要性				各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。講義内容を振り返り、要点をまとめ復習30分以上(ノート含む)取り組むこと。			
	2	農業の歴史: 農業の歴史と変遷、農業使用上の問題点			○	各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。講義内容を振り返り、要点をまとめ復習30分以上(ノート含む)取り組むこと。			
	3	農業の種類: 目的・作用性による分類、有効成分による分類、製剤形態による分類				各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。講義内容を振り返り、要点をまとめ復習30分以上(ノート含む)取り組むこと。			
	4	農業の製剤と施用法: 製剤形態、施用法				各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。講義内容を振り返り、要点をまとめ復習30分以上(ノート含む)取り組むこと。			
	5	農業の作用: 作用特性、作用機構				各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。講義内容を振り返り、要点をまとめ復習30分以上(ノート含む)取り組むこと。			
	6	農業の作用: 抵抗性・耐性の発現機構と対策			○	各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。講義内容を振り返り、要点をまとめ復習30分以上(ノート含む)取り組むこと。			
	7	農業の作用: 効力に及ぼす各種要因、リザーヴェンス、被害の発生原因と対策				各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。講義内容を振り返り、要点をまとめ復習30分以上(ノート含む)取り組むこと。			
	8	農業の毒性: 急性毒性、慢性毒性、その他の毒性、リスク評価				各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。講義内容を振り返り、要点をまとめ復習30分以上(ノート含む)取り組むこと。			
	9	農業の環境動態: 環境中における挙動、農業の代謝分解、農業の残留			○	各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。講義内容を振り返り、要点をまとめ復習30分以上(ノート含む)取り組むこと。			
	10	農業の安全使用: 農業登録の仕組み、安全性評価、危被害防止				各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。講義内容を振り返り、要点をまとめ復習30分以上(ノート含む)取り組むこと。			
	11	農業の安全使用: 農作物および環境での残留農業、土壌・水系・大気での残留農業				各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。講義内容を振り返り、要点をまとめ復習30分以上(ノート含む)取り組むこと。			
	12	農業各論: 殺虫剤、殺菌剤			○	各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。講義内容を振り返り、要点をまとめ復習30分以上(ノート含む)取り組むこと。			
	13	農業各論: 除草剤、植物成長調節剤、誘引剤・忌避剤、その他				各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。講義内容を振り返り、要点をまとめ復習30分以上(ノート含む)取り組むこと。			
	14	農業の関連法規: 農業取締法、毒物及び劇物取締法、食品衛生法ほか、農業の今後				各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。講義内容を振り返り、要点をまとめ復習30分以上(ノート含む)取り組むこと。			
	15	IPMの考え方、農業学の総括			○	各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。講義内容を振り返り、要点をまとめ復習30分以上(ノート含む)取り組むこと。			
16	定期試験								

科目コード	科目名	実務経験のある教員による授業	地域志向	単位	担当者	関連資格			
						生活	療法	樹木	フラスコ
32 S K 21 AL	応用昆虫学	○		2	勝本英樹〈実〉			○	
学習成果	学習成果 3)基礎的専門知識								
授業の概要	人間生活にかかわりをもつ昆虫の学問が応用昆虫学でその対象は多岐にわたる。そのうち、農作物またはその収穫物に被害を与える農業害虫を中心に、防除のために必要な基礎知識から、防除を効率的に行う応用的知識を学ぶ。なお、農業現場では昆虫類のほか、ダニ類や線虫類も有害動物として軽視できないため、それらに寄生あるいは捕食する天敵や有用微生物の活用の仕方も範囲に含める。								
授業の形式	講義形式とプロジェクターを利用したパワーポイントを活用 授業資料として、プリントを配布する								
到達目標と対応する学習成果	① 害虫と害虫の生理生態を理解している ② 害虫の防除方法を理解している ③ 昆虫機能の利用方法を理解している ④ ⑤ ⑥						学習成果 3)基礎的専門知識 学習成果 3)基礎的専門知識 学習成果 3)基礎的専門知識		
履修上の注意点／試験やレポート等に対するフィードバックの方法	授業終了後、ミニレポート問題を配布するので、次回授業までに必ず提出すること。記述内容を評価した上で点数化する。毎回の授業に関する質問は、クラスルームを利用したメールで行うこと。重要と思われる質問については授業で取り上げ、解説する。								
評価の方法と基準	ミニレポート課題提出状況、定期試験で評価する。 学習成果3)基礎的専門知識 到達目標①～②各60点、③40点（ミニレポート50%、定期試験50%）								
教科書	応用昆虫学の基礎(2019) 後藤哲雄他 農山漁村文化協会 (写真、図表を盛り込んだ、パワーポイント資料等をプリント(白黒)し配布)								
参考書	・ 応用昆虫学 石川幸男他 朝倉書店 ・ ・ ・								
授業計画	回	授業内容			フクティブ ラーニング	授業以外の学習(予習・復習などの具体的内容及びそれに必要な時間)			
	1	昆虫と応用昆虫学について 昆虫の期限他				授業の要点を整理し(30分復習)、次回の授業に備えること(30分予習)。			
	2	昆虫の形態 昆虫、ダニ、線虫等の形態				授業の要点を整理し(30分復習)、次回の授業に備えること(30分予習)。			
	3	昆虫の分類 昆虫、ダニ、線虫等の分類				授業の要点を整理し(30分復習)、次回の授業に備えること(30分予習)。			
	4	昆虫の生理と殺虫剤の作用機構 1 昆虫の皮膚の構造、ホルモン				授業の要点を整理し(30分復習)、次回の授業までにレポートを提出すること(30分予習)。			
	5	昆虫の生理と殺虫剤の作用機構 2 昆虫の栄養生理、ATPの生産、奇主選択				授業の要点を整理し(30分復習)、次回の授業に備えること(30分予習)。			
	6	昆虫の生理と殺虫剤の作用機構 3 昆虫の神経伝達、殺虫剤の作用機構、フェロモン				授業の要点を整理し(30分復習)、次回の授業に備えること(30分予習)。			
	7	昆虫の生態 1 昆虫の発生、生活環			○	授業の要点を整理し(30分復習)、次回の授業に備えること(30分予習)。			
	8	昆虫の生態 2 昆虫の分散、移動、密度変動				授業の要点を整理し(30分復習)、次回の授業に備えること(30分予習)。			
	9	昆虫の生態 3 昆虫の群集構造と種間関係				授業の要点を整理し(30分復習)、次回の授業に備えること(30分予習)。			
	10	害虫の防除と総合的管理 1 化学的防除				授業の要点を整理し(30分復習)、次回の授業に備えること(30分予習)。			
	11	害虫の防除と総合的管理 2 生物的防除				授業の要点を整理し(30分復習)、次回の授業に備えること(30分予習)。			
	12	害虫の防除と総合的管理 3 物理的防除				授業の要点を整理し(30分復習)、次回の授業に備えること(30分予習)。			
	13	害虫の防除と総合的管理 4 法令にもとづく害虫防除				授業の要点を整理し(30分復習)、次回の授業に備えること(30分予習)。			
	14	昆虫機能の利用 1 広がる昆虫機能の利用、利用技術と物質生産			○	今回の授業の要点を整理し(30分復習)、次回の授業までにレポートを提出すること(30分予習)。			
	15	昆虫機能の利用 2 送粉昆虫の利用				今回の授業の要点を整理し(30分復習)、次回の定期試験に備えること(30分予習)。			
16	定期試験								

科目コード	科目名	実務経験のある教員による授業	地域志向	単位	担当者	関連資格			
						生活	療法	樹木	フライフ
33 S K 12 EN	施設園芸学	○		2	橋本裕輝〈実〉				
学習成果	学習成果 5)応用的専門知識								
授業の概要	施設園芸の現状から最新の技術までを学ぶ。また、植物の基本的機能を理解しながら、ハウスなどの園芸施設の基本的構造と資材、環境制御技術に関する理解を含める。								
授業の形式	講義(板書)								
到達目標と対応する学習成果	① 施設の種類の、構造について説明することができる					学習成果 5)応用的専門知識			
	② 施設制御、法律・規範等について説明することができる					学習成果 5)応用的専門知識			
	③ 養液栽培について説明できる。					学習成果 5)応用的専門知識			
	④ 培養液の計算ができる。					学習成果 5)応用的専門知識			
	⑤								
	⑥								
履修上の注意点/試験やレポート等に対するフィードバックの方法	講義のはじめにコメント用紙を配布するので、受講後、感想、質問を記入し、必ず提出すること。提出により出席とします。コメントに書かれた感想、質問に対しは次回の講義でフィードバックします。また、定期試験の解答および配点は開示する。試験終了後1週間以内に申し出ること。								
評価の方法と基準	学習成果5)応用的専門知識 100点(到達目標①定期試験20点・アクティブラーニング15点、到達目標②定期試験40点、到達目標③定期試験20点、到達目標④アクティブラーニング15点) *アクティブラーニングでの様式・提出期限等が守られていない場合は減点の対象とする。								
教科書	プリントを配布する。								
参考書	・施設園芸・植物工場ハンドブック (一社)日本施設園芸協会 編集								
	・最新施設園芸学 古在豊樹 他編著								
	・園芸施設学入門 改訂増補版 小澤行雄・内藤文男 著								
	・養液栽培のすべて (社)日本施設園芸協会/日本養液栽培研究会 共編								
授業計画	回	授業内容			アクティブラーニング	授業以外の学習(予習・復習などの具体的内容及びそれに必要な時間)			
	1	施設園芸の現状と展望・発展			○	事前に講義資料を配布するので予習を行う(2時間) 分からない単語など復習しておく(2時間)			
	2	施設の種類の形式			○	事前に講義資料を配布するので予習を行う(2時間) 分からない単語など復習しておく(2時間)			
	3	被覆資材:被覆資材の機能(光の特性)			○	事前に講義資料を配布するので予習を行う(2時間) 分からない単語など復習しておく(2時間)			
	4	被覆資材:ガラス・硬質プラスチック板・プラスチックフィルム			○	事前に講義資料を配布するので予習を行う(2時間) 分からない単語など復習しておく(2時間)			
	5	被覆資材:マルチ、ベタがけ資材と利用			○	事前に講義資料を配布するので予習を行う(2時間) 分からない単語など復習しておく(2時間)			
	6	施設内の環境制御技術:光環境制御			○	事前に講義資料を配布するので予習を行う(2時間) 分からない単語など復習しておく(2時間)			
	7	施設内の環境制御技術:温度制御(保温・暖房・冷房)			○	事前に講義資料を配布するので予習を行う(2時間) 分からない単語など復習しておく(2時間)			
	8	施設内の環境制御技術:湿度制御			○	事前に講義資料を配布するので予習を行う(2時間) 分からない単語など復習しておく(2時間)			
	9	施設内の環境制御技術:二酸化炭素制御			○	事前に講義資料を配布するので予習を行う(2時間) 学内の温室もしくは実験実習地のハウスを調べる(2時間)			
	10	施設内の環境制御技術:換気・気流制御			○	事前に講義資料を配布するので予習を行う(2時間) 学内の温室もしくは実験実習地のハウスを調べる(2時間)			
	11	養液栽培・培養液について			○	農作物を育てる際の培養液の施肥設計を行う(1時間)。 1~10回の講義を内容を踏まえ、大分短期大学の施設(ハウス)について調査する。(3時間)			
	12	大分短期大学における施設(ハウス)の調査(発表)			○	事前に講義資料を配布するので予習を行う(2時間) 分からない単語など復習しておく(2時間)			
	13	植物工場について			○	事前に講義資料を配布するので予習を行う(2時間) 分からない単語など復習しておく(2時間)			
	14	農業・園芸における法律・認証・規範			○	事前に講義資料を配布するので予習を行う(2時間) 分からない単語など復習しておく(2時間)			
	15	施設園芸とIT(情報技術)利用			○	事前に講義資料を配布するので予習を行う(2時間) 分からない単語など復習しておく(2時間)			
16	定期試験								

科目コード	科目名	実務経験のある教員による授業	地域志向	単位	担当者	関連資格			
						生活	療法	樹木	フラワー
34 S K 11 AL	ガーデニング概論		地域力	2	摺崎、橋本	◎	○		
学習成果	学習成果 5) 応用的専門知識								
授業の概要	各地の庭を訪れて緑や花を楽しんだり、自宅でベランダ園芸や家庭菜園を楽しんだり、ガーデニングは日々の生活に密着しており、私たちの心を豊かにしてくれる。また、ガーデニングは人と人との心の絆を深め、地域連携のコミュニケーションツールとしての役割も期待されている。本講座では、様々なガーデンスタイルとガーデニングに関する基本的な知識・技術(基準地:大分)を学ぶ。								
授業の形式	講義(アクティブラーニングを含む)								
到達目標と対応する学習成果	① イングリッシュガーデンの歴史と様式について説明することができる					学習成果 5) 応用的専門知識			
	② 園芸用具、園芸資材、有事の際の対応について説明できる					学習成果 5) 応用的専門知識			
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
履修上の注意点/試験やレポート等に対するフィードバックの方法	・1~7回の授業で毎回レポート課題がある。レポートは返却する。 ・「生活園芸士」資格を希望するものは必ず履修し、単位修得しなければならない。 ・Google Classroomを利用して授業(資料配布、課題提出)を行うので各自登録すること。								
評価の方法と基準	各回のレポート、定期試験で評価する。 学習成果5) 応用的専門知識100点 (到達目標①50点、レポート課題80%、小テスト20%) (到達目標②50点、定期試験100%)								
教科書	適宜、プリントを配布する								
参考書	・ ・ ・								
授業計画	回	授業内容			アクティブラーニング	授業以外の学習(予習・復習などの具体的内容及びそれに必要な時間)			
	1	ガーデニングの定義:ガーデニングの定義を考え、まとめる			○	講義終了後にレポート作成し(1時間)次の授業で提出すること。また、次の授業について、書籍やインターネットを利用して予習(1時間)しておくこと。			
	2	ガーデニングの歴史とスタイル①:イングリッシュガーデン				講義終了後にレポート作成し(1時間)次の授業で提出すること。また、次の授業について、書籍やインターネットを利用して予習(1時間)しておくこと。			
	3	ガーデニングの歴史とスタイル②:プラントハンターの役割				講義終了後にレポート作成し(1時間)次の授業で提出すること。また、次の授業について、書籍やインターネットを利用して予習(1時間)しておくこと。			
	4	ガーデンの種類①:イギリスのガーデンスタイル(ナショナルトラスト)				講義終了後にレポート作成し(1時間)次の授業で提出すること。また、次の授業について、書籍やインターネットを利用して予習(1時間)しておくこと。			
	5	ガーデンの種類②:イギリスのガーデンスタイル(ナショナルトラスト)				講義終了後にレポート作成し(1時間)次の授業で提出すること。また、次の授業について、書籍やインターネットを利用して予習(1時間)しておくこと。			
	6	ガーデンの種類③:イギリスのガーデンスタイル(ベスタチャーガーデン)				講義終了後にレポート作成し(1時間)次の授業で提出すること。また、次の授業について、書籍やインターネットを利用して予習(1時間)しておくこと。			
	7	ガーデンの種類④:イギリスのガーデンスタイル(イエローブック)				講義終了後にレポート作成し(1時間)次の授業で提出すること。また、次の授業について、書籍やインターネットを利用して予習(1時間)しておくこと。			
	8	前半のまとめ(小テスト)				前半の授業を振り返り、知識の定着を図ること。			
	9	ガーデニングで使用する花、野菜、ハーブ、家庭果樹、庭木、花木等について				第9回の講義の内容をまとめ、復習すること(2時間)			
	10	園芸作業の基礎について				事前に講義資料を配布するので予習を行う(2時間) 分からない単語など復習しておく(2時間)			
	11	園芸用具について(鋏、鋤、鎌など)				事前に講義資料を配布するので用具の名前を調べておく(2時間) モノと名前を復習しておく(2時間)			
	12	園芸用具について(工具、草刈り機、灌水道具など)				事前に講義資料を配布するので用具の名前を調べておく(2時間) モノと名前を復習しておく(2時間)			
	13	園芸資材について(用土、薬剤、コンテナなど)				事前に講義資料を配布するので資材の名前を調べておく(2時間) モノと名前を復習しておく(2時間)			
	14	有事の際の対応について(台風、危険動物)				事前に講義資料を配布するので予習を行う(2時間) 処置方法などを復習しておく(2時間)			
	15	有事の際の対応について(応急手当の方法、AED実習)				事前に講義資料を配布するので予習を行う(2時間) 処置方法などを復習しておく(2時間)			
16	定期試験(試験時間は60分)								

科目コード	科目名	実務経験のある教員による授業	地域志向	単位	担当者	関連資格			
						生活	療法	樹木	フラワー
35 S K 22 EN	花卉園芸学			2	宮原佳代	○			◎
学習成果	学習成果 5) 応用的専門知識 学習成果 3) 基礎的専門知識 学習成果 10) 表現力								
授業の概要	鉢物、観葉植物、ラン、切り花の主なものについてその来歴、栽培方法とその利用について学ぶ。								
授業の形式	講義(アクティブラーニングを含む)								
到達目標と対応する学習成果	① 花卉の来歴、栽培方法について説明することができる					学習成果 3) 基礎的専門知識			
	② 花卉の利用について説明することができる					学習成果 5) 応用的専門知識			
	③ 季節ごとの花の利用について、表現することができる					学習成果 10) 表現力			
	④								
	⑤								
	⑥								
履修上の注意点/試験やレポート等に対するフィードバックの方法	季節ごとの園芸店、花店について日ごろから興味を持ち、花に関心を持つこと フィードバックは毎回その場で行う予定。								
評価の方法と基準	学習成果番号1 40点 学習成果番号2 30点 学習成果番号3 30点								
教科書	朝倉書店 実教出版 草花								
参考書	・ 見てわかる農学シリーズ2 園芸学入門								
	・								
	・								
	・								
授業計画	回	授業内容			アクティブ ラーニング	授業以外の学習(予習・復習などの具体的内容及びそれに必要な時間)			
	1	観葉植物の基本(温度、日照、夏越し、冬越し)				毎日身の回りや園芸店などで季節の花を観察し(予習1時間)名前、開花の状態などを予習し、各回のテーマについて30分以上復習する			
	2	植物の学名について				毎日身の回りや園芸店などで季節の花を観察し(予習1時間)名前、開花の状態などを予習し、各回のテーマについて30分以上復習する			
	3	植物の色彩について				毎日身の回りや園芸店などで季節の花を観察し(予習1時間)名前、開花の状態などを予習し、各回のテーマについて30分以上復習する			
	4	ランについて				毎日身の回りや園芸店などで季節の花を観察し(予習1時間)名前、開花の状態などを予習し、各回のテーマについて30分以上復習する			
	5	シクラメンについて				毎日身の回りや園芸店などで季節の花を観察し(予習1時間)名前、開花の状態などを予習し、各回のテーマについて30分以上復習する			
	6	ペゴニアについて				毎日身の回りや園芸店などで季節の花を観察し(予習1時間)名前、開花の状態などを予習し、各回のテーマについて30分以上復習する			
	7	ポインセチアについて				毎日身の回りや園芸店などで季節の花を観察し(予習1時間)名前、開花の状態などを予習し、各回のテーマについて30分以上復習する			
	8	ハイドランジアについて				毎日身の回りや園芸店などで季節の花を観察し(予習1時間)名前、開花の状態などを予習し、各回のテーマについて30分以上復習する			
	9	キクについて				毎日身の回りや園芸店などで季節の花を観察し(予習1時間)名前、開花の状態などを予習し、各回のテーマについて30分以上復習する			
	10	バラについて				毎日身の回りや園芸店などで季節の花を観察し(予習1時間)名前、開花の状態などを予習し、各回のテーマについて30分以上復習する			
	11	プリムラについて				毎日身の回りや園芸店などで季節の花を観察し(予習1時間)名前、開花の状態などを予習し、各回のテーマについて30分以上復習する			
	12	切り花の切り前と品質保持について				毎日身の回りや園芸店などで季節の花を観察し(予習1時間)名前、開花の状態などを予習し、各回のテーマについて30分以上復習する			
	13	花の利用について				毎日身の回りや園芸店などで季節の花を観察し(予習1時間)名前、開花の状態などを予習し、各回のテーマについて30分以上復習する			
	14	花の流通について				毎日身の回りや園芸店などで季節の花を観察し(予習1時間)名前、開花の状態などを予習し、各回のテーマについて30分以上復習する			
	15	花店・園芸店について			○	毎日身の回りや園芸店などで季節の花を観察し(予習1時間)名前、開花の状態などを予習し、各回のテーマについて30分以上復習する			
16	定期試験								

科目コード	科目名	実務経験のある教員による授業	地域志向	単位	担当者	関連資格			
						生活	療法	樹木	フラワー
36 S K 21 EN	花卉装飾学			2	宮原佳代				◎
学習成果	学習成果 5)応用的専門知識								
	学習成果 3)基礎的専門知識								
	学習成果 10)表現力								
授業の概要	花卉装飾は、花卉園芸学の一つの分野で、花卉の利用に関する学問である。								
授業の形式	講義 実技								
到達目標と対応する学習成果	① 切り花の生理について説明することができる						学習成果 3)基礎的専門知識		
	② フラワーデザインの用語・道具について説明することができる						学習成果 3)基礎的専門知識		
	③ フラワーデザインの色彩について説明することができる						学習成果 5)応用的専門知識		
	④ フラワーデザインについて理解し、実際にデザインすることができる						学習成果 10)表現力		
	⑤								
	⑥								
履修上の注意点/試験やレポート等に対するフィードバックの方法	日ごろから花、フラワーデザイン、色彩などに興味を持って、雑誌や花店などでその実際を見ながら生活すること。フィードバックは毎回行う予定である。								
評価の方法と基準	定期試験等で評価する。評価は学習成果3)40点、学習成果5)40 学習成果10)20点とする								
教科書	お花屋さんの仕事基本のき 誠文堂新光社								
参考書	・ 見てわかる農学シリーズ2 園芸学入門								
	・ 草花 実教出版								
	・								
	・								
授業計画	回	授業内容			アクティブ ラーニング	授業以外の学習(予習・復習などの具体的内容及びそれに必要な時間)			
	1	花卉装飾とは①				毎日身の回りや園芸店などで季節の花を観察し(予習1時間)名前、開花の状態などを予習し、各回のテーマについて30分以上復習する			
	2	花卉装飾とは②				毎日身の回りや園芸店などで季節の花を観察し(予習1時間)名前、開花の状態などを予習し、各回のテーマについて30分以上復習する			
	3	切り花の生理				毎日身の回りや園芸店などで季節の花を観察し(予習1時間)名前、開花の状態などを予習し、各回のテーマについて30分以上復習する			
	4	切り花の貯蔵、輸送				毎日身の回りや園芸店などで季節の花を観察し(予習1時間)名前、開花の状態などを予習し、各回のテーマについて30分以上復習する			
	5	切花の分類①				毎日身の回りや園芸店などで季節の花を観察し(予習1時間)名前、開花の状態などを予習し、各回のテーマについて30分以上復習する			
	6	切り花の分類②				毎日身の回りや園芸店などで季節の花を観察し(予習1時間)名前、開花の状態などを予習し、各回のテーマについて30分以上復習する			
	7	切り花の水揚げ				毎日身の回りや園芸店などで季節の花を観察し(予習1時間)名前、開花の状態などを予習し、各回のテーマについて30分以上復習する			
	8	花卉装飾の用語と道具①				毎日身の回りや園芸店などで季節の花を観察し(予習1時間)名前、開花の状態などを予習し、各回のテーマについて30分以上復習する			
	9	花卉装飾の用語と道具②				毎日身の回りや園芸店などで季節の花を観察し(予習1時間)名前、開花の状態などを予習し、各回のテーマについて30分以上復習する			
	10	花卉装飾の用語と道具③				毎日身の回りや園芸店などで季節の花を観察し(予習1時間)名前、開花の状態などを予習し、各回のテーマについて30分以上復習する			
	11	花卉装飾と色彩①				毎日身の回りや園芸店などで季節の花を観察し(予習1時間)名前、開花の状態などを予習し、各回のテーマについて30分以上復習する			
	12	花卉装飾と色彩②			○	毎日身の回りや園芸店などで季節の花を観察し(予習1時間)名前、開花の状態などを予習し、各回のテーマについて30分以上復習する			
	13	切り花のワイヤー処理				毎日身の回りや園芸店などで季節の花を観察し(予習1時間)名前、開花の状態などを予習し、各回のテーマについて30分以上復習する			
	14	切り花のテーピング				毎日身の回りや園芸店などで季節の花を観察し(予習1時間)名前、開花の状態などを予習し、各回のテーマについて30分以上復習する			
	15	まとめ				毎日身の回りや園芸店などで季節の花を観察し(予習1時間)名前、開花の状態などを予習し、各回のテーマについて30分以上復習する			
16	定期試験								

科目コード	科目名	実務経験のある教員による授業	地域志向	単位	担当者	関連資格			
						生活	療法	樹木	フライフ
37 S K 12 EN	野菜園芸学	○		2	橋本裕輝〈実〉	○			
学習成果	学習成果 5)応用的専門知識								
	学習成果 3)基礎的専門知識								
授業の概要	わが国における野菜園芸の展開、野菜に関する基礎的な知識、果菜類、葉菜類、根菜類の栽培技術について講義する。野菜の効能、おいしい見分け方なども学び、食への関心を高めていく。(教科書第2章 2野菜の栽培環境と生育調節、3人工環境における栽培技術の項目は省きます。施設園芸学を受講してください)								
授業の形式	講義、パワーポイント								
到達目標と対応する学習成果	① 野菜栽培の基礎的用語について説明できる					学習成果 3)基礎的専門知識			
	② 野菜の栽培方法を説明できる					学習成果 5)応用的専門知識			
	③ 野菜の作型の特徴、生理的特徴等を説明できる					学習成果 5)応用的専門知識			
	④ 野菜の効能等を説明できる					学習成果 5)応用的専門知識			
	⑤								
	⑥								
履修上の注意点/試験やレポート等に対するフィードバックの方法	ノートを準備しておくこと。講義のはじめにコメント用紙を配布するので、受講後、感想、質問を記入し、必ず提出すること。提出により出席とします。コメントに書かれた感想、質問に対しては次回の講義でフィードバックします。また、定期試験の解答および配点は開示する。試験終了後1週間以内に申し出ること。長期休業期間中に、家庭で野菜を使用した料理を作り、パワーポイントとワードにまとめてもらいます。S								
評価の方法と基準	学習成果3)基礎的専門知識 20点(到達目標①定期試験20点) 学習成果5)応用的専門知識 80点(到達目標②④アクティブラーニング各15点、到達目標③定期試験50点) *アクティブラーニングは2回行い、それぞれ15点満点で評価する。 *アクティブラーニングでの様式・提出期限等が守られていない場合は減点の対象とする。								
教科書	野菜 篠原温ら著 実教出版								
参考書	・新野菜づくりの実際 川城英夫編 農文協								
	・野菜の上手な育て方大辞典 北条雅章監修 成美堂出版								
	・食材の基本がわかる図解辞典 五明紀春監修 成美堂出版								
	・								
授業計画	回	授業内容			アクティブラーニング	授業以外の学習(予習・復習などの具体的内容及びそれに必要な時間)			
	1	野菜生産の役割と動向、野菜の栽培方法について			○	第1回の講義の内容をまとめ、復習すること(2時間)			
	2	野菜の生育と生理―野菜の生育、種子と発芽、茎と葉の成長ほか―			○	第2回の授業内容の箇所を教科書を読んで予習すること(2時間) 第2回の講義の内容をまとめ、復習すること(2時間)			
	3	野菜の生育と生理―根の発達と肥大、葉菜類の花芽形成と抽だいほか―			○	第3回の授業内容の箇所を教科書を読んで予習すること(2時間) 第3回の講義の内容をまとめ、復習すること(2時間)			
	4	育苗の目的と方法、実際と応用、			○	第4回の授業内容の箇所を教科書を読んで予習すること(2時間) 第4回の講義の内容をまとめ、復習すること(2時間)			
	5	栽培技術の基本(作型・育苗・栽培管理)			○	第5回の授業内容の箇所を教科書を読んで予習すること(2時間) 第5回の講義の内容をまとめ、復習すること(2時間)			
	6	栽培体系:ナス科野菜について			○	第6回の授業内容の箇所を教科書を読んで予習すること(2時間) 第6回の講義の内容をまとめ、復習すること(2時間)			
	7	栽培体系:ナス科野菜について			○	第7回の授業内容の箇所を読んで予習と栽培方法について調べる(2時間)。第7回の講義の内容をまとめ、復習すること(2時間)			
	8	栽培体系:ウリ科野菜について(アクティブラーニング発表を含む)			○	第8回の授業内容の箇所を教科書を読んで予習すること(2時間) 第8回の講義の内容をまとめ、復習すること(2時間)			
	9	栽培体系:ウリ科野菜について			○	第9回の授業内容の箇所を教科書を読んで予習すること(2時間) 第9回の講義の内容をまとめ、復習すること(2時間)			
	10	栽培体系:アブラナ科野菜について			○	第10回の授業内容の箇所を教科書を読んで予習すること(2時間) 第10回の講義の内容をまとめ、復習すること(2時間)			
	11	栽培体系:アブラナ科野菜について			○	第11回の授業内容の箇所を教科書を読んで予習すること(2時間) 第11回の講義の内容をまとめ、復習すること(2時間)			
	12	栽培体系:マメ科野菜について			○	第12回の授業内容の箇所を教科書を読んで予習すること(2時間) 第12回の講義の内容をまとめ、復習すること(2時間)			
	13	栽培体系:セリ科・バラ科他野菜について			○	第13回の授業内容の箇所を教科書を読んで予習すること(2時間) 第13回の講義の内容をまとめ、復習すること(2時間)			
	14	野菜の効能			○	家で調理を行ってもらう。野菜を必ず使用し、目的を意識した料理を作成する。レジメにまとめ、発表する。			
	15	野菜を使用した献立の発表。健康維持促進のための方法を考える				今までの授業内容の箇所を教科書を読んで予習すること(2時間)			
16	定期試験								

科目コード	科目名	実務経験のある教員による授業	地域志向	単位	担当者	関連資格			
						生活	療法	樹木	フライフ
38 S K 21 EN	果樹園芸学	○		2	清末義信〈実〉	○			
学習成果	学習成果 3)基礎的専門知識								
	学習成果 5)応用的専門知識								
授業の概要	果樹は、常緑と落葉果樹類に大きく分けられそれぞれの樹種における栽培技術の基礎的な知識や技能を学ぶ。さらに、西南暖地の温暖多雨条件下における気象災害防止による生産安定技術を学ぶとともに果樹の適地条件を踏まえた、銘柄産地の育成について学ぶ。								
授業の形式	講義・レポート発表(アクティブラーニングを含む)								
到達目標と対応する学習成果	① 果樹の基礎的専門知識を説明できる					学習成果 3)基礎的専門知識			
	② 果樹の種類(常緑・落葉)の応用的専門知識を説明できる					学習成果 5)応用的専門知識			
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
履修上の注意点/試験やレポート等に対するフィードバックの方法	果樹に関する重要な項目について、レポートにまとめ事例発表する。フィードバックについては、次回の講義で前回の内容をとりまとめ説明する。								
評価の方法と基準	レポート及び定期試験で評価する。学習成果3)基礎的専門知識 50点(到達目標①アクティブラーニング20点、定期試験30点) 学習成果5)応用的専門知識 50点(到達目標②アクティブラーニング30点、定期試験20点)								
教科書	果樹園芸学の基礎、農文協、伴野潔・山田 寿・平 智著、松井弘之著								
参考書	・ 果樹栽培の基礎、杉浦明著、農文協								
	・ 家庭で楽しむ果樹栽培、有賀達府・小林幹夫著、NHK出版								
	・ 果樹園芸大百科1～18 農文協(果樹専攻)								
	・								
授業計画	回	授業内容			アクティブラーニング	授業以外の学習(予習・復習などの具体的内容及びそれに必要な時間)			
	1	果樹園芸の起源と特徴				各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。講義内容を振り返り、要点をまとめて復習30分以上(ノート含む)取り組むこと。			
	2	果実の流通と経営			○	各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。講義内容を振り返り、要点をまとめて復習30分以上(ノート含む)取り組むこと。			
	3	果樹の種類と品種				各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。講義内容を振り返り、要点をまとめて復習30分以上(ノート含む)取り組むこと。			
	4	果樹の育種			○	各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。講義内容を振り返り、要点をまとめて復習30分以上(ノート含む)取り組むこと。			
	5	果樹栽培の適地と開園				各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。講義内容を振り返り、要点をまとめて復習30分以上(ノート含む)取り組むこと。			
	6	果樹の成長と生産力				各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。講義内容を振り返り、要点をまとめて復習30分以上(ノート含む)取り組むこと。			
	7	果樹の成長と植物成長調節剤(植物ホルモン)			○	各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。講義内容を振り返り、要点をまとめて復習30分以上(ノート含む)取り組むこと。			
	8	果樹の成長と花芽の分化、開花・結実				各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。講義内容を振り返り、要点をまとめて復習30分以上(ノート含む)取り組むこと。			
	9	果実の発育と成熟、収穫後の果実の取り扱い				各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。講義内容を振り返り、要点をまとめて復習30分以上(ノート含む)取り組むこと。			
	10	果樹の施肥と土壌管理				各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。講義内容を振り返り、要点をまとめて復習30分以上(ノート含む)取り組むこと。			
	11	果樹の生理障害と自然災害			○	各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。講義内容を振り返り、要点をまとめて復習30分以上(ノート含む)取り組むこと。			
	12	果樹の病害虫防除				各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。講義内容を振り返り、要点をまとめて復習30分以上(ノート含む)取り組むこと。			
	13	常緑果樹の整枝・剪定の理論				各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。講義内容を振り返り、要点をまとめて復習30分以上(ノート含む)取り組むこと。			
	14	落葉果樹の整枝・剪定の理論				各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。講義内容を振り返り、要点をまとめて復習30分以上(ノート含む)取り組むこと。			
	15	果樹類の繁殖方法			○	各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。講義内容を振り返り、要点をまとめて復習30分以上(ノート含む)取り組むこと。			
16	定期試験								

科目コード	科目名	実務経験のある教員による授業	地域志向	単位	担当者	関連資格			
						生活	療法	樹木	フラスコ
39 S K 12 AL	農林業機械学			2	小野宣幸				
学習成果	学習成果 3) 基礎的専門知識								
授業の概要	農林業機械の種類は多いため、代表的な農業機械の使用目的と原理、特徴などを解説する。あわせて整備や安全の問題にも言及する。								
授業の形式	講義								
到達目標と対応する学習成果	① 農林業機械の原理と仕組みを理解し、自分の考えを表現できる 学習成果 3) 基礎的専門知識 ② 農林業機械の維持管理に関する知識を有し、自分の考えを表現できる 学習成果 3) 基礎的専門知識 ③ 農林業機械の安全管理に関する知識を有し、自分の考えを表現できる 学習成果 3) 基礎的専門知識 ④ これからの農林業の機械化について基礎的知識を有し、自分の考えを表現できる 学習成果 3) 基礎的専門知識 ⑤ ⑥								
履修上の注意点/試験やレポート等に対するフィードバックの方法	これから農業を行う上で、機械化は不可避である。この講義で学んだ内容は、実験実習等で実機を用い体験することで深く理解することができる。また、講義毎に前回講義の振り返り時間を設ける。各自、要点をまとめておくこと。								
評価の方法と基準	定期試験、提出課題で評価する。 学習成果3) 基礎的専門知識100点 (到達目標①～④各25点。①～③定期試験100%、④提出課題100%)								
教科書	米川智司ら 新農業機械 実教出版								
参考書	・井上公基ら 森林経営 実教出版 ・ ・ ・								
授業計画	回	授業内容			授業以外の学習(予習・復習などの具体的内容及びそれに必要な時間)				
	1	農林業機械の発達 我が国の農林業の特殊性そして機械化について学ぶ			○ 1回目の授業で学習した内容(農林業機械の発達)を復習する(1時間以上)。2回目の授業予定の内容(内燃機関(ガソリンエンジン)・電動機)を教科書にて予習する(1時間以上)。				
	2	内燃機関 内燃機関(ガソリンエンジン)・電動機のおしきについて学ぶ			○ 2回目の授業で学習した内容(内燃機関(ガソリンエンジン)・電動機)を復習する(1時間以上)。3回目の授業予定の内容(内燃機関(ディーゼルエンジン))を教科書にて予習する(1時間以上)。				
	3	内燃機関 内燃機関(ディーゼルエンジン)のおしきについて学ぶ			○ 3回目の授業で学習した内容(内燃機関(ディーゼルエンジン))を復習する(1時間以上)。4回目の授業予定の内容(機械の構成要素)を教科書にて予習する(1時間以上)。				
	4	機械の構成要素 機械の構成要素と機械の整備について学ぶ			○ 4回目の授業で学習した内容(機械の構成要素)を復習する(1時間以上)。5回目の授業予定の内容(乗用トラクタ)を教科書にて予習する(1時間以上)。				
	5	乗用トラクタ 原動機、伝達装置、走行装置、作業機の装着について学ぶ			○ 5回目の授業で学習した内容(乗用トラクタ)を復習する(1時間以上)。6回目の授業予定の内容(耕耘整地作業機)を教科書にて予習する(1時間以上)。				
	6	作業機の種類 耕耘整地作業機について学ぶ			○ 6回目の授業で学習した内容(耕耘整地作業機)を復習する(1時間以上)。7回目の授業予定の内容(育成管理作業機)を教科書にて予習する(1時間以上)。				
	7	管理作業機 育成管理作業機について学ぶ			○ 7回目の授業で学習した内容(育成管理作業機)を復習する(1時間以上)。8回目の授業予定の内容(収穫作業機)を教科書にて予習する(1時間以上)。				
	8	収穫作業機 収穫作業機について学ぶ			○ 8回目の授業で学習した内容(収穫作業機)を復習する(1時間以上)。9回目の授業予定の内容(飼料作物用収穫作業機)を教科書にて予習する(1時間以上)。				
	9	牧草収穫作業機 飼料作物用収穫作業機について学ぶ			○ 9回目の授業で学習した内容(飼料作物用収穫作業機)を復習する(1時間以上)。10回目の授業予定の内容(イネ専用作業機)を教科書にて予習する(1時間以上)。				
	10	イネ専用作業機 自脱コンバイン、田植機について学ぶ			○ 10回目の授業で学習した内容(イネ専用作業機)を復習する(1時間以上)。11回目の授業予定の内容(調整用機械)を教科書にて予習する(1時間以上)。				
	11	調整用機械 ライスセクタ、畑作用機械施設について学ぶ			○ 11回目の授業で学習した内容(調整用機械)を復習する(1時間以上)。12回目の授業予定の内容(林業作業機)を教科書にて予習する(1時間以上)。				
	12	林業作業機について学ぶ			○ 12回目の授業で学習した内容(林業作業機)を復習する(1時間以上)。13回目の授業予定の内容(安全対策)を教科書にて予習する(1時間以上)。				
	13	安全対策 安全対策と機械化計画について学ぶ			○ 13回目の授業で学習した内容(安全対策)を復習する(1時間以上)。14回目の授業予定の内容(機械化の将来)を教科書にて予習する(1時間以上)。				
	14	機械化の将来 最新機械の現状			○ 14回目の授業で学習した内容(機械化の将来)を復習する(1時間以上)。15回目の授業予定の内容はこれまで学習した内容と各自の発意に基づき取り進む内容なので、14回目までに学習した内容をまとめておく(1時間以上)。				
	15	あったらいいな♪を形にしてみよう！意見の発表			○ 15回目の授業で発表した内容や他の受講生の発表を復習・まとめておく(1時間以上)。定期試験に向けて、今まで学習した内容もまとめておく(1時間以上)。				
16	定期試験								

科目コード	科目名	実務経験のある教員による授業	地域志向	単位	担当者	関連資格			
						生活	療法	樹木	フライフ
40 S K 12 NO/EN	アグリビジネス論	○	企業力	2	勝本英樹〈実〉				
学習成果	学習成果 5)応用的専門知識								
授業の概要	アグリビジネスの実態面を重視し、事例紹介を多くして参加型(双方向)の授業をする。								
授業の形式	講義								
到達目標と対応する学習成果	① アグリビジネスの総体を理解している					学習成果 5)応用的専門知識			
	② 農業や農業経営の発展方策を考える能力を身につけている					学習成果 5)応用的専門知識			
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
履修上の注意点/試験やレポート等に対するフィードバックの方法	授業終了後、ミニレポート問題を配布するので、次回授業までに必ず提出すること。記述内容を評価した上で点数化する。毎回授業に関する質問は、クラスルームを利用したメールで行うこと。重要と思われる質問については授業で取り上げ、解説する。								
評価の方法と基準	ミニレポート課題提出状況、定期試験で評価する。 学習成果3) 応用的専門知識 到達目標①50点、到達目標②50点 (ミニレポート50%、定期試験50%)								
教科書	講義形式とプロジェクターを利用したパワーポイントを活用 授業資料として、プリントを配布する								
参考書	・アグリビジネスと現代社会 冬木勝仁 他 筑摩書房 ・ ・ ・								
授業計画	回	授業内容			アクティブ ラーニング	授業以外の学習(予習・復習などの具体的内容及びそれに必要な時間)			
	1	I インTRODクション 1 世界のフード・サプライチェーン、拡大するアグリビジネス				授業の要点を整理し(30分復習)、次回の授業に備えること(30分予習)。			
	2	I インTRODクション 2 農業ビジネスの多様性、アグリビジネスのフィールド、他				授業の要点を整理し(30分復習)、次回の授業に備えること(30分予習)。			
	3	II データでみるアグリビジネス 1 農業・農村への人の流れ、農業ビジネスの大規模化・企業化				授業の要点を整理し(30分復習)、次回の授業に備えること(30分予習)。			
	4	II データでみるアグリビジネス 2 農業は儲からないのだからか、6次産業化と農商工連携				授業の要点を整理し(30分復習)、次回の授業に備えること(30分予習)。			
	5	II データでみるアグリビジネス 3 異業種企業の農業への参入、フードビジネスの伸長とグローバル展開				授業の要点を整理し(30分復習)、次回の授業に備えること(30分予習)。			
	6	II データでみるアグリビジネス 4 農村ツーリズム、市場外流通の進展				授業の要点を整理し(30分復習)、次回の授業に備えること(30分予習)。			
	7	II データでみるアグリビジネス 5 「オーガニック3.0」に向けた取り組み				授業の要点を整理し(30分復習)、次回の授業に備えること(30分予習)。			
	8	III 価値創造・マーケティング 1 食品の付加価値、農産物のマーケティング				授業の要点を整理し(30分復習)、次回の授業までにレポートを提出すること(30分予習)。			
	9	III 価値創造・マーケティング 2 産地が取り組むマーケティング、多様化する消費者ニーズへの対応				授業の要点を整理し(30分復習)、次回の授業に備えること(30分予習)。			
	10	IV アグリビジネスにおける情報技術の活用 1 なぜ、いまスマート農業なのか、リモートセンシングの利用				授業の要点を整理し(30分復習)、次回の授業に備えること(30分予習)。			
	11	IV アグリビジネスにおける情報技術の活用 2 施設園芸とスマート農業				授業の要点を整理し(30分復習)、次回の授業に備えること(30分予習)。			
	12	V アグリビジネスの課題 1 マーケットの変化へどう対応、人材確保の展望				授業の要点を整理し(30分復習)、次回の授業に備えること(30分予習)。			
	13	V アグリビジネスの課題 2 地球環境間への対応、食料安全保障に果たす役割とは				授業の要点を整理し(30分復習)、次回の授業に備えること(30分予習)。			
	14	国内の巨大アグリビジネスの事例 - コメビジネス について 1 -			○	授業の要点を整理し(30分復習)、次回の授業までにレポートを提出すること(30分予習)。			
	15	国内の巨大アグリビジネスの事例 - コメビジネス について 2 -			○	授業の要点を整理し(30分復習)、次回の定期試験に備えること(30分予習)。			
16	定期試験								

科目コード	科目名	実務経験のある教員による授業	地域志向	単位	担当者	関連資格			
						生活	療法	樹木	フライフ
41 S K 22 AL	農業経営経済論	○		2	勝本英樹〈実〉				
学習成果	学習成果 5)応用的専門知識								
授業の概要	農業経営とは、農業を主軸としながら経営者として事業を展開するビジネスの在り方である。農業経営は通常の会社経営では得られない、多くの魅力をもっている。農業経営を行う場合、経営者としての判断やスキルが問われる。そのためには農業の収益化が不可欠である。そのために必要な農業経営をとりまく環境や諸条件について理解する。								
授業の形式	講義形式とプロジェクターを利用したパワーポイントを活用 授業資料として、プリントを配布する								
到達目標と対応する学習成果	① 日本の農業の立ち位置をグローバルな視点を理解している					学習成果 5)応用的専門知識			
	② 農産物の価格決定の仕組みを理解している					学習成果 5)応用的専門知識			
	③ 農産物等流通の仕組みを理解している					学習成果 5)応用的専門知識			
	④ 農業経営の目標の立て方を理解している					学習成果 5)応用的専門知識			
	⑤ 農業経営のを定化させるための制度等を理解している					学習成果 5)応用的専門知識			
	⑥								
履修上の注意点／試験やレポート等に対するフィードバックの方法	授業終了後、ミニレポート課題を配布するので、次回授業までに必ず提出すること。記述内容を評価した上で点数化する。毎回授業に関する質問は、クラスルームを利用したメールで行うこと。重要と思われる質問については授業で取り上げ解説する。								
評価の方法と基準	ミニレポート課題提出状況、定期試験で評価する。 学習成果3) 応用的専門知識 到達目標①～⑤各20点で合計100点(レポート50%、定期試験50%)								
教科書	農業経営 実教出版								
参考書	・ ・ ・								
授業計画	回	授業内容			アクティブラーニング	授業以外の学習(予習・復習などの具体的内容及びそれに必要な時間)			
	1	日本と世界の農業 世界の農業、日本の農業				授業の要点を整理し(30分復習)、次回の授業に備えること(30分復習)。			
	2	農業経営の動向 様々な農業経営、今日の農業経営				授業の要点を整理し(30分復習)、次回の授業に備えること(30分復習)。			
	3	食料消費の動向と社会経済環境 消費者ニーズに沿った農業、食料の需給と貿易				授業の要点を整理し(30分復習)、次回の授業に備えること(30分復習)。			
	4	食料・農業・農村政策と関係法規 食料・農業・農村政策について、グローバル化に対応する農政				授業の要点を整理し(30分復習)、次回の授業に備えること(30分復習)。			
	5	農業のマネジメント ① マネージメントの考え方、農業の目標				授業の要点を整理し(30分復習)、次回の授業に備えること。			
	6	農業のマネジメント ② 農業の経営戦略、経営者能力			○	授業の要点を整理し(30分復習)、次回の授業までにレポートを提出すること。			
	7	農業のマネジメント ③ 農業経営の情報活用				授業の要点を整理し(30分復習)、次回の授業に備えること。			
	8	生産のマネジメント 単一経営と多角経営、集約化と規模拡大				授業の要点を整理し(30分復習)、次回の授業に備えること。			
	9	組織のマネジメント ① 農業経営の集团的取り組み、農業法人経営				授業の要点を整理し(30分復習)、次回の授業に備えること。			
	10	組織のマネジメント ② 雇用労働力の活用				授業の要点を整理し(30分復習)、次回の授業に備えること。			
	11	組織のマネジメント ③ 農業協同組合			○	授業の要点を整理し(30分復習)、次回の授業までにレポートを提出すること。			
	12	会計によるマネジメント ① 会計と簿記、貸借対照表、損益計算書				授業の要点を整理し(30分復習)、次回の授業に備えること。			
	13	会計によるマネジメント ② 損益分岐、経営分析				授業の要点を整理し(30分復習)、次回の授業に備えること。			
	14	リスクのマネジメント ① 農業経営がかかえるリスク				授業の要点を整理し(30分復習)、次回の授業までにレポートを提出すること。			
	15	リスクのマネジメント ② リスク・マネジメントの方法				授業の要点を整理し(30分復習)、次回の授業に備えること。			
16	定期試験								

科目コード	科目名	実務経験のある教員による授業	地域志向	単位	担当者	関連資格			
						生活	療法	樹木	フライフ
42 S K 21 AL	環境保全型農業論	○		2	勝本英樹〈実〉				
学習成果	学習成果 5)応用的専門知識								
授業の概要	環境保全型農業とは「農業の持つ物質循環機能を生かし、生産性と調和などに留意しつつ、土づくり等を通じて化学肥料、農業の使用等による環境負荷の軽減に配慮した持続的な農業」である。農業生産は時代が進むにつれて化学肥料や化学合成農薬などを使うことで効率的に行えるようになったが、同時に土地や生態系に大きな負担を課して来た。現在はそのような農業は見直され、環境に配慮された取組が積極的に行われている。身近な暮らしと農業・農業のかかわりを知ることから、グローバルな視点から環境保全の重要性を理解する。								
授業の形式	講義形式とプロジェクターを利用したパワーポイントを活用 授業資料として、プリントを配布する								
到達目標と対応する学習成果	① 環境保全型農業の今日の意味を理解している					学習成果 5)応用的専門知識			
	② 環境の変化を知る方法を会得している					学習成果 5)応用的専門知識			
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
履修上の注意点/試験やレポート等に対するフィードバックの方法	授業終了後、ミニレポート課題を配布するので、次回授業までに必ず提出すること。記述内容を評価した上で点数化する。毎回授業に関する質問は、クラスルームを利用したメールで行うこと。重要と思われる質問については授業で取り上げ解説する。								
評価の方法と基準	ミニレポート課題提出状況、定期試験で評価する。 学習成果3) 応用的専門知識 到達目標①50点、②50点 (レポート50%、定期試験50%)								
教科書	環境と農業(農学基礎セミナー 農文協)								
参考書	・ ・ ・ ・								
授業計画	回	授業内容			アクティブラーニング	授業以外の学習(予習・復習などの具体的内容及びそれに必要な時間)			
	1	私たちの暮らしと環境 1 私たちの暮らしと環境・農業				授業の要点を整理し(30分復習)、次回の授業に備えること(30分予習)。			
	2	私たちの暮らしと環境 2 地域の環境といろいろな生態系				授業の要点を整理し(30分復習)、次回の授業に備えること(30分予習)。			
	3	地域環境の調査と発見 1 生きものをとおして知る地域環境の特徴				授業の要点を整理し(30分復習)、次回の授業に備えること(30分予習)。			
	4	地域環境の調査と発見 2 環境調査の実際				授業の要点を整理し(30分復習)、次回の授業に備えること(30分予習)。			
	5	地域環境の調査と発見 3 地域の自然環境の調査				授業の要点を整理し(30分復習)、次回の授業に備えること(30分予習)。			
	6	地域環境の調査と発見 4 水(水質)の調査				授業の要点を整理し(30分復習)、次回の授業に備えること(30分予習)。			
	7	地域環境の調査と発見 5 土壌の調査			○	授業の要点を整理し(30分復習)、次回の授業に備えること(30分予習)。			
	8	地域環境の調査と発見 6 大気・騒音の調査				授業の要点を整理し(30分復習)、次回の授業までにレポートを提出すること(30分予習)。			
	9	農業の営みと環境 1 作物の成長と一生				授業の要点を整理し(30分復習)、次回の授業に備えること(30分予習)。			
	10	農業の営みと環境 2 農業生産と環境				授業の要点を整理し(30分復習)、次回の授業に備えること(30分予習)。			
	11	農業の営みと環境 3 栽培環境と作物生産				授業の要点を整理し(30分復習)、次回の授業に備えること(30分予習)。			
	12	環境問題と人間生活 1 地球規模の環境問題				授業の要点を整理し(30分復習)、次回の授業に備えること(30分予習)。			
	13	環境問題と人間生活 2 環境の保全・創造に向けて				授業の要点を整理し(30分復習)、次回の授業に備えること(30分予習)。			
	14	環境問題と人間生活 3 自然と環境			○	授業の要点を整理し(30分復習)、次回の授業までにレポートを提出すること(30分予習)。			
	15	国策としての環境保全型農業 -みどりの食料システム戦略とは-				今回の授業の要点を整理し(30分復習)、次回の定期試験に備えること(30分予習)。			
16	定期試験								

科目コード	科目名	実務経験のある教員による授業	地域志向	単位	担当者	関連資格			
						生活	療法	樹木	フライフ
43 S K 11 NO	畜産学	○	地域力	2	小野直幸〈実〉				
学習成果	学習成果 5)応用的専門知識								
授業の概要	現在の食生活に身近な畜産物の生産システムなどは、畜産技術の発展が大いに貢献している。この畜産技術発展の基が畜産学であり、受講生はこの畜産学の応用的専門知識(大分県の実情も含め)を理解してほしい。また、近年では公務員試験に畜産一般と題して数問が出題されている。その対策にも役立つのではないかとと思う。								
授業の形式	講義								
到達目標と対応する学習成果	① 我が国・大分県における畜産農業の位置づけを理解し、それを他人へ表現することができる。					学習成果 5)応用的専門知識			
	② 家畜の飼育環境、生理・生態を理解し、他人へ表現することができる。					学習成果 5)応用的専門知識			
	③ 飼料の生産と利用について理解し、他人へ表現することができる。					学習成果 5)応用的専門知識			
	④ ブタ、ニワトリ、ウシ等の家畜(大分県における飼育の現状も含め)について理解し、他人へ表現することができる。					学習成果 5)応用的専門知識			
	⑤								
	⑥								
履修上の注意点／試験やレポート等に対するフィードバックの方法	今後重要となる耕種農業との連携の意識を持ってほしいので、飼料作物学も併せて受講することが望ましい。また、毎回の講義で前回の講義の振り返りを行う時間を設けるので、受講生は各自で要点の整理を行うことが望ましい。Googleでのclassroomを用いた講義を行う場合もあるので、各自PC等を用意しておくこと。								
評価の方法と基準	定期試験で評価する。 学習成果5)応用的専門知識100点(到達目標①10点、到達目標②20点、到達目標③10点、到達目標④60点。それぞれ定期試験100%)								
教科書	適宜プリントを配付								
参考書	・畜産学 入江正和著 養賢堂(図書館に蔵書×)								
	・農学基礎セミナー家畜飼育の基礎 並河澄ら 農文協(図書館に蔵書○)								
	・畜産 阿部亮著 農文協(図書館に蔵書○)								
	・最新 畜産ハンドブック 扇元敬司ら 講談社(図書館に蔵書○)								
授業計画	回	授業内容			フリートレーニング	授業以外の学習(予習・復習などの具体的内容及びそれに必要な時間)			
	1	世界の畜産業及び我が国農業における畜産農業の位置づけ			○	1回目の授業で学習した内容(世界・国内における畜産業の位置付け)を復習する(1時間以上)。2回目の授業予定の内容(家畜の飼育環境、生理・生態①)を予習する(1時間以上)。			
	2	家畜の飼育環境、生理・生態①各畜種ごとの飼育環境			○	2回目の授業で学習した内容(家畜の飼育環境、生理・生態①)を復習する(1時間以上)。3回目の授業予定の内容(家畜の飼育環境、生理・生態②)を予習する(1時間以上)。			
	3	家畜の飼育環境、生理・生態②各畜種ごとの生理・生態、環境への適応			○	3回目の授業で学習した内容(家畜の飼育環境、生理・生態②)を復習する(1時間以上)。4回目の授業予定の内容(家畜の飼育環境、生理・生態③)を予習する(1時間以上)。			
	4	家畜の飼育環境、生理・生態③各畜種ごとの糞尿処理			○	4回目の授業で学習した内容(家畜の飼育環境、生理・生態③)を復習する(1時間以上)。5回目の授業予定の内容(飼料の生産と利用①)を予習する(1時間以上)。			
	5	飼料の生産と利用①飼料作物の種類・利用			○	5回目の授業で学習した内容(飼料の生産と利用①)を復習する(1時間以上)。6回目の授業予定の内容(飼料の生産と利用②)を予習する(1時間以上)。			
	6	飼料の生産と利用②飼料の調製、草地の管理			○	6回目の授業で学習した内容(飼料の生産と利用②)を復習する(1時間以上)。7回目の授業予定の内容(主要家畜ブタ①)を予習する(1時間以上)。			
	7	主要家畜について ブタ①品種と改良			○	7回目の授業で学習した内容(主要家畜ブタ①)を復習する(1時間以上)。8回目の授業予定の内容(主要家畜ブタ②)を予習する(1時間以上)。			
	8	主要家畜について ブタ②飼育技術			○	8回目の授業で学習した内容(主要家畜ブタ②)を復習する(1時間以上)。9回目の授業予定の内容(主要家畜ブタ③)を予習する(1時間以上)。			
	9	主要家畜について ブタ③産物の利用			○	9回目の授業で学習した内容(主要家畜ブタ③)を復習する(1時間以上)。10回目の授業予定の内容(主要家畜ニワトリ①)を予習する(1時間以上)。			
	10	主要家畜について ニワトリ①品種と改良			○	10回目の授業で学習した内容(主要家畜ニワトリ①)を復習する(1時間以上)。11回目の授業予定の内容(主要家畜ニワトリ②)を予習する(1時間以上)。			
	11	主要家畜について ニワトリ②飼育技術			○	11回目の授業で学習した内容(主要家畜ニワトリ②)を復習する(1時間以上)。12回目の授業予定の内容(主要家畜ニワトリ③)を予習する(1時間以上)。			
	12	主要家畜について ニワトリ③産物の利用			○	12回目の授業で学習した内容(主要家畜ニワトリ③)を復習する(1時間以上)。13回目の授業予定の内容(主要家畜ウシ①)を予習する(1時間以上)。			
	13	主要家畜について ウシ①品種と改良			○	13回目の授業で学習した内容(主要家畜ウシ①)を復習する(1時間以上)。14回目の授業予定の内容(主要家畜ウシ②)を予習する(1時間以上)。			
	14	主要家畜について ウシ②飼育技術			○	14回目の授業で学習した内容(主要家畜ウシ②)を復習する(1時間以上)。15回目の授業予定の内容(主要家畜ウシ③)を予習する(1時間以上)。			
	15	主要家畜について ウシ③産物の利用			○	15回目の授業で学習した内容(主要家畜ウシ③)を復習する(1時間以上)。定期試験に向けて、今まで学習した内容をまとめておく(1時間以上)。			
16	定期試験								

科目コード	科目名	実務経験のある教員による授業	地域志向	単位	担当者	関連資格			
						生活	療法	樹木	フラワ
44 S K 21 NO	飼料作物学	○	地域力	2	小野直幸〈実〉				
学習成果	学習成果 5)応用的専門知識								
授業の概要	畜産経営にとって重要な飼料作物の生産と利用、並びに主な飼料作物の栽培方法について大分県の実情も交えながら学ぶ。また、近年では公務員試験に畜産一般と題して数問が出題されている。その対策にも役立つのではないと思う。								
授業の形式	講義								
到達目標と対応する学習成果	① 家畜にとっての飼料の役割を理解し、相手に表現することができる。					学習成果 5)応用的専門知識			
	② 飼料作物の調製と貯蔵技術を理解し、相手に表現することができる。					学習成果 5)応用的専門知識			
	③ 飼料作物類の特徴と栽培方法を理解し、相手に表現することができる。					学習成果 5)応用的専門知識			
	④ 飼料作物栽培の今後の方向を理解し、相手に表現することができる。					学習成果 5)応用的専門知識			
	⑤								
	⑥								
履修上の注意点／試験やレポート等に対するフィードバックの方法	逐次プリントを配布するので、ファイルして授業に臨むこと。今後重要となる構畜連携について関心を持って欲しい観点から、畜産学も併せて受講することが望ましい。各講義で前回講義の復習を行う。受講生は講義ごとに要点をまとめておくことが望ましい。また、Googleでのclassroomを用いた講義を行う場合もあるので、各自PC等を用意しておくこと。								
評価の方法と基準	定期試験の結果によって評価する。以下は単位認定時における学習成果への点数(評価)配分。 学習成果5)応用的専門知識 100点(到達目標①20点、到達目標②40点、到達目標③20点、到達目標④20点 定期試験100%)								
教科書	山下太郎編著「目で見るとわかる飼料作物学のすべて」テイラーマン社								
参考書	・動物の飼料 唐澤豊編 文永堂出版(図書館に蔵書○)								
	・動物の飼料 第2版 唐澤豊編 文永堂(図書館に蔵書○)								
	・農学基礎シリーズ 作物学の基礎Ⅱ 資源作物・飼料作物 中村聡ら 農文協(図書館に蔵書○)								
	・飼料作物学 西村修一ら 文永堂(図書館に蔵書○)								
授業計画	回	授業内容			アクティブラーニング	授業以外の学習(予習・復習などの具体的内容及びそれに必要な時間)			
	1	飼料作物とは何か			○	1回目の授業で学習した内容(飼料作物とは何か)を復習する(1時間以上)。2回目の授業予定の内容(家畜と消化方法)を予習する(1時間以上)。			
	2	飼料を利用する家畜と飼料の消化法			○	2回目の授業で学習した内容(家畜と消化方法)を復習する(1時間以上)。3回目の授業予定の内容(飼料作物の栽培形式)を予習する(1時間以上)。			
	3	我が国における飼料作物の栽培形式について			○	3回目の授業で学習した内容(飼料作物の栽培形式)を復習する(1時間以上)。4回目の授業予定の内容(①トウモロコシ)を予習する(1時間以上)。			
	4	主な飼料作物の栽培 ①トウモロコシ			○	4回目の授業で学習した内容(①トウモロコシ)を復習する(1時間以上)。5回目の授業予定の内容(②ソルガム)を予習する(1時間以上)。			
	5	主な飼料作物の栽培 ②ソルガム			○	5回目の授業で学習した内容(②ソルガム)を復習する(1時間以上)。6回目の授業予定の内容(③イネ科暖地・寒地型牧草)を予習する(1時間以上)。			
	6	主な飼料作物の栽培 ③イネ科暖地型牧草、イネ科寒地型牧草			○	6回目の授業で学習した内容(③イネ科暖地・寒地型牧草)を復習する(1時間以上)。7回目の授業予定の内容(④マメ科牧草)を予習する(1時間以上)。			
	7	主な飼料作物の栽培 ④マメ科牧草			○	7回目の授業で学習した内容(④マメ科牧草)を復習する(1時間以上)。8回目の授業予定の内容(⑤イタリアンライグラス)を予習する(1時間以上)。			
	8	主な飼料作物の栽培 ⑤イタリアンライグラス			○	8回目の授業で学習した内容(⑤イタリアンライグラス)を復習する(1時間以上)。9回目の授業予定の内容(⑥雑穀類・根菜類・飼料用ムギ類)を予習する(1時間以上)。			
	9	主な飼料作物の栽培 ⑥雑穀類・根菜類・飼料用ムギ類			○	9回目の授業で学習した内容(⑥雑穀類・根菜類・飼料用ムギ類)を復習する(1時間以上)。10回目の授業予定の内容(⑦飼料用イネ)を予習する(1時間以上)。			
	10	主な飼料作物の栽培 ⑦飼料用イネ			○	10回目の授業で学習した内容(飼料用イネ)を復習する(1時間以上)。11回目の授業予定の内容(飼料の調製法)を予習する(1時間以上)。			
	11	飼料作物の調製法			○	11回目の授業で学習した内容(飼料の調製法)を復習する(1時間以上)。12回目の授業予定の内容(給与上の注意)を予習する(1時間以上)。			
	12	給与上の注意			○	12回目の授業で学習した内容(給与上の注意)を復習する(1時間以上)。13回目の授業予定の内容(飼料作物栽培から農業(園芸)について考える)を予習する(1時間以上)。			
	13	飼料作物栽培から農業(園芸)について考える			○	13回目の授業で学習した内容(飼料作物栽培から農業(園芸)について考える)を復習する(1時間以上)。14回目の授業予定はこれまで学習した内容を総合して取り組む内容なので、13回目までに学習した内容をまとめておく(1時間以上)。			
	14	飼料計画を立ててみよう①			○	14回目の授業で学習した内容(飼料計画①)を復習する(1時間以上)。10回目の授業予定の内容(飼料計画②)を予習する(1時間以上)。			
	15	飼料計画を立ててみよう②			○	15回目の授業で学習した内容(飼料計画②)を復習する(1時間以上)。定期試験に向けて、今まで学習した内容をまとめておく(1時間以上)。			
16	定期試験								

科目コード	科目名	実務経験のある教員による授業	地域志向	単位	担当者	関連資格			
						生活	療法	樹木	フライフ
45 S K 11 ZO/RI	樹木学			2	吉野賢一〈実〉			○	
学習成果	学習成果 5)応用的専門知識								
授業の概要	近年、地球温暖化による環境問題や課題が取り上げられている。このことは、森林及び樹木の生理、生態に大きな影響を与えつつある。樹木の特性及び機能に関する専門的基礎知識・技能を学ぶとともに、樹木の特質や分類、形態の知識を身に付け、緑豊かな空間づくりに資する。								
授業の形式	講義(資料及びパワーポイント)、樹木観察(フィールド)、街路樹診断、意見発表及び討論								
到達目標と対応する学習成果	① 樹木の名称、学名、成長過程、樹木の組織及び構造について説明できる。						学習成果 5)応用的専門知識		
	② 森林生態系、樹木の温暖化防止機能及び防災機能について説明できる。						学習成果 5)応用的専門知識		
	③ 樹木の観察方法、繁殖、整枝、剪定について説明できる。						学習成果 5)応用的専門知識		
	④ 樹木を中心にした生態系、病害虫の防除・診断について説明できる。						学習成果 5)応用的専門知識		
	⑤								
	⑥								
履修上の注意点/試験やレポート等に対するフィードバックの方法	樹木を扱うためには樹木が生物(植物)として持っている特質の基本的な知識が必要である。そのためには、普段から身の回りにある街路樹や花壇、庭園樹木、森林などの植物に興味と関心を持ち観察しておく必要がある。また、フィールド学習や授業内容及び観察結果をレポートにまとめて発表する。								
評価の方法と基準	学習成果 5)応用的専門知識 100点(到達目標①40点、②20点、③20点、④20点)								
教科書	講義資料(参考資料及びパワーポイント画像)、樹木観察(フィールド)資料、街路樹危険度診断資料								
参考書	・日本の樹木 林弥栄 山と溪谷社								
	・樹木学 ビータ・トマス著 熊崎彰司訳 築地書館								
	・最新・樹木医の手引き (財)日本緑化センター								
	・								
授業計画	回	授業内容			アクティブラーニング	授業以外の学習(予習・復習などの具体的内容及びそれに必要な時間)			
	1	樹木とは、樹木の名称、樹木医補認定、樹木医。				樹木の名称、分類・樹木医補認定・樹木医について予習・復習する(60分)。			
	2	樹木の成長過程、樹木の組織及び構造。				草本と異なる樹木の成長ステージを予習・復習する(30分)。			
	3	樹木の分類体系・学名、APG分類・組織の構造と機能。				樹木の分類・組織の構造と機能・学名、APG分類を予習・復習する。(30分)。			
	4	わが国の森林生態系、樹木の温暖化防止機能及び防災機能。				温暖化防止に果たす役割及び防災機能について予習・復習する(60分)。			
	5	構内樹木の観察。①				構内のアオギリ・クスノキの樹木特性を予習し、観察結果を復習する(60分)。			
	6	構内樹木の観察。②				構内のサクラの樹木特性を予習、観察結果を復習する(60分)。			
	7	樹木の観察結果を発表する。			○	樹木の観察結果をレポートにまとめて発表する(80分)。			
	8	樹木の巧みな繁殖戦略。			○	樹木の種子繁殖の戦略を予習・復習する(60分)、レポートにまとめて提出する。			
	9	樹木の整枝・剪定の基礎理論及び技能。				樹木の整枝・剪定の基礎理論及び技能(方法)について予習・復習する(60分)。			
	10	街路樹の危険度簡易診断(簡易)。				大分市内の街路樹の危険度簡易診断結果を復習(60分)し改善策をまとめる。			
	11	樹木の生態系。				樹木の生態系について予習・復習する(60分)。			
	12	樹木の病害虫の診断と防除・紅葉のメカニズム。				身近な樹木の病害虫の診断と防除方法について予習・復習する(60分)。			
	13	都市公園の機能と樹木観察、ワークショップとグループ討議。			○	都市公園の機能と樹木観察結果をレポートして提出する。ワークショップによるグループ討議。			
	14	地域資源(ヤブツバキ)を活かす(事例研究)。			○	佐賀関地域のヤブツバキを活かした活性化について事例研究(30分)及び意見発表会(30分)。			
	15	樹木資源を活かした地域振興(事例研究)。			○	竹田市のトウツバキを活かした地域振興について事例研究(30分)及び意見発表会(30分)。			
16	定期試験								

科目コード	科目名	実務経験のある教員による授業	地域志向	単位	担当者	関連資格			
						生活	療法	樹木	フラワ
46 S K 22 ZO/RI	樹木医学	○		2	吉野賢一〈実〉			○	
学習成果	学習成果 5)応用的専門知識								
授業の概要	近年地球温暖化による環境ストレス等により森林・樹木の衰退が懸念されている。地球温暖化や大気汚染・都市化による環境の悪化によって樹木の衰退や枯死が課題となっている。各地に残る貴重な巨樹・名木・古木の樹勢の回復・保全が求められている。そこで、樹木の特性及び構造や機能等の基礎的知識と応用的技能を身につけ、樹勢衰退要因の診断・分析・治療等の技能を修得し、健全な樹木の育成・保全に資する。								
授業の形式	講義、公園・街路樹等の樹木の観察会、レポートの発表による意見交換								
到達目標と対応する学習成果	① 樹木医の果たす役割を理解できる						学習成果 5)応用的専門知識		
	② 樹木の特性及び構造・生理・生態に関する専門的知識を理解できる						学習成果 5)応用的専門知識		
	③ 樹木の診断・治療・樹勢回復に関する専門的技術などを修得できる						学習成果 5)応用的専門知識		
	④								
	⑤								
	⑥								
履修上の注意点／試験やレポート等に対するフィードバックの方法	レポートをまとめ、プレゼンテーション、ワークショップや集団討論などによって他者へのフィードバックを行う。意見交換会やグループ討議によって多様な他者の意見を学ぶ。								
評価の方法と基準	学習成果5) 応用的専門知識 100点(到達目標①20点、②50点、③30点) レポート及び定期試験等で総合的に評価する。								
教科書	毎回講義資料、フィールドワーク用の資料、パワーポイントによる画像、実物教材、ワークショップの進め方。								
参考書	・最新・樹木医の手引き。(財)日本緑化センター								
	・樹木学。ピータ・トマス著。熊崎彰司訳。築地書館								
	・日本の樹木。林弥栄。山と溪谷社								
	・								
授業計画	回	授業内容			フクティブ ラーニング	授業以外の学習(予習・復習などの具体的内容及びそれに必要な時間)			
	1	樹木医の役割及び樹木医制度の歴史と意義、樹木医補認定について。				樹木医の役割及び樹木医制度・樹木医補の認定などについて予習・復習する(60分)、近い将来樹木医の資格取得を目指す。			
	2	樹木組織の構造と機能。				木本と草本及び広葉樹と針葉樹等の組織構造の違いと機能について予習・復習する(40分)。			
	3	市街地街路樹の簡易診断。			○	診断結果をレポートにまとめて提出する(60分)。			
	4	街路樹の機能と役割。			○	街路樹の機能と役割について集団討論を行う(80分)。			
	5	樹木の分類体系及び学名、APG分類体系を学ぶ				樹木の分類体系(APGを含む)及び学名標記に関する予習・復習をする(40分)。			
	6	樹木組織の構造と機能及び生理・生態。				樹木の葉、花、果実、幹、樹形、樹皮など外観的な観察を行うとともに樹木の複雑な内部構造や生理・生態機能を予習・復習をする(60分)。			
	7	針葉樹・広葉樹、落葉樹・常緑樹等樹木の特徴を学ぶ。				針葉樹・広葉樹、落葉樹・常緑樹等の樹木組織の違いや機能について予習・復習する(40分)。			
	8	樹林・樹木の植生分布と森林土壌の生態。落ち葉は大切な資源。				日本の樹木の植生分布、樹林土壌の構造、森林の階層構造等を予習・復習する(60分)。落ち葉の機能を見直す。			
	9	都市公園の多面的な機能及び樹木観察、紅葉のメカニズムを知る。				公園観察と共に植栽樹木の特性等の観察結果をレポートにまとめるとともに紅葉の実態について予習・復習する(40分)。			
	10	都市公園の機能と役割についてワークショップ及び集団討論を行う。			○	都市公園の散策に基づき、公園の機能及び役割についてワークショップを行うとともに集団討論する(80分)			
	11	防災林・樹木の防災機能を見直す。			○	樹木の防災事例を復習(40分)し、防災機能をレポートにまとめて提出する(60分)			
	12	身近な樹木の主要病害虫の診断と防除。				身近な樹木の主要病害虫の診断と防除について予習・復習し、防除技術に役立てる(60分)。			
	13	マツの材線虫病の診断と防除。			○	特に、マツの材線虫病の診断と防除対策を予習・復習し防除対策が出来る(60分)。レポートを提出する。			
	14	地域資源の実践活動事例に学ぶ。①(旧佐賀関町のヤブツバキ)				ヤブツバキと地域活性化について復習する(60分)			
	15	天然記念物の実践活動事例に学ぶ。②(竹田市片ヶ瀬のトウツバキ)				市・天然記念物のトウツバキの再生に関する実践活動事例を学び復習する(60分)。			
16	定期試験								

科目コード	科目名	実務経験のある教員による授業	地域志向	単位	担当者	関連資格			
						生活	療法	樹木	フラワ
47 S K 21 ZO	造園施工管理学			2	鍵和田又一				
学習成果	学習成果 5)応用的専門知識								
授業の概要	公共の造園・土木事業などの監督者や責任者にとって、最も要求される資質につながる学問であり、高度の造園土木施工技術論と施工管理論を学ぶ。造園に進む者にとって必須の科目である。造園業界の指導的立場を目指す者は、現場管理と責任を考えながらひとつひとつの造園的な施工管理論を理解し、修得できるようにする。								
授業の形式	講義								
到達目標と対応する学習成果	① 造園的な施工管理論を理解できる						学習成果 5)応用的専門知識		
	②								
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
履修上の注意点／試験やレポート等に対するフィードバックの方法	造園工事の管理責任者にとって、国家試験である「造園施工管理技術者」の資格を有しなければならない。管理責任者としての意識に基づいて学ぶことが大切である。								
評価の方法と基準	学習成果5 応用的専門分野 100点(内訳:定期試験80点、レポート20点)								
教科書	造園施工必携 社団法人日本造園組合連合会編								
参考書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・造園施工管理技術編 日本公園緑地協会編 第一法規出版</li> <li>・造園施工管理法規編 日本公園緑地協会編 第一法規出版</li> <li>・造園大辞典 上原敬二著 加島書店</li> </ul>								
授業計画	回	授業内容			アクティブ ラーニング	授業以外の学習(予習・復習などの具体的内容及びそれに必要な時間)			
	1	造園施工と管理(工程・品質・安全衛生)の概論				工程、品質などの要点を整理し、1時間予習し1時間復習する			
	2	工事監督責任(法的に見た現場代理人の責任と業務内容)				責任と業務内容などの要点を整理し、1時間予習し1時間復習する			
	3	施工計画の目的と日程計画の基礎				日程計画などの要点を整理し、1時間予習し1時間復習する			
	4	工程管理①工程表(バーチャート・ネットワークなど)と工事の進捗管理				工程表の要点を整理し、1時間予習し1時間復習する			
	5	工程管理②ネットワーク図の作成および軌道修正				ネットワークの要点を整理し、1時間予習し1時間復習する			
	6	品質管理の検査と試験について学ぶ				品質管理の要点を整理し、1時間予習し1時間復習する			
	7	安全衛生管理(労働災害と安全管理計画、安全衛生論)				安全衛生管理の要点を整理し、1時間予習し1時間復習する			
	8	植栽工法について学ぶ				植栽工法の要点を整理し、1時間予習し1時間復習する			
	9	法面保護工法について学ぶ				法面保護法の要点を整理し、1時間予習し1時間復習する			
	10	石積工・護岸工について学ぶ				石積み護岸工の要点を整理し、1時間予習し1時間復習する			
	11	園路工・階段工について学ぶ				園路工などの要点を整理し、1時間予習し1時間復習する			
	12	建設業法について学ぶ				建設業法の要点を整理し、1時間予習し1時間復習する			
	13	都市計画法および都市公園法について学ぶ				都市公園法の要点を整理し、1時間予習し1時間復習する			
	14	公園施設の工法(遊戯施設・運動施設の工法のポイント)				公園施設の要点を整理し、1時間予習し1時間復習する			
	15	学生による発表と討論			○	与えられた課題について準備し、1時間復習する			
16	定期試験								

科目コード	科目名	実務経験のある教員による授業	地域志向	単位	担当者	関連資格			
						生活	療法	樹木	フライフ
48 S K 22 ZO	造園維持管理学			2	長岡寿和	○		○	
学習成果	学習成果 5)応用的専門知識								
授業の概要	植物をはじめとする造園の維持管理について、先達たちが長年伝えてきた経験的な知識と技術を紹介し、それを学問的な側面から分析していく。「何故そうするのか、何故そうなのか」を学問的に理論づけてみる、いわば、方向性、考え方を養う。								
授業の形式	講義。レポートを提出。発表とまとめの討論を2回行う。スライドやビデオを活用。								
到達目標と対応する学習成果	① 植物をはじめとする造園の維持管理の役割を把握することができる					学習成果 5)応用的専門知識			
	② 造園で使用する植物についての維持管理を、調査研究し、発表(レポートを含む)することができる					学習成果 5)応用的専門知識			
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
履修上の注意点/試験やレポート等に対するフィードバックの方法	経験は、実践的な長年の実験結果といえる。科学的に理論づけてみようとする講義後のまとめが大切である。造園の維持管理の知識や技術が経験的なものとどまっているか、または科学的に裏づけされているかを整理し、理解できるように学ぶことが重要である。まとめのレポートは返却する。								
評価の方法と基準	評価の目安は学習成果 5)応用的専門知識 植物をはじめとする造園の維持管理の役割を把握(定期試験)が50点、造園植物の維持管理の調査研究、発表(レポート提出を含む)が50点。								
教科書	社団法人日本造園組合連合会編「造園施工必携」								
参考書	・ 上原敬二著「造園大辞典」加島書店								
	・ 日本公園緑地協会編「造園施工管理技術編」第一法規出版 ・ 小澤幸四郎ほか著「1級・2級造園施工管理技士受験100講」山海堂								
授業計画	回	授業内容			アクティブラーニング	授業以外の学習(予習・復習などの具体的内容及びそれに必要な時間)			
	1	ガイダンス:維持管理の概論。経験と学問的理論との違い。				造園維持管理の概論について要点を整理し一時間復習し、年間の造園維持管理作業について一時間予習すること			
	2	維持管理計画:庭園・公園の場合。年間の維持管理作業。				庭園・公園の年間の維持管理作業について要点を整理し一時間復習し、剪定の目的と適期の考え方について一時間予習すること			
	3	剪定の管理論。剪定の目的と適期の考え方。枝の切り方。				剪定の目的と適期の考え方、枝の切り方について要点を整理し一時間復習し、剪定の技術論について一時間予習すること			
	4	剪定の技術論(常緑樹広葉樹・落葉樹広葉樹・針葉樹)。松の剪定法。				剪定の技術論(常緑・落葉広葉樹・針葉樹)について要点を整理し一時間復習し、剪定の技術論(花木類・果樹類)について一時間予習すること			
	5	剪定の技術論(花木類・果樹類)。				剪定の技術論(花木類・果樹類)について要点を整理し一時間復習し、土壌や植物体の構成元素と施肥の関係について一時間予習すること			
	6	施肥論:土壌や植物体の構成元素(含有成分)と施肥の関係。効率的な施肥法				土壌や植物体の構成元素(含有成分)と施肥の関係について要点を整理し一時間復習し、病害虫の種類について一時間予習すること			
	7	学生の発表とレポート提出と討論。			○	発表準備をし、造園維持管理の課題に対するレポートを作成し、要点を整理し一時間復習し、造園維持管理の課題について一時間予習すること			
	8	病害虫の種類。病害虫の発生とその予防・退治論。				害虫の発生とその予防・退治について要点を整理し一時間復習し、殺虫剤、殺菌剤、展着剤などの薬剤の種類と特性について一時間予習すること			
	9	殺虫剤、殺菌剤、展着剤などの薬剤の種類と特性。薬剤の調製法と散布法。				殺虫剤、殺菌剤、展着剤などの薬剤の種類と特性について要点を整理し一時間復習し、除草剤の作用と特性について一時間予習すること			
	10	雑草の防除:除草剤の作用と特性。除草剤の調整法と散布法。立ち木に及ぼす影響。芝生地の雑草の防除の考え方。				除草剤の作用と特性について要点を整理し一時間復習し、芝生の管理について一時間予習すること			
	11	芝生の管理:年間の管理作業。日本芝と西洋芝の違い。エアレーション。オーバーシーディングとは。トランジションの考え方と新しい芝生地の造成。				芝生の管理について要点を整理し一時間復習し、花壇の管理について一時間予習すること			
	12	花壇の管理:植付けと管理作業のローテーション。ミックスフラワーとワイルドフラワー。花壇のベースと宿根草(多年草)・球根類。				花壇の管理について要点を整理し一時間復習し、室内庭園の管理の問題点と空気の循環について一時間予習すること			
	13	室内庭園の管理の問題点と空気の循環。都市の造園施設の維持管理、屋上緑化・壁面緑化				室内庭園の管理の問題点と空気の循環について要点を整理し一時間復習し、造園維持管理の課題について一時間予習すること			
	14	学生の発表とレポート提出と討論			○	発表準備をし、造園維持管理の課題に対するレポートを作成し、要点を整理し一時間復習し、造園維持管理の課題について一時間予習すること			
	15	造園維持管理学のまとめとレポート提出				造園維持管理の分野に求められるものについて要点を整理し一時間復習し、造園維持管理の分野に求められるものについて一時間予習すること			
16	定期試験				テストの復習を一時間すること、テスト後、自己採点し、必ず見直し理解を深めること				

科目コード	科目名	実務経験のある教員による授業	地域志向	単位	担当者	関連資格			
						生活	療法	樹木	フラフ
49 S K 11 RI	造林学			2	長岡寿和			○	
学習成果	学習成果 3) 基礎的専門知識								
授業の概要	生物と環境のシステムが複雑に組み込まれた森林の構造を知り、その役割と保全技術を発展させる研究領域の森林科学を学ぶ。								
授業の形式	講義。レポートを提出。発表とまとめの討論を2回行う。スライドやビデオを活用。								
到達目標と対応する学習成果	① 森林生態系と林業についての基本的な知識を理解できる					学習成果 3) 基礎的専門知識			
	② 森林生態系と林業についてテーマを選び調査研究し、その知識や技術を発表することができる					学習成果 3) 基礎的専門知識			
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
履修上の注意点／試験やレポート等に対するフィードバックの方法	森林生態系を健全に維持・育成するためには幅広い知識が必要である。講義だけでは不足するので、随時紹介する参考文献や時事的なマスメディアで放映されるものもできるだけ活用すること。まとめのレポートは返却する。								
評価の方法と基準	評価の目安は学習成果 3) 基礎的専門知識 森林生態系と林業についての基本的な知識の理解(定期試験)が50点、森林生態系と林業についての調査研究、発表(レポート提出を含む)が50点。								
教科書	文部科学省 森林科学 実教出版								
参考書	・ 木平勇吉 森林科学論 朝倉書店								
	・ 森林林業白書 林野庁								
	・								
	・								
授業計画	回	授業内容			アクティブ ラーニング	授業以外の学習(予習・復習などの具体的内容及びそれに必要な時間)			
	1	森林と育林 森林の役割、森林の定義や種類、森林の多面的な機能				森林の役割、森林の定義や種類について要点を整理し一時間復習し、育林の意義について一時間予習すること			
	2	育林の意義 育林の役割、育林の課題と新しい方向				育林の役割、育林の課題と新しい方向について要点を整理し一時間復習し、森林の生態と植物について一時間予習すること			
	3	森林の生態と植物について 森林の生態系の仕組み、森林植生の遷移と土壌について				森林の生態と植物について要点を整理し一時間復習し、森林の分布について一時間予習すること			
	4	森林の分布 気候帯と植生型、世界の森林帯、わが国の森林帯				森林の分布、気候帯と植生型について要点を整理し一時間復習し、林木の生育と環境について一時間予習すること			
	5	林木の生育と環境、主な樹種の性状、樹木の識別、針葉樹、広葉樹				林木の生育と環境、主な樹種の性状について要点を整理し一時間復習し、林木の生育特性について一時間予習すること			
	6	林木の生育特性、木材の成長、耐陰性、根系、繁殖方法、林木の生育と環境因子				林木の生育特性、木材の成長、耐陰性、根系について要点を整理し一時間復習し、育苗と造林について一時間予習すること			
	7	学生の発表とレポート提出と討論。			○	発表準備をし、造林学の課題に対するレポートを作成し、要点を整理し一時間予習し、造林学の課題について一時間復習すること			
	8	育苗と造林、林木の育苗と育種、実生苗の育成、挿し木苗の養成、接ぎ木苗の養成				林木の育苗と育種について要点を整理し一時間復習し、苗畑の管理について一時間予習すること			
	9	苗畑の管理、裸苗の管理、培地つき苗の管理				苗畑の管理、裸苗の管理について要点を整理し一時間復習し、人工更新と天然更新について一時間予習すること			
	10	人工更新と天然更新、森林の更新、更新方法の種類、萌芽更新、苗による更新				人工更新と天然更新について要点を整理し一時間復習し、主な林木の造林方法について一時間予習すること			
	11	主な林木の造林方法、スギ、ヒノキ、トドマツ、クスギ、コナラ、ブナ				主な林木の造林方法について要点を整理し一時間復習し、森林の保育と山地の保全について一時間予習すること			
	12	森林の保育と山地の保全、林木保育、林地保育、危機に面する天然林				森林の保育と山地の保全について要点を整理し一時間復習し、森林の保護について一時間予習すること			
	13	森林の保護、世界・日本で起こっている森林被害、森林火災と気象被害、病害虫				森林の保護、世界・日本で起こっている森林被害について要点を整理し一時間復習し、造林学の分野に求められるものについて一時間予習すること			
	14	学生の発表とレポート提出と討論。			○	発表準備をし、造林学の課題に対するレポートを作成し、要点を整理し一時間復習し、造林学の課題について一時間予習すること			
	15	造林学のまとめとレポート提出				造林学の分野に求められるものについて要点を整理し一時間復習し、造林学の分野に求められるものについて一時間予習すること			
16	定期試験				テストの復習を一時間すること、テスト後、自己採点し、必ず見直し理解を深めること				

科目コード	科目名	実務経験のある教員による授業	地域志向	単位	担当者	関連資格				
						生活	療法	樹木	フライフ	
50 S K 12 RI	森林経営		企業力	2	橋本裕輝					
学習成果	学習成果 5)応用的専門知識									
授業の概要	森林経営について学ぶ。									
授業の形式	講義									
到達目標と対応する学習成果	①	林業の専門知識							学習成果 5)応用的専門知識	
	②									
	③									
	④									
	⑤									
	⑥									
履修上の注意点／試験やレポート等に対するフィードバックの方法	適宜プリントを配布する。授業内容は変更する場合があります。									
評価の方法と基準	定期試験で評価する。 学習成果5)応用的専門知識100点(定期試験100%)									
教科書	文部科学省「森林経営」実教出版									
参考書	・ ・ ・									
授業計画	回	授業内容			アクティブ ラーニング	授業以外の学習(予習・復習などの具体的内容及びそれに必要な時間)				
	1	持続可能な社会の実現に向けた森林経営の役割				第1回の講義の内容をまとめ、復習すること(2時間)				
	2	世界の森林・林業				第2回の授業内容の箇所を教科書を読んで予習すること(2時間) 第2回の講義の内容をまとめ、復習すること(2時間)				
	3	日本の森林と林業				第3回の授業内容の箇所を教科書を読んで予習すること(2時間) 第3回の講義の内容をまとめ、復習すること(2時間)				
	4	森林経営の目標と組織(1)				第4回の授業内容の箇所を教科書を読んで予習すること(2時間) 第4回の講義の内容をまとめ、復習すること(2時間)				
	5	森林経営の目標と組織(2)				第5回の授業内容の箇所を教科書を読んで予習すること(2時間) 第5回の講義の内容をまとめ、復習すること(2時間)				
	6	森林・林業に関わる仕事				第6回の授業内容の箇所を教科書を読んで予習すること(2時間) 第6回の講義の内容をまとめ、復習すること(2時間)				
	7	森林の測定と評価(1)				第7回の授業内容の箇所を教科書を読んで予習すること(2時間)。 第7回の講義の内容をまとめ、復習すること(2時間)				
	8	森林の測定と評価(2)				第8回の授業内容の箇所を教科書を読んで予習すること(2時間) 第8回の講義の内容をまとめ、復習すること(2時間)				
	9	森林・林業の制度と政策(1)				第9回の授業内容の箇所を教科書を読んで予習すること(2時間) 第9回の講義の内容をまとめ、復習すること(2時間)				
	10	森林・林業の制度と政策(2)				第10回の授業内容の箇所を教科書を読んで予習すること(2時間) 第10回の講義の内容をまとめ、復習すること(2時間)				
	11	山地と農山村の保全(1)				第11回の授業内容の箇所を教科書を読んで予習すること(2時間) 第11回の講義の内容をまとめ、復習すること(2時間)				
	12	山地と農山村の保全(2)				第12回の授業内容の箇所を教科書を読んで予習すること(2時間) 第12回の講義の内容をまとめ、復習すること(2時間)				
	13	森林経営の実践(1)				第13回の授業内容の箇所を教科書を読んで予習すること(2時間) 第13回の講義の内容をまとめ、復習すること(2時間)				
	14	森林経営の実践(2)				第14回の授業内容の箇所を教科書を読んで予習すること(2時間) 第14回の講義の内容をまとめ、復習すること(2時間)				
	15	まとめ				今までの授業内容の箇所を教科書を読んで予習すること(2時間)				
16	定期試験									

科目コード	科目名	実務経験のある教員による授業	地域志向	単位	担当者	関連資格			
						生活	療法	樹木	フライフ
51 S K 12 RI	林産加工			2	摺崎宏				
学習成果	学習成果 5)応用的専門知識								
授業の概要	この科目は、森林資源を活用する林産物利用について学習する。化石資源への依存を減らし、循環資源である木材等の有効活用に対応した林産業の発展に寄与できることを目標とする。								
授業の形式	オンデマンド方式で実施する。毎週月曜にGoogle classroom「林産加工2026」に動画を配信する。								
到達目標と対応する学習成果	① 循環資源としての木材について説明できる					学習成果 5)応用的専門知識			
	② 林産業の現状と動向について説明できる					学習成果 5)応用的専門知識			
	③ 製材・加工、木工について説明できる					学習成果 5)応用的専門知識			
	④ 木材の改良と成分の利用について説明できる					学習成果 5)応用的専門知識			
	⑤ 特用林産物の生産と加工について説明できる					学習成果 5)応用的専門知識			
	⑥								
履修上の注意点／試験やレポート等に対するフィードバックの方法	林業の公務員を目指す者は必ず履修すること。毎回、課題があり、提出期限は授業後1週間後とする。指定した期日までに課題が提出されない場合は「欠席」扱いとする。								
評価の方法と基準	各回のレポート、定期試験で評価する。 学習成果5)応用的専門知識100点 (到達目標①～⑤ 各20点： 課題50%、定期試験50%)								
教科書	文科省「林産物利用」実業出版								
参考書	・ ・ ・								
授業計画	回	授業内容			アクティブ ラーニング	授業以外の学習(予習・復習などの具体的内容及びそれに必要な時間)			
	1	循環資源としての木材①(木材の性質・用途、循環資源と環境)				授業前に教科書を熟読する(1時間)。授業後に課題に取り組み(1時間)。			
	2	循環資源としての木材②(木材の性質・用途、循環資源と環境)				授業前に教科書を熟読する(1時間)。授業後に課題に取り組み(1時間)。			
	3	循環資源としての木材③(木材の性質・用途、循環資源と環境)				授業前に教科書を熟読する(1時間)。授業後に課題に取り組み(1時間)。			
	4	循環資源としての木材④(木材の性質・用途、循環資源と環境)				授業前に教科書を熟読する(1時間)。授業後に課題に取り組み(1時間)。			
	5	林産業の現状と動向①(林産業の現状と課題、外国の林産業)				授業前に教科書を熟読する(1時間)。授業後に課題に取り組み(1時間)。			
	6	林産業の現状と動向②(林産業の現状と課題、外国の林産業)				授業前に教科書を熟読する(1時間)。授業後に課題に取り組み(1時間)。			
	7	製材・加工、木工①(製材・加工、木工、安全・衛生)				授業前に教科書を熟読する(1時間)。授業後に課題に取り組み(1時間)。			
	8	製材・加工、木工②(製材・加工、木工、安全・衛生)				授業前に教科書を熟読する(1時間)。授業後に課題に取り組み(1時間)。			
	9	製材・加工、木工③(製材・加工、木工、安全・衛生)				授業前に教科書を熟読する(1時間)。授業後に課題に取り組み(1時間)。			
	10	木材の改良と成分利用①(木質材料の製造、木材パルプと和紙、木質バイオマス)				授業前に教科書を熟読する(1時間)。授業後に課題に取り組み(1時間)。			
	11	木材の改良と成分利用②(木質材料の製造、木材パルプと和紙、木質バイオマス)				授業前に教科書を熟読する(1時間)。授業後に課題に取り組み(1時間)。			
	12	木材の改良と成分利用③(木質材料の製造、木材パルプと和紙、木質バイオマス)				授業前に教科書を熟読する(1時間)。授業後に課題に取り組み(1時間)。			
	13	特用林産物の生産と加工①(きのこの生産と加工、木炭、伝統工芸品原材料の加工、特用林産物、薬用植物の生産と利用)				授業前に教科書を熟読する(1時間)。授業後に課題に取り組み(1時間)。			
	14	特用林産物の生産と加工②(きのこの生産と加工、木炭、伝統工芸品原材料の加工、特用林産物、薬用植物の生産と利用)				授業前に教科書を熟読する(1時間)。授業後に課題に取り組み(1時間)。			
	15	特用林産物の生産と加工③(きのこの生産と加工、木炭、伝統工芸品原材料の加工、特用林産物、薬用植物の生産と利用)				授業前に教科書を熟読する(1時間)。授業後に課題に取り組み(1時間)。			
16	定期試験(60分)								

科目コード	科目名	実務経験のある教員による授業	地域志向	単位	担当者	関連資格			
						生活	療法	樹木	フライフ
52 S K 12 AL	農林業土木			2	鍵和田又一				
学習成果	学習成果 5)応用的専門知識								
授業の概要	農林業分野において極めて重要な土木分野を学ぶ。農林業土木では、土や水の基本知識のほか、降雨から河川の流出にいたる水の貯水・流動の理論について学ぶ。また、農林道の計画と整備、山地保全の意義や技術など、土木工学的な手法についても学ぶ。さらに、木材生産活動に重要な伐木、運材の知識と技術の手法についても学ぶ。								
授業の形式	講義								
到達目標と対応する学習成果	① 降雨から河川の流出にいたる水の貯水・流動の理論についての知識を習得できる					学習成果 5)応用的専門知識			
	② 土木工学的な手法についての知識を習得できる					学習成果 5)応用的専門知識			
	③ 伐木、運材の知識と技術の手法についての知識を習得できる					学習成果 5)応用的専門知識			
	④ 農林業土木にかんする知識を表現できる					学習成果 5)応用的専門知識			
	⑤								
	⑥								
履修上の注意点／試験やレポート等に対するフィードバックの方法	自然と地球環境にも目をむけて農地・森林の重要性運動して理解する								
評価の方法と基準	学習成果5 応用的専門分野 100点(内訳:定期試験80点 レポート20点)								
教科書	森林科学 文部科学省 実教出版								
参考書	・ 林業実務必携 東京農工大学林学科編 朝倉書店 ・ ・ ・								
授業計画	回	授業内容			アクティブラーニング	授業以外の学習(予習・復習などの具体的内容及びそれに必要な時間)			
	1	農林業土木とは				農林業土木について要点を整理し、1時間予習し1時間復習する			
	2	浸食の素因と誘因				浸食についての要点を整理し、1時間予習し1時間復習する			
	3	土砂の生産と流失				土砂の生産と流失についての要点を整理し、1時間予習し1時間復習する			
	4	水文と渓流水理				渓流水理についての要点を整理し、1時間予習し1時間復習する			
	5	学生による発表			○	課題に対する1時間かけて発表準備をし、その発表内容について1時間復習する			
	6	渓流工事				渓流工事についての要点を整理し、1時間予習し1時間復習する			
	7	山腹工事				山腹工事についての要点を整理し、1時間予習し1時間復習する			
	8	地すべり防止工事				地すべりについての要点を整理し、1時間予習し1時間復習する			
	9	農林道の計画と設計(勾配・土量など)				農林道についての要点を整理し、1時間予習し1時間復習する			
	10	農林道の土木材料 土の力学				土木材料および力学についての要点を整理し、1時間予習し1時間復習する			
	11	農林道の土木材料 コンクリート				コンクリートについての要点を整理し、1時間予習し1時間復習する			
	12	学生による発表			○	課題に対する1時間かけて発表準備をし、その発表内容について1時間復習する			
	13	農林業機械①				農林業機械の要点を整理し、1時間予習し1時間復習する			
	14	農林業機械②高性能林業機械				農林業機械の要点を整理し、1時間予習し1時間復習する			
	15	農林業機械③(索張りについて)				農林業機械の要点を整理し、1時間予習し1時間復習する			
16	定期試験								

科目コード	科目名	実務経験のある教員による授業	地域志向	単位	担当者	関連資格			
						生活	療法	樹木	フラフ
53 S K 12 ZO/RI	測量			2	鍵和田又一				
学習成果	学習成果 6)応用的専門技能								
授業の概要	測量の基礎から簡単な応用までを学ぶ。								
授業の形式	講義。数回の小テスト実施								
到達目標と対応する学習成果	① 測量に関する数学的知識を習得できる					学習成果 6)応用的専門技能			
	② 各種測量手法の原理と手順を理解して測量することができる					学習成果 6)応用的専門技能			
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
履修上の注意点／試験やレポート等に対するフィードバックの方法	将来、森林に携わる方や造園家を目指す学生にとっては、測量ができるのは必須条件である。								
評価の方法と基準	レポート、定期試験で評価する。 学習成果6)応用的専門技能100点 (内訳:定期試験80点、レポート20点)								
教科書	実教出版 測量								
参考書	・「測量士補受験100講」山海堂								
	・「ザ測量士補」弘文社								
	・「測量士補過去問マスター」東京法経学院								
	・「図解 新やさしい測量」測量教育研究会編								
授業計画	回	授業内容			アクティブラーニング	授業以外の学習(予習・復習などの具体的内容及びそれに必要な時間)			
	1	ガイダンス・測量の誤差				測量の誤差についての要点を整理し、1時間予習し1時間復習する			
	2	距離測量 巻き尺やレーダーでの距離測量について学ぶ				距離測量についての要点を整理し、1時間予習し1時間復習する			
	3	距離測量 測距機械による測定				距離測量についての要点を整理し、1時間予習し1時間復習する			
	4	角測量 (単測法)				角測量についての要点を整理し、1時間予習し1時間復習する			
	5	角測量 (複測法)				角測量についての要点を整理し、1時間予習し1時間復習する			
	6	角測量 (方向法)				角測量についての要点を整理し、1時間予習し1時間復習する			
	7	閉合トラバース測量 (方位角)				閉合トラバース測量についての要点を整理し、1時間予習し1時間復習する			
	8	閉合トラバース測量 (緯距と経距)				閉合トラバース測量についての要点を整理し、1時間予習し1時間復習する			
	9	閉合トラバース測量 (調整)				閉合トラバース測量についての要点を整理し、1時間予習し1時間復習する			
	10	結合トラバース測量 (方位角と緯距と経距)				結合トラバース測量についての要点を整理し、1時間予習し1時間復習する			
	11	結合トラバース測量 (調整と座標計算)				結合トラバース測量についての要点を整理し、1時間予習し1時間復習する			
	12	水準測量 (器高式)				水準測量についての要点を整理し、1時間予習し1時間復習する			
	13	水準測量 (昇降式)				水準測量についての要点を整理し、1時間予習し1時間復習する			
	14	写真測量(航空写真測量、基本原理について)				写真測量についての要点を整理し、1時間予習し1時間復習する			
	15	写真測量(写真測量の定位)				写真測量についての要点を整理し、1時間予習し1時間復習する			
16	定期試験								

科目コード	科目名	実務経験のある教員による授業	地域志向	単位	担当者	関連資格			
						生活	療法	樹木	フライフ
54 S K 21 HT	園芸療法 I	○	地域力	2	小石鉄兵〈実〉		◎		
学習成果	学習成果 5)応用的専門知識								
授業の概要	園芸療法では、植物が人に与える効能について、福祉的かつ療法的視点で学ぶ内容である。また、園芸療法士を目指す学生の入門編として位置づけられており、園芸療法の基礎を総論的に学ぶことをねらいとする。すなわち、園芸療法とは何か、園芸療法はどんな場どのように活用されるか、園芸療法はなぜ効果を期待できるかについて理解を促し、園芸療法を実施する療法士としての心構えを養成する。								
授業の形式	講義を中心に行う。合わせてグループディスカッションも実施する。								
到達目標と対応する学習成果	① 植物が人に与える効能について、福祉的かつ療法的に活用し期待される効果を説明できる						学習成果 5)応用的専門知識		
	② 園芸療法の原理と原則を説明できる						学習成果 5)応用的専門知識		
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
履修上の注意点／試験やレポート等に対するフィードバックの方法	講義では、グループワークを活用して展開するため、班のメンバーに負担がかからないように、健康管理に十分注意して受講してほしい。フィードバックについては、その都度、口頭およびホワイトボードを用いて行う。								
評価の方法と基準	学習成果 5)100点 内訳：到達目標① 発表(アクティブラーニング)30点(回数によって点数は案分する)、定期試験30点 到達目標② 定期試験40点								
教科書	適宜資料を配布する。								
参考書	・山根 寛ほか「園芸リハビリテーション」 医歯薬出版								
	・金浜耕基 ほか「園芸学第2版」 文永同出版								
	・								
	・								
授業計画	回	授業内容			アクティブラーニング	授業以外の学習(予習・復習などの具体的内容及びそれに必要な時間)			
	1	園芸療法とはなにか			○	予習(園芸療法とはなにかについて)を30分以上、復習(講義扱った園芸療法概念、等)を1時間以上すること			
	2	園芸療法と植物介在療法との違い				予習(園芸療法、植物介在療法、等について)を30分以上、復習(講義で扱った生物活用に関する概念、等)を1時間以上すること			
	3	園芸療法の歴史的展開				予習(園芸療法の歴史について)を30分以上、復習(講義で扱った園芸療法の歴史背景に関する概念、等)を1時間以上すること			
	4	諸外国における園芸療法①				予習(諸外国における園芸療法の認識について)を30分以上、復習(講義で扱った園芸療法の捉え方、等)を1時間以上すること			
	5	日本における園芸療法				予習(日本国内における園芸療法について)を30分以上、復習(講義で扱った園芸療法の捉え方、等)を1時間以上すること			
	6	園芸療法の対象者 1)心身に療法的かかわりが必要な人①			○	予習(園芸療法の対象者(心身に特化して)について)を30分以上、復習(講義で扱った園芸療法対象者の捉え方、等)を1時間以上すること			
	7	園芸療法の対象者 1)心身に療法的かかわりが必要な人②			○	予習(園芸療法の対象者(心身に特化して)について)を30分以上、復習(講義で扱った園芸療法対象者の捉え方、等)を1時間以上すること			
	8	園芸療法の対象者 2)高齢者で療法的かかわりが必要な人①			○	予習(園芸療法の対象者(高齢者に特化して)について)を30分以上、復習(講義で扱った園芸療法対象者の捉え方、等)を1時間以上すること			
	9	園芸療法の対象者 2)高齢者で療法的かかわりが必要な人②			○	予習(園芸療法の対象者(高齢者に特化して)について)を30分以上、復習(講義で扱った園芸療法対象者の捉え方、等)を1時間以上すること			
	10	園芸療法の実施計画 プログラム、実施、評価(基礎)			○	予習(園芸療法プログラムについて)を30分以上、復習(講義で扱った園芸療法プログラム計画の立案、等)を1時間以上すること			
	11	対象者の情報収集				予習(園芸療法プログラムに必要な情報について)を30分以上、復習(講義で扱った対象者の情報収集内容、等)を1時間以上すること			
	12	園芸療法プログラム			○	予習(園芸療法プログラム立案について)を30分以上、復習(講義で扱った園芸療法プログラム内容、等)を1時間以上すること			
	13	プログラムの実践、実施後の評価				予習(園芸療法プログラムの実践について)を30分以上、復習(講義で扱った園芸療法プログラムの実践内容、等)を1時間以上すること			
	14	園芸療法の可能性				予習(園芸療法と園芸福祉について)を30分以上、復習(講義で扱った園芸療法ならびに福祉の可能性、等)を1時間以上すること			
	15	留意事項・まとめ				予習(14回の講義内容の振り返り)を30分以上、復習(講義で扱った園芸療法の現状や将来期待される展望について、等)を1時間以上すること			
16	定期試験								

科目コード	科目名	実務経験のある教員による授業	地域志向	単位	担当者	関連資格			
						生活	療法	樹木	フラフ
55 S K 22 HT	園芸療法Ⅱ	○	地域力	2	小石鉄兵〈実〉		○		
学習成果	学習成果 5)応用的専門知識								
授業の概要	園芸療法の効果測定方とプログラムの実際について学ぶ。心身の障害者や高齢者に各症状に適した園芸作業を考える。最終回で各自考えたプログラムを発表してもらう。								
授業の形式	講義(アクティブラーニングを含む)								
到達目標と対応する学習成果	① 授業で取り扱った疾患や障害についての基本的特徴を理解できる。						学習成果 5) 応用的専門知識		
	② 園芸療法の評価方法の選択できる。さらにクライアントに対する園芸療法プログラムを作成することができる。						学習成果 5) 応用的専門知識		
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
履修上の注意点/試験やレポート等に対するフィードバックの方法	アクティブラーニングでは積極的な参加、発言を求める。/フィードバックは、毎回の授業開始時に行う。								
評価の方法と基準	学習成果 5) 100点 (内訳)到達目標①グループワークでの課題発表10点 (内訳)到達目標②プログラム発表(スライド作成・プレゼン)30点(※課題(発表スライドなど)の提出遅延に関しては減点とする) (内訳)到達目標①および②定期試験60点								
教科書	適宜、プリントを配布する								
参考書	・「園芸リハビリテーション」山根寛ほか著 医歯薬出版(図書館に蔵書あり)								
	・「園芸療法を探る」松尾英輔著 グリーン情報(図書館に蔵書あり)								
	・「園芸学第2版」金浜耕基、他 文永堂出版(図書館に蔵書あり)								
	・「園芸作業療法ガイドブック」監修 岩崎 寛 クリエイトかもがわ(図書館に蔵書あり)								
授業計画	回	授業内容			アクティブラーニング	授業以外の学習(予習・復習などの具体的内容及びそれに必要な時間)			
	1	園芸療法士としての社会的役割			○	園芸療法士の役割について、自分の考えをまとめておく(予習30分)。受講後は、講義内容を振り返りを行う(復習1時間)。			
	2	園芸活動の捉え方 ～ヒトと植物の関係性について～			○	予習(園芸活動の特徴(人的・物理的環境)、工程、等について)を30分以上、復習(講義で扱った生物活用が人にもたらす効能、等)を1時間以上すること			
	3	園芸活動時の危機管理				予習(園芸活動時のリスク管理、等について)を30分以上、復習(講義で扱った園芸療法対象者にとってのリスク管理、等)を1時間以上すること			
	4	園芸療法の実際(医療分野 大分県の事例含む)			○	予習(園芸療法の実践事例、等について)を30分以上、復習(講義で扱った園芸療法実践報告(医療分野)、等)を1時間以上すること			
	5	園芸療法の実際(介護分野 大分県の事例含む)				予習(園芸療法の実践事例、等について)を30分以上、復習(講義で扱った園芸療法実践報告(介護分野)、等)を1時間以上すること			
	6	園芸療法の実際(就労支援分野 大分県の事例含む)				予習(園芸療法の実践事例、農福連携、等について)を30分以上、復習(講義で扱った園芸療法実践報告(就労支援分野)、等)を1時間以上すること			
	7	園芸療法の実際(小児分野 大分県の事例含む)				予習(園芸療法の実践事例、等について)を30分以上、復習(講義で扱った園芸療法実践報告(小児分野)、等)を1時間以上すること			
	8	園芸療法時の作業分析①			○	予習(園芸作業の分析、等について)を30分以上、復習(講義で扱った園芸作業の分析的視点、等)を1時間以上すること			
	9	園芸療法時の作業分析②			○	予習(園芸作業の分析、等について)を30分以上、復習(講義で扱った園芸作業の分析的視点、等)を1時間以上すること			
	10	園芸活動における評価内容				予習(園芸作業における療法的効果の評価、等について)を30分以上、復習(講義で扱った園芸療法時の評価ツール、等)を1時間以上すること			
	11	農福連携について①			○	予習(農福連携、等について)を30分以上、復習(講義で扱った農福連携の歴史、活動、効果、等)を1時間以上すること			
	12	農福連携について②				予習(農福連携、等について)を30分以上、復習(講義で扱った農福連携の歴史、活動、効果、等)を1時間以上すること			
	13	園芸療法的手段(アプローチ)について①			○	予習(園芸療法実践の手段、等について)を30分以上、復習(講義で扱った園芸療法実践報告の振り返り、等)を1時間以上すること			
	14	園芸療法的手段(アプローチ)について②				予習(園芸療法実践の手段、等について)を30分以上、復習(講義で扱った園芸療法実践報告の振り返り、等)を1時間以上すること			
	15	園芸療法プログラム:プログラムの発表			○	予習(各自にあえられた疾患に対する園芸療法プログラムの作成ならびにプレゼン練習)30分以上、復習(他学生が提示したプログラムの振り返り、等)1時間以上すること。			
16									

科目コード	科目名	実務経験のある教員による授業	地域志向	単位	担当者	関連資格			
						生活	療法	樹木	フラフ
56 S K 21 HT	理学療法	○		2	武田知樹〈実〉		○		
学習成果	学習成果 5)応用的専門知識								
授業の概要	「リハビリテーション(Rehabilitation)」とは、障害のある人にとっての全人的復権を目指すものである。その目的を達成するために行われる医学的専門分野のひとつとして「理学療法(Physical Therapy)」が存在する。本講義では「理学療法」に関する知識や体験を通して、障害のある人への関わり方や自身の健康について理解を深める。								
授業の形式	講義、実技、レポート提出								
到達目標と対応する学習成果	①リハビリテーションについて理解している						学習成果 5)応用的専門知識		
	②「障がい」とは何かについて理解している						学習成果 5)応用的専門知識		
	③理学療法の構成要素(運動療法、物理療法、義肢装具療法、日常生活動作訓練)について理解している						学習成果 5)応用的専門知識		
	④生活機能の制限に対する支援としての理学療法の役割を理解している						学習成果 5)応用的専門知識		
	⑤「健康」に関する概念理解を通して、自身の健康的なライフスタイル形成に活かすことができる						学習成果 5)応用的専門知識		
	⑥								
履修上の注意点/試験やレポート等に対するフィードバックの方法	リハビリテーションに関する重要概念(ノーマライゼーション、QOL、ラポール、障害の受容など)を理解した上で、「障害」とは何か?「健康」とは何か?を探究する姿勢が求められる。								
評価の方法と基準	実技およびレポート提出で評価する。 学習成果5)応用的専門知識100点 (到達目標①~⑤各20点。それぞれ、実技50%、レポート50%)								
教科書	各授業ごとに講義資料を配布する。								
参考書	・栢森良二 著:「学生のためのリハビリテーション医学概論」第3版(医歯薬出版株式会社) ・ ・								
授業計画	回	授業内容			アクティブ ラーニング	授業以外の学習(予習・復習などの具体的内容及びそれに必要な時間)			
	1	リハビリテーションにおける理学療法とは何か				復習30時間程度、取り組むこと。 授業内容に応じ、要点を整理しておくこと。			
	2	「障がい」のとらえ方(国際障害分類 ICDH、ICF他)				復習30時間程度、取り組むこと。 授業内容に応じ、要点を整理しておくこと。			
	3	身体の構造と名称①(骨・関節・筋肉)				復習30時間程度、取り組むこと。 授業内容に応じ、要点を整理しておくこと。			
	4	身体の構造と名称②(脳・神経・内臓系)				復習30時間程度、取り組むこと。 授業内容に応じ、要点を整理しておくこと。			
	5	理学療法評価学(理学療法士は患者さんの身体をどのように観ているのか)				復習30時間程度、取り組むこと。 授業内容に応じ、要点を整理しておくこと。			
	6	物理療法と運動療法				復習30時間程度、取り組むこと。 授業内容に応じ、要点を整理しておくこと。			
	7	移動補助具について①(車いす)				復習30時間程度、取り組むこと。 授業内容に応じ、要点を整理しておくこと。			
	8	移動補助具について②(杖)				復習30時間程度、取り組むこと。 授業内容に応じ、要点を整理しておくこと。			
	9	移乗動作介助				復習30時間程度、取り組むこと。 授業内容に応じ、要点を整理しておくこと。			
	10	屋外の車いす介助				復習30時間程度、取り組むこと。 授業内容に応じ、要点を整理しておくこと。			
	11	動作と筋電図			○	復習30時間程度、取り組むこと。 授業内容に応じ、要点を整理しておくこと。			
	12	身体活動と健康			○	復習30時間程度、取り組むこと。 授業内容に応じ、要点を整理しておくこと。			
	13	「健康(Health)」について考える①(健康の概念、健康寿命、サクセスフルエイジング、他)			○	復習30時間程度、取り組むこと。 授業内容に応じ、要点を整理しておくこと。			
	14	「健康(Health)」について考える②(フレイル、メタボリックシンドローム、他)			○	復習30時間程度、取り組むこと。 授業内容に応じ、要点を整理しておくこと。			
	15	理学療法についてのレポート提出 授業を通して、学んだ事と今後への活用について考えをまとめる							
16									

科目コード	科目名	実務経験のある教員による授業	地域志向	単位	担当者	関連資格			
						生活	療法	樹木	フアラフ
57 S K 21 HT	作業療法	○	地域力	2	小石鉄兵〈実〉		○		
学習成果	学習成果 5)応用的専門知識								
	学習成果 3)基礎的専門知識								
授業の概要	運動やレクリエーション、仕事、作業を通じ心身の機能回復を図る両方の1つである作業療法について理解し、医療介護の側面から今後の高齢化社会を見据え、援助技術を学ぶ。 園芸療法士養成に向け、作業活動の捉え方、臨床へ応用するための基礎的視点を学ぶ。								
授業の形式	講義、演習、実技 等								
到達目標と対応する学習成果	① 療法師としての視点を身に付けるために、必要とされる対象疾患の知識を理解し、説明できる。						学習成果 3)基礎的専門知識		
	② 作業療法の理論と実際を体系的に理解し、説明できる。						学習成果 5)応用的専門知識		
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
履修上の注意点／試験やレポート等に対するフィードバックの方法	医療・介護福祉現場におけるテーマ(命、障害等)を扱うので、その心構えで受講すること。 講義中のアクティブラーニングや挙手・意見を求める際には、その直後にフィードバックを行うこととする。								
評価の方法と基準	学習成果 3)基礎的専門知識(到達目標①)50点(内訳:レポート課題20点分、定期試験30点分) 学習成果 5)応用的専門知識(到達目標②)50点(内訳:グループワークによる発表や課題10点分、定期試験40点分) ※課題の提出遅延については減点とする。								
教科書	特に使用しない。適宜、プリントを配布する。								
参考書	・岩崎テル子 編「標準作業療法学 作業療法学概論」医学書院								
	・田中越郎「人体のしくみとはたらき」医学書院								
	・中村隆一 編「入門 リハビリテーション概論」医歯薬出版株式会社								
	・山根 寛「精神障害と作業療法」三輪書店								
授業計画	回	授業内容			アクティブラーニング	授業以外の学習(予習・復習などの具体的内容及びそれに必要な時間)			
	1	リハビリテーションについて：歴史、理念、定義、構造				"リハビリテーション"について、事前に調べ学習を行うこと(予習30分)。授業内容(リハビリテーション概念、等)の要点を整理しておくこと(復習1時間)。			
	2	障害者疑似体験：高齢者、各疾患症状における疑似体験			○	"障害とはなにか"について、事前に調べ学習を行うこと(予習30分)。授業内容(障害ならびに高齢者疑似体験、等)の要点を整理しておくこと(復習1時間)。			
	3	人体のしくみとはたらき①				"人体の機能"について、事前に調べ学習を行うこと(予習30分)。授業内容(人体が持つ機能性、等)の要点を整理しておくこと(復習1時間)。			
	4	人体のしくみとはたらき②				"人体の機能"について、事前に調べ学習を行うこと(予習30分)。授業内容(人体が持つ機能性、等)の要点を整理しておくこと(復習1時間)。			
	5	作業療法について①				"作業療法とはなにか"について、事前に調べ学習を行うこと(予習30分)。授業内容(作業療法の歴史、概念、等)の要点を整理しておくこと(復習1時間)。			
	6	作業療法について②				"作業療法とはなにか"について、事前に調べ学習を行うこと(予習30分)。授業内容(作業療法の具体的手法、等)の要点を整理しておくこと(復習1時間)。			
	7	作業療法『技能アプローチ』について			○	"リハビリテーションのアプローチ"について、事前に調べ学習を行うこと(予習30分)。授業内容(実際の徒手のアプローチ、等)の要点を整理しておくこと(復習1時間)。			
	8	身体障害における作業療法の実際				"身体障害"について、事前に調べ学習を行うこと(予習30分)。授業内容(身体障害における概念、等)の要点を整理しておくこと(復習1時間)。			
	9	老年期障害における作業療法の実際				"老年期障害"について、事前に調べ学習を行うこと(予習30分)。授業内容(老年期障害における概念、等)の要点を整理しておくこと(復習1時間)。			
	10	精神障害における作業療法の実際				"精神障害"について、事前に調べ学習を行うこと(予習30分)。授業内容(精神障害における概念、等)の要点を整理しておくこと(復習1時間)。			
	11	発達障害における作業療法の実際				"発達障害"について、事前に調べ学習を行うこと(予習30分)。授業内容(発達障害における概念、等)の要点を整理しておくこと(復習1時間)。			
	12	就労支援における作業療法の役割について				"就労支援とはなにか"について、事前に調べ学習を行うこと(予習30分)。授業内容(就労と支援における概念、等)の要点を整理しておくこと(復習1時間)。			
	13	基礎作業学①			○	"作業とはなにか"について、事前に調べ学習を行うこと(予習30分)。授業内容(作業がもたらす人への刺激、効果、等)の要点を整理しておくこと(復習1時間)。			
	14	基礎作業学②			○	"作業とはなにか"について、事前に調べ学習を行うこと(予習30分)。授業内容(作業がもたらす人への刺激、効果、等)の要点を整理しておくこと(復習1時間)。			
	15	専門職に求められる資質、留意点について			○	"(作業)療法士＝セラピスト"に必要なスキル、心得、等について、事前に調べ学習を行うこと(予習30分)。授業内容(求められる専門職としての期待と責任、資質、等)の要点を整理しておくこと(復習1時間)。			
16									

科目コード	科目名	実務経験のある教員による授業	地域志向	単位	担当者	関連資格			
						生活	療法	樹木	フアラフ
58 S K 22 HT	介護理論	○		2	森尾高樹〈実〉		○		
学習成果	学習成果 5)応用的専門知識								
授業の概要	介護とは何か、基本的な考え方を理解する。介護の意義・目的、基本原則に関する知識を修得するとともに、自立支援、自己決定を目的とした介護の実践に当たれるような具体的な知識や視点を身につける。								
授業の形式	講義								
到達目標と対応する学習成果	① 介護の理論と方法について理解している						学習成果 5)応用的専門知識		
	② 介護や医療の現状について理解している						学習成果 5)応用的専門知識		
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
履修上の注意点／試験やレポート等に対するフィードバックの方法	園芸療法士になるためには学ぶべき科目である。介護の理論と実際を体系的に理解すること。								
評価の方法と基準	学習成果 5)応用的専門知識 100点（到達目標①50点、到達目標②50点。それぞれレポート50%、定期試験50%）								
教科書									
参考書	・最新 介護福祉士養成講座 人間の理解(介護福祉士養成講座編集委員会:中央法規出版)								
	・最新 介護福祉士養成講座 介護の基本 I (介護福祉士養成講座編集委員会:中央法規出版)								
	・最新 介護福祉士養成講座 社会の理解(介護福祉士養成講座編集委員会:中央法規出版)								
	・認知症の歴史を学びませんか(宮崎和加子:中央法規出版)								
授業計画	回	授業内容			アクティブラーニング	授業以外の学習(予習・復習などの具体的内容及びそれに必要な時間)			
	1	なぜ、「介護」について学ぶのか ～人間の尊厳と人権・福祉理念について考えます～				講義終了後、次の講義までにレポートを提出してもらいます。予習として、高齢社会白書を閲覧しておくこと(webにて)			
	2	日本における高齢社会の現状について① ～高齢社会白書から高齢社会の現状について考えます～				講義で得られた情報から、次の時間のテーマである「高齢者施策の問題点」について、自分の考えをまとめておくこと。			
	3	日本における高齢社会の現状について② ～高齢者施策の現状と問題点について資料DVDを基に考えていきます。～				講義終了後、次の講義までにレポートを提出してもらいます。			
	4	介護の成り立ちについて ～専門職による「介護」が誕生した社会的背景について考えます～				講義終了後、次の講義までにレポートを提出してもらいます。			
	5	介護概念の変遷① ～「介護」という概念が変化していく状況を、社会的背景及び法律を基に紐解きます				講義終了後、次の講義までにレポートを提出してもらいます。			
	6	介護概念の変遷② ～「介護」という概念が変化していく状況を、社会的背景及び法律を基に紐解きます				講義終了後、次の講義までにレポートを提出してもらいます。			
	7	介護概念の変遷③ ～「介護」という概念が変化していく状況を、社会的背景及び法律を基に紐解きます				講義終了後、次の講義までにレポートを提出してもらいます。次回講義「社会保障制度」について調べておくこと。			
	8	日本の社会保障制度について① ～社会保障の基本的考え方、社会保険について概説します～				次回講義までに、日本の社会保障制度について調べておくこと。			
	9	日本の社会保障制度について② ～社会保障の基本的考え方、社会保険について概説します～				講義終了後、次回講義までにレポートを提出してもらいます。			
	10	高齢者保健福祉と介護保険制度① ～高齢者に関する保健福祉制度と介護保険制度について理解を深めます～				講義終了後、知識習得を確認するための課題を出します。次回講義までに提出のこと。			
	11	高齢者保健福祉と介護保険制度② ～高齢者に関する保健福祉制度と介護保険制度について理解を深めます～				講義終了後、知識習得を確認するための課題を出します。次回講義までに提出のこと。			
	12	障害者保健福祉と障害者総合支援制度① ～障害者に関する保健福祉施策、障害者総合支援法について理解を深めます～				講義終了後、知識習得を確認するための課題を出します。次回講義までに提出のこと。			
	13	障害者保健福祉と障害者総合支援制度② ～障害者に関する保健福祉施策、障害者総合支援法について理解を深めます～				講義終了後、知識習得を確認するための課題を出します。次回講義までに提出のこと。			
	14	介護が必要な方への支援方法① ～実際の介護技術について演習を行います～				講義終了後、次回講義までにレポートを提出してもらいます。			
	15	介護が必要な方への支援方法② ～実際の介護技術について演習を行います～				講義終了後、全ての講義について振り返りを行い、試験対策を行うこと。			
16	定期試験								

科目コード	科目名	実務経験のある教員による授業	地域志向	単位	担当者	関連資格			
						生活	療法	樹木	フライフ
59 S K 22 HT	障害者福祉論	○		2	小石鉄兵		○		
学習成果	学習成果 5)応用的専門知識								
授業の概要	現代社会においては、障がいを持つ人々が生活していく上での環境が十分に整っているとは言えない現状がある。障がいを持つ人々の生活や実態を総合的に理解するとともに、ノーマライゼーションやユニバーサルデザインといった障害福祉の理念について学習する。また障がいを持つ人々に対する自立支援制度や諸施策についても理解を深めるとともに幅広い知識を習得する。								
授業の形式	講義								
到達目標と対応する学習成果	① 障がいに対する見方・考え方の変遷について説明できる。						学習成果 5)応用的専門知識		
	② 障害者福祉サービスについて説明できる。						学習成果 5)応用的専門知識		
	③ ノーマライゼーションやユニバーサルデザインの理念について説明できる。						学習成果 5)応用的専門知識		
	④ 共生社会を目指す取り組みについて説明できる。						学習成果 5)応用的専門知識		
	⑤								
	⑥								
履修上の注意点/試験やレポート等に対するフィードバックの方法	・履修上、教科書を中心に進めていくため必ず携行すること。 ・試験は教科書とノートの持ち込みは可とするが、コピーした用紙の持ち込みは禁ずる。 ・アクティブラーニングや挙手、意見を求めた際、その直後にフィードバックを実施する。								
評価の方法と基準	定期試験により評価する。 学習成果5)応用的専門知識100点 (到達目標①～④各25点)								
教科書	最新 社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座 障害者福祉第2版								
参考書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>								
授業計画	回	授業内容			アクティブラーニング	授業以外の学習(予習・復習などの具体的内容及びそれに必要な時間)			
	1	障害概念と特性①(障害者の定義、他)				書籍やインターネット等を利用し予習と復習をしておくこと(予習1時間、復習1時間)			
	2	障害概念と特性②(各障害の特性、他)				書籍やインターネット等を利用し予習と復習をしておくこと(予習1時間、復習1時間)			
	3	国際生活機能分類(ICF)と障害の社会モデル			○	書籍やインターネット等を利用し予習と復習をしておくこと(予習1時間、復習1時間)			
	4	障害者福祉の理念① (障害観"差別・偏見"、"優性思想と障害者")				書籍やインターネット等を利用し予習と復習をしておくこと(予習1時間、復習1時間)			
	5	障害者福祉の理念② (ノーマライゼーション、エンパワメント、ソーシャルインクルージョン、他)				書籍やインターネット等を利用し予習と復習をしておくこと(予習1時間、復習1時間)			
	6	障害者福祉の歴史 (処遇の変遷、福祉制度、合理的配慮の事例、他)			○	書籍やインターネット等を利用し予習と復習をしておくこと(予習1時間、復習1時間)			
	7	障害者の生活実態① (インクルーシブな社会、就労、災害対策、他)				書籍やインターネット等を利用し予習と復習をしておくこと(予習1時間、復習1時間)			
	8	障害者の生活実態② (家族支援、障害者虐待、貧困、他)				書籍やインターネット等を利用し予習と復習をしておくこと(予習1時間、復習1時間)			
	9	障害者に対する法制度① (身体障害者福祉法、知的障害者福祉法、精神保健福祉法、他)				書籍やインターネット等を利用し予習と復習をしておくこと(予習1時間、復習1時間)			
	10	障害者に対する法制度② (発達障害者支援法、障害者虐待防止法、他)				書籍やインターネット等を利用し予習と復習をしておくこと(予習1時間、復習1時間)			
	11	障害者に対する法制度③ (障害者差別解消法、他)				書籍やインターネット等を利用し予習と復習をしておくこと(予習1時間、復習1時間)			
	12	障害者雇用の促進などに関する法律 (障害者雇用促進法、障害者優先調達推進法、他)				書籍やインターネット等を利用し予習と復習をしておくこと(予習1時間、復習1時間)			
	13	障害者と家族支援における関係機関の役割				書籍やインターネット等を利用し予習と復習をしておくこと(予習1時間、復習1時間)			
	14	関連する専門職の役割				書籍やインターネット等を利用し予習と復習をしておくこと(予習1時間、復習1時間)			
	15	多職種連携を含む支援の実際			○	書籍やインターネット等を利用し予習と復習をしておくこと(予習1時間、復習1時間)			
16	定期試験(試験時間は90分)				教科書、ノート持ち込み可				

科目コード	科目名	実務経験のある教員による授業	地域志向	単位	担当者	関連資格			
						生活	療法	樹木	フライフ
60 S K 21 HT	老人福祉論	○		2	小石鉄兵		○		
学習成果	学習成果 5)応用的専門知識								
授業の概要	長寿社会の到来と小児化の進行により、我が国の人口に占める高齢者の割合が年々高くなっている。高齢者の特徴や生活実態、介護保険制度や老人福祉制度における諸施策及び高齢者を取り巻く課題等について学習し理解を深める。								
授業の形式	講義								
到達目標と対応する学習成果	① 高齢者について理解できる					学習成果 5)応用的専門知識			
	② 高齢者の福祉サービスの歴史と介護に対する考え方の変化について理解できる					学習成果 5)応用的専門知識			
	③ 介護保険制度について理解できる					学習成果 5)応用的専門知識			
	④ 少子高齢社会の現状を把握し、今後の日本社会の課題を理解できる					学習成果 5)応用的専門知識			
	⑤								
	⑥								
履修上の注意点／試験やレポート等に対するフィードバックの方法	・履修上、教科書を中心に進めていくため必ず携行すること。 ・試験は教科書とノートの持ち込みは可とするが、コピーした用紙の持ち込みは禁ずる。 ・アクティブラーニングや挙手、意見を求めた際、その直後にフィードバックを実施する。								
評価の方法と基準	定期試験により評価する。 学習成果5)応用的専門知識100点 (到達目標①～④各25点)								
教科書	社会福祉士養成講座. 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟 編集								
参考書	・ ・ ・								
授業計画	回	授業内容			アクティブラーニング	授業以外の学習(予習・復習などの具体的内容及びそれに必要な時間)			
	1	高齢者と少子高齢社会①高齢者の定義と特性			○	書籍やインターネット等を利用し予習と復習をしておくこと(予習1時間、復習1時間)			
	2	高齢者と少子高齢社会②少子高齢社会の特徴				書籍やインターネット等を利用し予習と復習をしておくこと(予習1時間、復習1時間)			
	3	高齢者の生活実態				書籍やインターネット等を利用し予習と復習をしておくこと(予習1時間、復習1時間)			
	4	高齢者を取り巻く社会環境				書籍やインターネット等を利用し予習と復習をしておくこと(予習1時間、復習1時間)			
	5	高齢者親の変遷、高齢者福祉			○	書籍やインターネット等を利用し予習と復習をしておくこと(予習1時間、復習1時間)			
	6	介護保険制度の概要				書籍やインターネット等を利用し予習と復習をしておくこと(予習1時間、復習1時間)			
	7	地域支援事業、介護保険サービスの体系				書籍やインターネット等を利用し予習と復習をしておくこと(予習1時間、復習1時間)			
	8	高齢者保険福祉法の法体系① (老人福祉法、高齢者虐待防止法、バリアフリー法、他)				書籍やインターネット等を利用し予習と復習をしておくこと(予習1時間、復習1時間)			
	9	高齢者保険福祉法の法体系② (高齢者住まい法、高年齢者雇用安定法、他)				書籍やインターネット等を利用し予習と復習をしておくこと(予習1時間、復習1時間)			
	10	高齢者保険福祉法の法体系③ (育児・介護休業法、市町村の独自政策、他)				書籍やインターネット等を利用し予習と復習をしておくこと(予習1時間、復習1時間)			
	11	高齢者と家族等の支援における関係機関と専門職の役割① (地域包括支援センター、ハローワーク、他)				書籍やインターネット等を利用し予習と復習をしておくこと(予習1時間、復習1時間)			
	12	高齢者と家族等の支援における関係機関と専門職の役割② (アセスメント、コミュニケーション、ケアマネジメント、他)				書籍やインターネット等を利用し予習と復習をしておくこと(予習1時間、復習1時間)			
	13	高齢者におけるソーシャルワーカーの役割① (家族、グループ、地域、多職種・多機関連携とチームアプローチ、他)				書籍やインターネット等を利用し予習と復習をしておくこと(予習1時間、復習1時間)			
	14	高齢者におけるソーシャルワーカーの役割② (認知症ケア、終末期ケア、地域包括ケアシステム、他)				書籍やインターネット等を利用し予習と復習をしておくこと(予習1時間、復習1時間)			
	15	高齢者と家族等に対する支援の実際 (家族の介護負担軽減、就労支援、看取り、8050問題、他)			○	書籍やインターネット等を利用し予習と復習をしておくこと(予習1時間、復習1時間)			
16	定期試験(試験時間は90分)				社会福祉小六法、参考資料、ノート持ち込可				

科目コード	科目名	実務経験のある教員による授業	地域志向	単位	担当者	関連資格			
						生活	療法	樹木	フラフ
61 S K 21 HT	香りと色彩の心理			2	宮原佳代		○		
学習成果	学習成果 5) 応用的専門知識								
	学習成果 1) 一般教養知識								
	学習成果 3) 基礎的専門知識								
	学習成果 10) 表現力								
授業の概要	植物は必ず香りと色彩を持っている。香りやアロマテラピーと色彩のメカニズム、心理的効果、身体的効果について学習する。また、色彩デザインの基礎として、香りや色彩学全般について学び、花のカラーコーディネートについての知識を身につける。								
授業の形式	講義								
到達目標と対応する学習成果	① 香りと色彩の基本について説明することができる						学習成果 1) 一般教養知識		
	② 香りと色彩の心理的効果、身体的効果について説明することができる						学習成果 3) 基礎的専門知識		
	③ 香りと色彩が人の生活に与える影響について説明することができる						学習成果 5) 応用的専門知識		
	④ 色彩学、色相、明度、彩度について説明し、表現することができる						学習成果 10) 表現力		
	⑤								
	⑥								
履修上の注意点/試験やレポート等に対するフィードバックの方法	フラワーデザイナーや園芸療法士を志す人は特に植物の香りと色彩に日ごろから興味を持って生活するように心がける。通常は毎時間時間中に、またアクティブラーニング時には発表スライドを見ながらフィードバックを行っていく								
評価の方法と基準	レポート、定期試験等で評価する。 学習成果1)20点 学習成果3)30点 学習成果5)30点 学習成果10)20点								
教科書	色彩心理のすべてがわかる事典 ナツメ社 これ1冊できちんとわかるアロマテラピー マイナビ								
参考書	・ ・ ・								
授業計画	回	授業内容			アクティブラーニング	授業以外の学習(予習・復習などの具体的内容及びそれに必要な時間)			
	1	アロマテラピーの歴史、利用法				日ごろから植物の香り、色彩に興味を持って生活し、テキストを読んで予習(30分)、毎時間ノートを見て復習(30分)			
	2	植物精油の種類、性質、使用上の注意				日ごろから植物の香り、色彩に興味を持って生活し、テキストを読んで予習(30分)、毎時間ノートを見て復習(30分)			
	3	メディカルハーブ、ハーブティ				日ごろから植物の香り、色彩に興味を持って生活し、テキストを読んで予習(30分)、毎時間ノートを見て復習(30分)			
	4	アロマテラピーと健康的なライフスタイルについて				日ごろから植物の香り、色彩に興味を持って生活し、テキストを読んで予習(30分)、毎時間ノートを見て復習(30分)			
	5	ストレス、睡眠、生体リズムとアロマテラピー				日ごろから植物の香り、色彩に興味を持って生活し、テキストを読んで予習(30分)、毎時間ノートを見て復習(30分)			
	6	色の性質、色の心理				日ごろから植物の香り、色彩に興味を持って生活し、テキストを読んで予習(30分)、毎時間ノートを見て復習(30分)			
	7	トーン、色相環				日ごろから植物の香り、色彩に興味を持って生活し、テキストを読んで予習(30分)、毎時間ノートを見て復習(30分)			
	8	カラーコーディネート				日ごろから植物の香り、色彩に興味を持って生活し、テキストを読んで予習(30分)、毎時間ノートを見て復習(30分)			
	9	色が見える仕組み、波長、屈折、散乱、回折、干渉				日ごろから植物の香り、色彩に興味を持って生活し、テキストを読んで予習(30分)、毎時間ノートを見て復習(30分)			
	10	対比、同化、補色その他				日ごろから植物の香り、色彩に興味を持って生活し、テキストを読んで予習(30分)、毎時間ノートを見て復習(30分)			
	11	混色と配色				日ごろから植物の香り、色彩に興味を持って生活し、テキストを読んで予習(30分)、毎時間ノートを見て復習(30分)			
	12	色と文化				日ごろから植物の香り、色彩に興味を持って生活し、テキストを読んで予習(30分)、毎時間ノートを見て復習(30分)			
	13	色彩心理学				日ごろから植物の香り、色彩に興味を持って生活し、テキストを読んで予習(30分)、毎時間ノートを見て復習(30分)			
	14	生活と色				日ごろから植物の香り、色彩に興味を持って生活し、テキストを読んで予習(30分)、毎時間ノートを見て復習(30分)			
	15	植物の色彩について			○	日ごろから植物の香り、色彩に興味を持って生活し、テキストを読んで予習(30分)、毎時間ノートを見て復習(30分)			
16	定期試験								

科目コード	科目名	実務経験のある教員による授業	地域志向	単位	担当者	関連資格			
						生活	療法	樹木	フアラフ
62 H O 11 AL	野外調査 I		地域力	1	小石ほか			○	
学習成果	学習成果 4) 基礎的専門技能								
	学習成果 8) 多様性・協働性								
授業の概要	グループでの野外活動(1日目および2日目)を通じて、野草・樹木の観察し植生を調査し、グループでの発表(3日目)を行う。調査は大分県の久住町及びびるパーク(大分農業文化公園)で実施する。 ※調査地は、状況に応じて変更の可能性あり								
授業の形式	フィールドワーク(アクティブ・ラーニングが主体)								
到達目標と対応する学習成果	① 指定した野草や樹木を調査し、その植物の基礎知識について理解できる(地理・地形的・気候的条件を踏まえて)。					学習成果 4) 基礎的専門技能			
	② 他者と協働して学習に取り組むことができる。					学習成果 8) 多様性・協働性			
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
履修上の注意点/試験やレポート等に対するフィードバックの方法	・野外を中心に行うので、危険生物(蜂や蛇など)に遭遇する場合がありますので、肌の露出しない服装や準備を行うこと。また現地では標高の高さから寒暖の差が生じやすいので、調整可能な服装でのぞむこと。 ・全体発表終了後、総括(フィードバック)を行う。								
評価の方法と基準	学習成果4) 基礎的専門技能: 到達目標①80点(内訳: 長者原・花公園(1日目)40点分、樹木観察(2日目)40点分、※各レポート課題含む) 学習成果8) 多様性・協働性: 到達目標②20点(内訳: 長者原・花公園(1日目)10点分、樹木観察(2日目)10点分) ただし、上記記号内容については、詳細な評価内容(ループリック形式)を印刷配布して提示する。								
教科書	各種資料を配布する								
参考書	・ 日本の樹木(山と溪谷社)								
	・ 牧野新日本植物図鑑								
	・ 原色牧野植物大図鑑								
	・ 牧野日本植物大図鑑								
授業計画	回	授業内容			アクティブ ラーニング	授業以外の学習(予習・復習などの具体的内容及びそれに必要な時間)			
	1	くじゅう長者原湿原における植物の観察と植生調査			○	大分に生育する草本、樹木、園芸植物について事前に調べておく(30分以上)、観察した植物について振り返りの学習を行う(1時間以上)			
	2	くじゅう長者原湿原における植物の観察と植生調査			○	大分に生育する草本、樹木、園芸植物について事前に調べておく(30分以上)、観察した植物について振り返りの学習を行う(1時間以上)			
	3	くじゅう長者原湿原における植物の観察と植生調査			○	大分に生育する草本、樹木、園芸植物について事前に調べておく(30分以上)、観察した植物について振り返りの学習を行う(1時間以上)			
	4	くじゅう長者原湿原における植物の観察と植生調査			○	大分に生育する草本、樹木、園芸植物について事前に調べておく(30分以上)、観察した植物について振り返りの学習を行う(1時間以上)			
	5	くじゅう長者原湿原における植物の観察と植生調査			○	大分に生育する草本、樹木、園芸植物について事前に調べておく(30分以上)、観察した植物について振り返りの学習を行う(1時間以上)			
	6	くじゅう花公園における園芸植物の観察			○	大分に生育する草本、樹木、園芸植物について事前に調べておく(30分以上)、観察した植物について振り返りの学習を行う(1時間以上)			
	7	くじゅう花公園における園芸植物の観察			○	大分に生育する草本、樹木、園芸植物について事前に調べておく(30分以上)、観察した植物について振り返りの学習を行う(1時間以上)			
	8	くじゅう花公園における園芸植物の観察			○	大分に生育する草本、樹木、園芸植物について事前に調べておく(30分以上)、観察した植物について振り返りの学習を行う(1時間以上)			
	9	くじゅう花公園における園芸植物の観察			○	大分に生育する草本、樹木、園芸植物について事前に調べておく(30分以上)、観察した植物について振り返りの学習を行う(1時間以上)			
	10	くじゅう花公園における園芸植物の観察			○	大分に生育する草本、樹木、園芸植物について事前に調べておく(30分以上)、観察した植物について振り返りの学習を行う(1時間以上)			
	11	大分県内における植物観察と植生調査			○	大分に生育する草本、樹木、園芸植物について事前に調べておく(30分以上)、観察した植物について振り返りの学習を行う(1時間以上)			
	12	大分県内における植物観察と植生調査			○	大分に生育する草本、樹木、園芸植物について事前に調べておく(30分以上)、観察した植物について振り返りの学習を行う(1時間以上)			
	13	大分県内における植物観察と植生調査			○	大分に生育する草本、樹木、園芸植物について事前に調べておく(30分以上)、観察した植物について振り返りの学習を行う(1時間以上)			
	14	大分県内における植物観察と植生調査			○	大分に生育する草本、樹木、園芸植物について事前に調べておく(30分以上)、観察した植物について振り返りの学習を行う(1時間以上)			
	15	大分県内における植物観察と植生調査			○	大分に生育する草本、樹木、園芸植物について事前に調べておく(30分以上)、観察した植物について振り返りの学習を行う(1時間以上)			
16									

科目コード	科目名	実務経験のある教員による授業	地域志向	単位	担当者	関連資格			
						生活	療法	樹木	フアラフ
63 S O 21 AL	野外調査Ⅱ			1	鍵和田ほか				
学習成果	学習成果 4) 基礎的専門技能								
	学習成果 8) 多様性・協働性								
授業の概要	グループでの野外活動を通じて、動植物を観察すると同時にその植生を学ぶ。さらに、樹木の樹勢調査の方法を学び土壌の物理性についての調査方法も学ぶ。								
授業の形式	フィールドワーク(アクティブ・ラーニングが主体)								
到達目標と対応する学習成果	① 樹木の診断ができる					学習成果 4) 基礎的専門技能			
	② 他者と協力して調査、行動できる					学習成果 8) 多様性・協働性			
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
履修上の注意点/試験やレポート等に対するフィードバックの方法	野外調査Ⅰ(必須科目)の内容をしっかりと復習しておく								
評価の方法と基準	学習成果番号4 応用的専門分野 80点(レポート) 学習成果番号8 表現力 20点(グループで共同作業ができてるか)								
教科書									
参考書	・ 日本の樹木								
	・ 牧野新日本植物図鑑								
	・ 原色牧野植物図鑑								
	・								
授業計画	回	授業内容			アクティブ ラーニング	授業以外の学習(予習・復習などの具体的内容及びそれに必要な時間)			
	1	くじゅう長者原における植物の観察と動植物調査				大分に生育する植物・昆虫・動物について事前に調べておく(30分)。観察した動植物について振り返りの学習を行う			
	2	くじゅう長者原における植物の観察と動植物調査				大分に生育する植物・昆虫・動物について事前に調べておく(31分)。観察した動植物について振り返りの学習を行う			
	3	くじゅう長者原における植物の観察と動植物調査				大分に生育する植物・昆虫・動物について事前に調べておく(32分)。観察した動植物について振り返りの学習を行う			
	4	くじゅう長者原における植物の観察と動植物調査				大分に生育する植物・昆虫・動物について事前に調べておく(33分)。観察した動植物について振り返りの学習を行う			
	5	くじゅう長者原における植物の観察と動植物調査				大分に生育する植物・昆虫・動物について事前に調べておく(34分)。観察した動植物について振り返りの学習を行う			
	6	くじゅう花公園における園芸植物の観察				大分に生育する植物・昆虫・動物について事前に調べておく(35分)。観察した動植物について振り返りの学習を行う			
	7	くじゅう花公園における園芸植物の観察				大分に生育する植物・昆虫・動物について事前に調べておく(36分)。観察した動植物について振り返りの学習を行う			
	8	くじゅう花公園における園芸植物の観察				大分に生育する植物・昆虫・動物について事前に調べておく(37分)。観察した動植物について振り返りの学習を行う			
	9	樹木の計測方法(樹高・枝張り・幹周)				樹木の計測方法についての要点を整理し、30分時間予習し30分復習する			
	10	樹木断面図・樹冠投影図の作成				断面図投影図の要点を整理し、30分時間予習し30分復習する			
	11	土壌の物理性(土壌硬度・透水性)の調査方法				土壌の物理性の要点を整理し、30分時間予習し30分復習する			
	12	樹木の衰退度判定の方法を理解し、診断する				衰退度判定の要点を整理し、30分時間予習し30分復習する			
	13	樹木の診断・調査結果をまとめる				診断・結果の要点を整理し、30分時間予習し30分復習する			
	14	樹木の診断・調査結果を読み取る				診断・結果の要点を整理し、30分時間予習し30分復習する			
	15	樹木の診断結果から衰退原因をさがし、治療方法まで考える				治療方法の要点を整理し、30分時間予習し30分復習する			
16									

科目コード	科目名	実務経験のある教員による授業	地域志向	単位	担当者	関連資格			
						生活	療法	樹木	フラワー
64 S E 12 EN/HT	花卉装飾学演習			1	宮原佳代		○		◎
学習成果	学習成果 6) 応用的専門技能								
	学習成果 4) 基礎的専門技能								
授業の概要	花卉の具体的な装飾方法について学ぶ								
授業の形式	演習								
到達目標と対応する学習成果	① 花卉装飾の基本を理解し、実践することができる						学習成果 4) 基礎的専門技能		
	② アレンジメントの基本を理解し、実践することができる						学習成果 6) 応用的専門技能		
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
履修上の注意点／試験やレポート等に対するフィードバックの方法	ナイフ、ハサミなどを扱うので、作業のできる服装で行い、ケガのないように細心の注意を払う 花の扱い方、各デザインのポイントをなど作品が完成することに評価を行い、フィードバックする								
評価の方法と基準	各時間の演習課題で評価する 学習成果4) 40点 学習成果6) 60点								
教科書	プリントを配布します								
参考書	・								
	・								
	・								
	・								
授業計画	回	授業内容			アクティブラーニング	授業以外の学習(予習・復習などの具体的内容及びそれに必要な時間)			
	1	花卉装飾の基本				講義時間だけでなく、テキストやプリントを読んで予習(30分)空き時間に各自練習(1時間)する			
	2	花束				講義時間だけでなく、テキストやプリントを読んで予習(30分)空き時間に各自練習(1時間)する			
	3	リボンワーク				講義時間だけでなく、テキストやプリントを読んで予習(30分)空き時間に各自練習(2時間)する			
	4	ワイヤリング、テーピング				講義時間だけでなく、テキストやプリントを読んで予習(30分)空き時間に各自練習(3時間)する			
	5	アレンジメントの基本①ファン				講義時間だけでなく、テキストやプリントを読んで予習(30分)空き時間に各自練習(4時間)する			
	6	アレンジメントの基本②トライアングル				講義時間だけでなく、テキストやプリントを読んで予習(30分)空き時間に各自練習(5時間)する			
	7	アレンジメントの基本③エルシェイブ				講義時間だけでなく、テキストやプリントを読んで予習(30分)空き時間に各自練習(6時間)する			
	8	アレンジメントの基本④ホリゾン				講義時間だけでなく、テキストやプリントを読んで予習(30分)空き時間に各自練習(7時間)する			
	9	コサージュの基本①ラウンド				講義時間だけでなく、テキストやプリントを読んで予習(30分)空き時間に各自練習(8時間)する			
	10	コサージュの基本②トライアングラー				講義時間だけでなく、テキストやプリントを読んで予習(30分)空き時間に各自練習(9時間)する			
	11	コサージュの基本③クレセント				講義時間だけでなく、テキストやプリントを読んで予習(30分)空き時間に各自練習(10時間)する			
	12	ブーケの基本①キャスケード				講義時間だけでなく、テキストやプリントを読んで予習(30分)空き時間に各自練習(11時間)する			
	13	ブーケの基本②トライアングラー				講義時間だけでなく、テキストやプリントを読んで予習(30分)空き時間に各自練習(12時間)する			
	14	ブーケの基本③クレセント				講義時間だけでなく、テキストやプリントを読んで予習(30分)空き時間に各自練習(13時間)する			
	15	まとめ				講義時間だけでなく、テキストやプリントを読んで予習(30分)空き時間に各自練習(14時間)する			
16									

科目コード	科目名	実務経験のある教員による授業	地域志向	単位	担当者	関連資格			
						生活	療法	樹木	フラワー
65 S E 12 EN	造園演習			1	鍵和田又一				
学習成果	学習成果 6)応用的専門技能								
	学習成果 8)多様性・協働性								
授業の概要	設計図を読み取り、施工空間に図面どおりに竹垣を制作したり、石材を据えつけたりする必要がある。そこで、造園2級技能士の図面を利用して、竹垣の製作から礎石の据え付け方法を学ぶ。さらに、図面の寸法通りに制作できたかなどの正確さの必要性を学ぶ。								
授業の形式	講義と実習								
到達目標と対応する学習成果	① 造園技能士2級レベルの技能を身につけることができる						学習成果 6)応用的専門技能		
	② 他者のことも考えて協働さぎょうができる						学習成果 8)多様性・協働性		
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
履修上の注意点／試験やレポート等に対するフィードバックの方法	農場で作業を行うため、実習ができる服装で事前に準備すること。また、刃物や重量のある石材を使用するためケガのないように細心の注意をすること								
評価の方法と基準	学習成果番号6 応用的専門分野 80点(演習時間内に作品を完成できるか) 学習成果番号8 多様性協働性 20点(他人と共同してできているか)								
教科書									
参考書	・ 造園技能検定学科試験問題集 精選500題 (社)日本造園組合連合会								
	・ 造園施工必携 社団法人日本造園組合連合会編								
	・								
	・								
授業計画	回	授業内容			アクティブラーニング	授業以外の学習(予習・復習などの具体的内容及びそれに必要な時間)			
	1	造園演習の概要説明				作業工程の要点を整理し、30分予習し30分復習する			
	2	造園演習で使用する道具の説明				使用する道具の要点を整理し、30分予習し30分復習する			
	3	図面の読み取り方法				図面の読み取り方法の要点を整理し、30分時間予習し30分復習する			
	4	竹垣の制作①				竹垣の要点を整理し、30分時間予習し30分復習する			
	5	竹垣の制作②				竹垣の要点を整理し、30分時間予習し30分復習する			
	6	竹垣の制作③				竹垣の要点を整理し、30分時間予習し30分復習する			
	7	縁石の据え方①				縁石の要点を整理し、30分時間予習し30分復習する			
	8	縁石の据え方②				縁石の要点を整理し、30分時間予習し30分復習する			
	9	縁石の据え方③				縁石の要点を整理し、30分時間予習し30分復習する			
	10	敷石・飛石の据え方①				敷石・飛石の要点を整理し、30分時間予習し30分復習する			
	11	敷石・飛石の据え方②				敷石・飛石の要点を整理し、30分時間予習し30分復習する			
	12	敷石・飛石の据え方③				敷石・飛石の要点を整理し、30分時間予習し30分復習する			
	13	植栽				植栽の要点を整理し、30分時間予習し30分復習する			
	14	築山制作				築山の要点を整理し、30分時間予習し30分復習する			
	15	整地・清掃				整地・清掃の要点を整理し、30分時間予習し30分復習する			
16									

科目コード	科目名	実務経験のある教員による授業	地域志向	単位	担当者	関連資格			
						生活	療法	樹木	フラワー
66 S E 11 EN	生花 I			1	竹中圭子				
学習成果	学習成果 6)応用的専門技能								
授業の概要	初回授業では日本の伝承芸術といわれる「いけばな」の歴史、「小原流いけばな」の特徴などの講義後、実際に「花意匠の基本 たてるかたち」を実習。2回目以降は花型に沿って、いけばな用語、花材の説明、特徴、役枝の寸法、かたちの取り方を学んでいき器に命ある自然美を構築する技法を習得する。「ひらくかたち」「ならぶかたち」も習得しつつ盛花、瓶花もなお重ねて復習実技。新しくシンプルな花型を習得することにより伝統花型をあらためてみなおすことができ、また色や形を重視した明るい花型に新しいいけばなを感じるよう指導。花材によって授業内容は前後する。終業後、小原流初等科許状申請資格を取得。								
授業の形式	講義と実技(実技は教授資格者の個人指導)								
到達目標と対応する学習成果	① 小原流入門初等科の技能を有している					学習成果 6)応用的専門技能			
	② 小原流いけばなの基本を理解し植物の個性、緑の豊かさ、大切さを身につけている					学習成果 6)応用的専門技能			
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
履修上の注意点／試験やレポート等に対するフィードバックの方法	実技では絶対的間違いがない限り個性を重んじた指導をする。学期最終回では基本の花型図作成の筆記試験と実技試験を実施している。理解度の把握には役立つ。生花Ⅳ終了後は准教授までの許状申請資格を取得できる。								
評価の方法と基準	各回の取り組み状況と作品課題、筆記で評価する。 学習成果6)応用的専門技能100点 (到達目標①50点、到達目標②50点。それぞれ、取り組み状況20%、作品課題60%、筆記20%)								
教科書	小原流 花型カード(入門・初等科)								
参考書	・ ・ ・								
授業計画	回	授業内容			アクティブラーニング	授業以外の学習(予習・復習などの具体的内容及びそれに必要な時間)			
	1	いけばなの歴史、小原流いけばなの特徴(講義) 伸びあがる花材の美しさを表現する「花意匠たてるかたち(水盤・基本)」の講義、花器と剣山の置き位置、剣山の挿し方等説明後、指導者による参考花作製後実技。				身近にある生花についてよく観察しておくこと			
	2	「花意匠たてるかたち(水盤・基本)」実技。				身近にある生花についてよく観察しておくこと			
	3	「花意匠たてるかたち(水盤・応用)」の講義、花器と剣山の置き位置、基本との違い等説明後、指導者による参考花作製後実習。				身近にある生花についてよく観察しておくこと			
	4	「花意匠たてるかたち(水盤・応用)」実技。				身近にある生花についてよく観察しておくこと			
	5	横へ伸びていく花材の美しさを表現する「花意匠かたむけるかたち(水盤・基本)」の講義。花器、剣山の置き方等説明後説明後指導者による参考花作製後実習。				身近にある生花についてよく観察しておくこと			
	6	「花意匠かたむけるかたち(水盤・基本)」の実技。				身近にある生花についてよく観察しておくこと			
	7	「花意匠かたむけるかたち(水盤・応用)」の講義。枝の選び方、基本との違い等の説明後指導者による参考花作製後実習。				身近にある生花についてよく観察しておくこと			
	8	「花意匠かたむけるかたち(水盤・応用)」の実技。				身近にある生花についてよく観察しておくこと			
	9	「花意匠たてるかたち(花瓶)」の講義、瓶で使う花留めの技法、枝の選び方等の説明後指導者による参考花作製後実技。				身近にある生花についてよく観察しておくこと			
	10	「花意匠たてるかたち(花瓶)」実技。				身近にある生花についてよく観察しておくこと			
	11	「花意匠かたむけるかたち(花瓶)」の講義、花留めの技法、枝の選び方等の説明後指導者による参考花作製後実技。				身近にある生花についてよく観察しておくこと			
	12	「花意匠かたむけるかたち(花瓶)」実技。				身近にある生花についてよく観察しておくこと			
	13	「花意匠の展開ひらくかたち」の講義、花器、剣山の置き方等説明後指導者による参考花作製後実技。				身近にある生花についてよく観察しておくこと			
	14	次週前期末試験に対する実技対策。「花意匠たてるかたち(水盤)」か「花意匠かたむけるかたち(水盤)」				身近にある生花についてよく観察しておくこと			
	15	筆記と実技によるまとめ。				身近にある生花についてよく観察しておくこと			
16									

科目コード	科目名	実務経験のある教員による授業	地域志向	単位	担当者	関連資格			
						生活	療法	樹木	フラワー
67 S E 12 EN	生花Ⅱ			1	竹中圭子				
学習成果	学習成果 6)応用的専門技能								
授業の概要	生花Ⅱでは小原流の流祖小原雲心が明治時代後期に創り出した「盛花」(水盤に盛るようにいける)を学び習得していく。「盛花」では役枝3本の基本の長さの取り方、決められた位置に挿し、作られる三角形を意識した花型の直立型、傾斜型を重点的に指導。また、11月の学園祭時、校内に作品を飾ります。その中で「定められた主材と挿法に基づいて、花材の定型的な色彩美を表現する技法」の色彩盛花様式本位も実習。花材によって授業内容は前後する。終業後、小原流本科許状申請資格を取得。								
授業の形式	、講義と実技(実技は教授資格者の個人指導)								
到達目標と対応する学習成果	①小原流本科の技能を有している					学習成果 6)応用的専門技能			
	②								
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
履修上の注意点/試験やレポート等に対するフィードバックの方法	実技では絶対的間違いがない限り個性を重んじた指導をする。「盛花」では個性のある花材を使うことも多くなるので植物の特徴(季節、硬さや枝の付き方など)しっかり手で触れて身に付けてほしい。また小原流いけばなの基調色であるグリーン(緑)のたずまい、使い方も学ぶ。								
評価の方法と基準	各回の取り組み状況と作品課題で評価する。 学習成果6)応用的専門技能100点 (到達目標①)100点。それぞれ、取り組み状況20%、作品課題80%)								
教科書	小原流花型カード(入門・初等科・本科)								
参考書	・ ・ ・								
授業計画	回	授業内容			アクティブ ラーニング	授業以外の学習(予習・復習などの具体的内容及びそれに必要な時間)			
	1	盛花「直立型」の講義、花器と剣山の置き位置、花材の寸法、挿し角度、役枝3本による三角形の構成等説明後指導者による参考花作製後実技。				身近にある生花についてよく観察しておくこと			
	2	盛花「直立型」実技。				身近にある生花についてよく観察しておくこと			
	3	盛花「直立型」実技。				身近にある生花についてよく観察しておくこと			
	4	盛花「傾斜型」の講義、剣山の置き位置、花材の寸法、挿し角度、役枝3本による三角形の構成等説明後指導者による参考花作製後実技。				身近にある生花についてよく観察しておくこと			
	5	盛花「傾斜型」実技。				身近にある生花についてよく観察しておくこと			
	6	盛花「傾斜型」実技。				身近にある生花についてよく観察しておくこと			
	7	盛花「直立型」実技。				身近にある生花についてよく観察しておくこと			
	8	盛花「傾斜型」実技。				身近にある生花についてよく観察しておくこと			
	9	盛花「直立型」「傾斜型」復習実技				身近にある生花についてよく観察しておくこと			
	10	花型を正しく習得するために、定められた主材でいける「色彩盛花様式本位」の講義、剣山ではなく七宝でいける技術、七宝の置き方等説明後指導者による参考花作製後実技。				身近にある生花についてよく観察しておくこと			
	11	「花意匠ひらくかたち」の実技。				身近にある生花についてよく観察しておくこと			
	12	「花意匠ならぶかたち」の講義、剣山の置き位置、花材の寸法、挿し角度、役枝3本による三角形の構成等説明後指導者による参考花作製後実技。				身近にある生花についてよく観察しておくこと			
	13	「花意匠ならぶかたち」の実技。				身近にある生花についてよく観察しておくこと			
	14	次週後期末試験に対する実技対策。「盛花・直立型」				身近にある生花についてよく観察しておくこと			
	15	まとめ「盛花・直立型」				身近にある生花についてよく観察しておくこと			
16									

科目コード	科目名	実務経験のある教員による授業	地域志向	単位	担当者	関連資格			
						生活	療法	樹木	フラワー
68 S E 21 EN	生花Ⅲ			1	竹中圭子				
学習成果	学習成果 6)応用的専門技能								
授業の概要	生花Ⅲでは生花Ⅱで学習した盛花2花型を実技復習しながら盛花「観水型」を習得を、役枝3本で構成する三角形の中に季節感、自然観、空間を意識していけるようになるにはかなりの技術とセンスを要する。欠席せず指導者の技術指導を見逃すことなく身に付けることが必要。花材によって授業内容は前後する。卒業後は師範科一期許状申請資格を取得。								
授業の形式	講義と実技(実技は教授資格者の個人指導)								
到達目標と対応する学習成果	①小原流師範科一期の技能を有している					学習成果 6)応用的専門技能			
	②								
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
履修上の注意点/試験やレポート等に対するフィードバックの方法	実技では絶対的間違いがない限り個性を重んじた指導を行う。								
評価の方法と基準	各回の取り組み状況と作品課題で評価する。 学習成果6)応用的専門技能100点 (到達目標①100点。それぞれ、取り組み状況20%、作品課題80%)								
教科書	小原流 花型カード(入門・初等科・本科・師範科一期)								
参考書	・ ・ ・ ・								
授業計画	回	授業内容			アクティブ ラーニング	授業以外の学習(予習・復習などの具体的内容及びそれに必要な時間)			
	1	盛花の展開 花舞(立体表現)				身近にある生花についてよく観察しておくこと			
	2	色彩挿花様式 葉組の約束ごとと花卉植物を形式的にとらえ、その様式美を見る				身近にある生花についてよく観察しておくこと			
	3	写景挿花自然 山野、水辺の近景を描写する。四季折々の表現				身近にある生花についてよく観察しておくこと			
	4	写景挿花様式 自然景観を遠景、中景、近景に分けて表現 水盤を大地と見たてる				身近にある生花についてよく観察しておくこと			
	5	七宝花留の使用法 様式美のとらえ方				身近にある生花についてよく観察しておくこと			
	6	様式実技				身近にある生花についてよく観察しておくこと			
	7	以上の反復実技 以上で小原流師範科一期資格となる。				身近にある生花についてよく観察しておくこと			
	8	瓶花(投入れ)の説明 しつらえ方				身近にある生花についてよく観察しておくこと			
	9	瓶花傾斜型(基礎)				身近にある生花についてよく観察しておくこと			
	10	留め方の技法 ため方 バランスの取り方				身近にある生花についてよく観察しておくこと			
	11	瓶花傾斜型 自然の枝ぶりを見る眼を養う自然感をもりこんだ表現				身近にある生花についてよく観察しておくこと			
	12	瓶花直立型 直立性花材の使い方				身近にある生花についてよく観察しておくこと			
	13	瓶花直立型 直立性花材の使い方.				身近にある生花についてよく観察しておくこと			
	14	瓶花直立型実技の反復練習				身近にある生花についてよく観察しておくこと			
	15	瓶花直立型実技の反復練習以上で小原流師範科二期資格となる(まとめ)				身近にある生花についてよく観察しておくこと			
16									

科目コード	科目名	実務経験のある教員による授業	地域志向	単位	担当者	関連資格			
						生活	療法	樹木	フラワー
69 S E 22 EN	生花Ⅳ			1	竹中圭子				
学習成果	学習成果 6)応用的専門技能								
授業の概要	小原流いけばなの基本である盛花3花型に加え瓶花「傾斜型」「直立型」「下垂型」の3花型を習得。花意匠も加え復習実技に重点をおく。花材によって授業内容は前後する。卒業後は師範科二期及び准教授許状申請資格を取得。								
授業の形式	講義と実技(実技は教授資格者の個人指導)								
到達目標と対応する学習成果	①小原流師範科二期及び准教授の技能を有している					学習成果 6)応用的専門技能			
	②								
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
履修上の注意点／試験やレポート等に対するフィードバックの方法	与えられた花材では高度の表現は無理のようなが、花器との出会い、花のもつ個性を知るように。11月の学園祭時には自然の風致景観を器の中に描写する「写景盛花様式本位」も実習。師範科二期及び准教授(教授に準じる資格)許状申請資格を取得できるが、これからの本格的ないけばなとなる。出来れば卒業後も続けて欲しい。								
評価の方法と基準	各回の取り組み状況と作品課題で評価する。 学習成果6)応用的専門技能100点 (到達目標①100点。それぞれ、取り組み状況20%、作品課題80%)								
教科書	小原流 花型カード(入門・初等科・本科・初等科一期・師範科二期)								
参考書	・ ・ ・ ・								
授業計画	回	授業内容			アクティブ ラーニング	授業以外の学習(予習・復習などの具体的内容及びそれに必要な時間)			
	1	盛花「直立型」「傾斜型」「観水型」の復習実技。				身近にある生花についてよく観察しておくこと			
	2	盛花「直立型」「傾斜型」「観水型」の復習実技。				身近にある生花についてよく観察しておくこと			
	3	瓶花「傾斜型」の講義。横に伸びる主材の美しさを表現する。花材の寸法、角度、役枝3本による三角形の構成等説明後指導者による参考花作製後実技。。				身近にある生花についてよく観察しておくこと			
	4	瓶花「傾斜型」の実技。				身近にある生花についてよく観察しておくこと			
	5	瓶花「傾斜型」の実技。				身近にある生花についてよく観察しておくこと			
	6	瓶花「直立型」の講義。直立する枝の伸びやかさを表現。花材の寸法、角度、役枝3本による三角形の構成等説明後指導者による参考花作製後実技。				身近にある生花についてよく観察しておくこと			
	7	瓶花「直立型」の実技。				身近にある生花についてよく観察しておくこと			
	8	瓶花「直立型」の実技。				身近にある生花についてよく観察しておくこと			
	9	瓶花「下垂型」の講義。蔓などの花材で壺の口より主枝が下に伸びる花型。花材の寸法、角度、役枝3本による三角形の構成等説明後指導者による参考花作製後実技。				身近にある生花についてよく観察しておくこと			
	10	瓶花「下垂型」の実技。				身近にある生花についてよく観察しておくこと			
	11	花意匠・盛花3花型・瓶花3花型の復習実技。				身近にある生花についてよく観察しておくこと			
	12	花意匠・盛花3花型・瓶花3花型の復習実技。				身近にある生花についてよく観察しておくこと			
	13	花意匠・盛花3花型・瓶花3花型の復習実技。				身近にある生花についてよく観察しておくこと			
	14	次週後期末試験に対する実技対策。「瓶花」				身近にある生花についてよく観察しておくこと			
	15	実技まとめ「瓶花」				身近にある生花についてよく観察しておくこと			
16									

科目コード	科目名	実務経験のある教員による授業	地域志向	単位	担当者	関連資格			
						生活	療法	樹木	フラスコ
70 S J 21 NO/EN	園芸バイオ実習	○		1	摺崎宏〈実〉				
学習成果	学習成果 4) 基礎的専門技能								
授業の概要	植物細胞・組織培養技術は遺伝子組み換え植物の育成に欠かせない基本技術であり、ウイルスフリー苗や優良株の大量増殖、品種改良などに利用され農園芸、種苗産業において大きな貢献を果たしている。本授業では植物と微生物の培養技術と化学分析操作技術を学ぶ。								
授業の形式	実習(グループでの実習)								
到達目標と対応する学習成果	① 植物、微生物を培養するための培地を作成できる					学習成果 4) 基礎的専門技能			
	② 無菌操作ができる					学習成果 4) 基礎的専門技能			
	③ 生菌数を計測できる					学習成果 4) 基礎的専門技能			
	④ 土壌中のリン酸を分析できる					学習成果 4) 基礎的専門技能			
	⑤ 果実の酸度を分析できる					学習成果 4) 基礎的専門技能			
	⑥								
履修上の注意点/試験やレポート等に対するフィードバックの方法	薬品、ガラス器具、機器などを使用して実習を行う。安全に細心の注意を払い作業すること。遅刻は欠席扱いとする。各回のレポートはその都度返却する。本授業を履修する人は「データサイエンス 入門」「情報処理」を予め履修しておくことが望ましい。								
評価の方法と基準	毎授業のレポート内容をルーブリックにより評価する。ただし、レポートが1回でも提出されていない場合は不可とする。 学習成果 6) 基礎的専門技能100点 (到達目標①～⑤各20点。) ルーブリック評価(A、B、C、D) A:20点(手順と内容を理解し正確に作業できる)、B:15点(手順と内容を理解し概ね正確に作業できる)、C:10点(手順と内容を理解し作業できる)、D:5点(手順と内容を理解していない)								
教科書	適宜、プリントを配布する								
参考書	・ 生物工学基礎・やさしいバイオテクノロジー(実教出版) 図書館に蔵書あり								
	・								
	・								
	・								
授業計画	回	授業内容			アクティブ ラーニング	授業以外の学習(予習・復習などの具体的内容及びそれに必要な時間)			
	1	準備と諸注意(実験室の使い方、機器の使い方、怪我・やけどについて、器具の使用方法)				レポート作成(1回～3回で3時間)、4回～7回の予習2時間			
	2	培地の作成(MS培地、pHの測定、天秤の使い方、純水の作成)			○	レポート作成(1回～3回で3時間)、4回～7回の予習2時間			
	3	培地の作成(オートクレーブ、乾熱滅菌器の使い方)			○	レポート作成(1回～3回で3時間)、4回～7回の予習2時間			
	4	無菌播種(種子の消毒、無菌操作)と微生物培養(生菌数測定)			○	レポート作成(4回～7回で4時間)、8回～11回の予習2時間			
	5	無菌播種(種子の消毒、無菌操作)と微生物培養(生菌数測定)			○	レポート作成(4回～7回で4時間)、8回～11回の予習2時間			
	6	無菌播種(種子の消毒、無菌操作)と微生物培養(生菌数測定)			○	レポート作成(4回～7回で4時間)、8回～11回の予習2時間			
	7	無菌播種(種子の消毒、無菌操作)と微生物培養(生菌数測定)			○	レポート作成(4回～7回で4時間)、8回～11回の予習2時間			
	8	土壌分析(比色法によるトルオーグリン酸の定量)			○	レポート作成(8回～11回で4時間)、12回～15回の予習2時間			
	9	土壌分析(比色法によるトルオーグリン酸の定量)			○	レポート作成(8回～11回で4時間)、12回～15回の予習2時間			
	10	土壌分析(比色法によるトルオーグリン酸の定量)			○	レポート作成(8回～11回で4時間)、12回～15回の予習2時間			
	11	土壌分析(比色法によるトルオーグリン酸の定量)			○	レポート作成(8回～11回で4時間)、12回～15回の予習2時間			
	12	滴定酸度(食酢中の酸度測定、カンキツ類の酸度測定)			○	レポート作成(12回～15回で4時間)			
	13	滴定酸度(食酢中の酸度測定、カンキツ類の酸度測定)			○	レポート作成(12回～15回で4時間)			
	14	滴定酸度(食酢中の酸度測定、カンキツ類の酸度測定)			○	レポート作成(12回～15回で4時間)			
	15	滴定酸度(食酢中の酸度測定、カンキツ類の酸度測定)			○	レポート作成(12回～15回で4時間)			
16									

科目コード	科目名	実務経験のある教員による授業	地域志向	単位	担当者	関連資格			
						生活	療法	樹木	フライフ
71 S J 22 NO/EN	園芸療法実践実習	○		2	小石鉄兵〈実〉		○		
学習成果	学習成果 6)応用的専門技能 学習成果 5)応用的専門知識								
授業の概要	本実習を通じて、園芸療法・園芸福祉における臨床現場で、実際に用いられている活動内容に着目し実習で取り扱っていく。実体験から得られた学びを分析し、4つの側面(身体的・精神的・教育的・社会的)からの視点を学ぶ。さらに予防的観点では環境面がもたらす人への効能にも着目し、都市緑化やグリーンインフラ整備における意義について考える機会になるように促す授業である。								
授業の形式	実習(現場での見学実習含む)								
到達目標と対応する学習成果	① 植物を育てる過程・収穫・加工などを通じて、園芸療法実践時に活用する視点を理解し、説明および実践できる 学習成果 6)応用的専門技能 ② 実習で扱ったテーマに即したレポート作成ができる 学習成果 6)応用的専門技能 ③ 植物がもたらす人への効能について理解し、説明することができる 学習成果 5)応用的専門知識 ④ ⑤ ⑥								
履修上の注意点/試験やレポート等に対するフィードバックの方法	「園芸療法士」資格の申請者は、必ず履修すること。/フィードバックは、実習ノートの記載内容に対し、直接ノートへ記述し回答する。関連科目の「園芸療法Ⅱ」を同時履修することで、より理解を深めることにつながる。また、履修に際し実際の福祉領域(実際の要介護者や障害者の支援、等)、農福連携の支援現場等、外部機関との接点が多いため、接遇面での留意やルールを遵守することが求められる。								
評価の方法と基準	提出を課している実習ノートの内容、実習時の取り組み状況をルーブリック形式で評価する。 学習成果6)応用的専門技能 50点(到達目標①②60点 実習時における取組み内容 100% S評価60点、A評価50点、B評価40点、C評価30点) 学習成果5)応用的専門知識 50点(到達目標③40点 実践実習ノートの提出状況及び内容 100% S評価40点、A評価30点、B評価20点、C評価10点)								
教科書									
参考書	・山根 寛ほか「園芸リハビリテーション」 医歯薬出版 ・ ・ ・								
授業計画	回	授業内容			フキタイプラニング	授業以外の学習(予習・復習などの具体的内容及びそれに必要な時間)			
	1	オリエンテーション、農園環境の整備			○	各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめて復習1時間以上(ノート含む)取り組むこと。			
	2	土づくり、播種作業(集団プログラム、個別プログラムの違いの提示)			○	各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめて復習1時間以上(ノート含む)取り組むこと。			
	3	農園芸活動の作業分析(身体的効用、精神的効用、社会的効用、など)			○	各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめて復習1時間以上(ノート含む)取り組むこと。			
	4	ユニバーサルデザイン型レイズドベッド利用における対象疾患(障害等)の検討			○	各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめて復習1時間以上(ノート含む)取り組むこと。			
	5	創作活動:施設等で活用されるカレンダー作りなど(植物を用いた園芸療法活動)			○	各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめて復習1時間以上(ノート含む)取り組むこと。			
	6	栽培作物の管理①(花:花殻摘みや補え替え、野菜:間引き、など)			○	各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめて復習1時間以上(ノート含む)取り組むこと。			
	7	園芸福祉・療法の実際①(高齢者支援サービス事業所などへの見学実習)			○	各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめて復習1時間以上(ノート含む)取り組むこと。			
	8	栽培作物の管理②(花:花殻摘みや補え替え、野菜:間引き、など)			○	各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめて復習1時間以上(ノート含む)取り組むこと。			
	9	園芸福祉・療法の実際②(高齢者支援サービス事業所などへの見学実習)			○	各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめて復習1時間以上(ノート含む)取り組むこと。			
	10	生産物を利用した調理・加工の実習と試食(園芸療法活動)			○	各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめて復習1時間以上(ノート含む)取り組むこと。			
	11	園芸福祉・療法の実際③(就労支援施設などへの見学実習)			○	各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめて復習1時間以上(ノート含む)取り組むこと。			
	12	障害特性に応じた園芸作業の留意点①			○	各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめて復習1時間以上(ノート含む)取り組むこと。			
	13	障害特性に応じた園芸作業の留意点②			○	各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめて復習1時間以上(ノート含む)取り組むこと。			
	14	まちづくりにおける福祉的視点から見た緑化活動の調査など(JRおいたの屋上庭園を予定)			○	各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめて復習1時間以上(ノート含む)取り組むこと。			
	15	栽培植物の管理(片づけ・まとめ)			○	各回テーマに基づき、予習30分以上取り組む。実習内容を振り返り、要点をまとめて復習1時間以上(ノート含む)取り組むこと。			
16									

科目コード	科目名	実務経験のある教員による授業	地域志向	単位	担当者	関連資格			
						生活	療法	樹木	フラワー
72 S E 22 ZO	造園製図			1	鍵和田又一				
学習成果	学習成果 6)応用的専門技能								
授業の概要	造園では、設計図面、庭園の測量図面を作成することが多い。さらに、施主などに説明する際に、平面図や立面図などを描き空間の説明材料として描くことがある。そこで、各図面を作成するにあたり基本的な作図の方法を学ぶ。								
授業の形式	演習								
到達目標と対応する学習成果	① 基本的な作図方法を習得できる						学習成果 6)応用的専門技能		
	② 作図しながら図面をよみとることができる						学習成果 6)応用的専門技能		
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
履修上の注意点／試験やレポート等に対するフィードバックの方法	時間がかかっても正確できれいな図面が描けるようにして欲しい								
評価の方法と基準	学習成果番号6 応用的専門分野 100点（毎回の課題提出）								
教科書									
参考書	・ 建築の透視図 長男勝馬								
	・ 造園の製図規格 日本造園学会								
	・								
	・								
授業計画	回	授業内容			フクティブ ラーニング	授業以外の学習(予習・復習などの具体的内容及びそれに必要な時間)			
	1	直線のひきかた 器具の使い方と線の太さ				直線の引き方など30分時間予習し30分復習する			
	2	平行線と垂線のひきかた・線とスケール				線とスケールなど30分時間予習し30分復習する			
	3	植物・石材の平面表現				平面表現など30分時間予習し30分復習する			
	4	針葉樹の立面表現				立面表現など30分時間予習し30分復習する			
	5	落葉樹の立面表現				立面表現など30分時間予習し30分復習する			
	6	常緑樹の立面表現				立面表現など30分時間予習し30分復習する			
	7	石材(景石)の立面表現				立面表現など30分時間予習し30分復習する			
	8	石材(灯籠・踏踏)の立面表現				立面表現など30分時間予習し30分復習する			
	9	庭の平面図				平面表現など30分時間予習し30分復習する			
	10	一点透視の方法				一点透視の要点を整理し30分時間予習し30分復習する			
	11	庭の設計①				庭の設計要点を整理し30分時間予習し30分復習する			
	12	庭の設計②				庭の設計要点を整理し30分時間予習し30分復習する			
	13	庭の設計③				庭の設計要点を整理し30分時間予習し30分復習する			
	14	庭の設計④				庭の設計要点を整理し30分時間予習し30分復習する			
	15	庭の設計⑤				庭の設計要点を整理し30分時間予習し30分復習する			
16									

科目コード	科目名	実務経験のある教員による授業	地域志向	単位	担当者	関連資格			
						生活	療法	樹木	フラワー
73 S J 10 AL	管理実習 I			1	小野ほか				
学習成果	学習成果 6) 応用的専門技能								
授業の概要	植物栽培についての知識・技術をより深く学習し、また、主体的な職業選択や高い職業意識の育成を図り、自立心・責任感のある人材を育成し、接客マナーおよびコミュニケーション能力を高めることを目的とする。さらに、店舗運営の経営手法の実際を学ぶ。								
授業の形式	実習								
到達目標と対応する学習成果	① 植物栽培の管理について深い技術を修得することができる					学習成果 6) 応用的専門技能			
	② 植物や農産物の販売方法、仕組み、接客方法について理解することができる					学習成果 6) 応用的専門技能			
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
履修上の注意点／試験やレポート等に対するフィードバックの方法	作業が伴う場合は作業着を着用する。各講義で前回講義の復習を行う。受講生は講義ごとに要点をまとめてレポート作成しておくことが望ましい。								
評価の方法と基準	レポートにより評価する。 学習成果6) 応用的専門技能 100点 (到達目標①50点、到達目標②50点 レポート100%)								
教科書	特にないが、適宜プリントを配布する								
参考書	・ ・ ・ ・								
授業計画	回	授業内容			フリートップ ラーニング	授業以外の学習(予習・復習などの具体的内容及びそれに必要な時間)			
	1	ガイダンス			○	1回目の授業で学習した内容(ガイダンス)を復習する(約30分)。2回目の授業予定の内容(農作物の基礎知識)を予習する(約30分)。			
	2	農産物の基礎知識(栽培方法、輸送、貯蔵、調理方法)			○	2回目の授業で学習した内容(農作物の基礎知識)を復習する(約30分)。3回目の授業予定の内容(接客マナー)を予習する(約30分)。			
	3	接客マナー			○	3回目の授業で学習した内容(接客マナー)を復習する(約30分)。4回目の授業予定の内容(店舗経営、マネージメント)を予習する(約30分)。			
	4	店舗運営、マネージメント			○	4回目の授業で学習した内容(店舗経営、マネージメント)を復習する(約30分)。5回目の授業予定の内容(店舗経営、マネージメント)を予習する(約30分)。			
	5	店舗運営、マネージメント			○	5回目の授業で学習した内容(店舗経営、マネージメント)を復習する(約30分)。6回目の授業予定の内容(店舗経営、マネージメント)を予習する(約30分)。			
	6	店舗運営、マネージメント			○	6回目の授業で学習した内容(店舗経営、マネージメント)を復習する(約30分)。7回目の授業予定の内容(店舗経営、マネージメント)を予習する(約30分)。			
	7	店舗運営、マネージメント			○	7回目の授業で学習した内容(店舗経営、マネージメント)を復習する(約30分)。8回目の授業予定の内容(店舗経営、マネージメント)を予習する(約30分)。			
	8	店舗運営、マネージメント			○	8回目の授業で学習した内容(店舗経営、マネージメント)を復習する(約30分)。9回目の授業予定の内容(店舗経営、マネージメント)を予習する(約30分)。			
	9	店舗運営、マネージメント			○	9回目の授業で学習した内容(店舗経営、マネージメント)を復習する(約30分)。10回目の授業予定の内容(店舗経営、マネージメント)を予習する(約30分)。			
	10	店舗運営、マネージメント			○	10回目の授業で学習した内容(店舗経営、マネージメント)を復習する(約30分)。11回目の授業予定の内容(店舗経営、マネージメント)を予習する(約30分)。			
	11	店舗運営、マネージメント			○	11回目の授業で学習した内容(店舗経営、マネージメント)を復習する(約30分)。12回目の授業予定の内容(店舗経営、マネージメント)を予習する(約30分)。			
	12	店舗運営、マネージメント			○	12回目の授業で学習した内容(店舗経営、マネージメント)を復習する(約30分)。13回目の授業予定の内容(店舗経営、マネージメント)を予習する(約30分)。			
	13	店舗運営、マネージメント			○	13回目の授業で学習した内容(店舗経営、マネージメント)を復習する(約30分)。14回目の授業予定の内容(店舗経営、マネージメント)を予習する(約30分)。			
	14	店舗運営、マネージメント			○	14回目の授業で学習した内容(店舗経営、マネージメント)を復習する(約30分)。15回目の授業予定の内容(店舗経営、マネージメント)を予習する(約30分)。			
	15	店舗運営、マネージメント			○	15回目の授業で学習した内容(店舗経営、マネージメント)を復習する(約30分)。これまでの授業内容(店舗経営、マネージメント)をまとめる(約30分)。			
16									

科目コード	科目名	実務経験のある教員による授業	地域志向	単位	担当者	関連資格			
						生活	療法	樹木	フライフ
74 S J 12 AL	管理実習Ⅱ			1	鍵和田又一			○	
学習成果	学習成果 6)応用的専門技能								
	学習成果 8)多様性・協働性								
授業の概要	実際に植物を管理することで、道具の使い方および日頃観察できない植物の細部まで観察する。また、基本的な植物の管理を習得することを目的とする。さらに、これらを通じてより植物を知ることができるきっかけにしていきたいことを目標とする。								
授業の形式	実習								
到達目標と対応する学習成果	① 樹木の栽培管理技術を修得できる						学習成果 6)応用的専門技能		
	② 他者との協働作業ができる						学習成果 8)多様性・協働性		
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
履修上の注意点／試験やレポート等に対するフィードバックの方法	農場で作業を行うため、実習ができる服装で事前に準備すること。また、刃物などを使用するためケガのないように細心の注意をすること								
評価の方法と基準	学習成果番号6 応用的専門技能 80点(与えられた課題を遂行できたか) 学習成果番号8 多様性 協働性 20点(他者と協働して作業ができていくか)								
教科書									
参考書	・ 造園施工必携 社団法人日本造園組合連合会編								
	・								
	・								
	・								
授業計画	回	授業内容			アクティブラーニング	授業以外の学習(予習・復習などの具体的内容及びそれに必要な時間)			
	1	管理実習についての概要				管理実習の概要について30分時間予習し30分復習する			
	2	道具の管理・使用の説明				道具の管理使用について30分時間予習し30分復習する			
	3	樹木の移植方法について学ぶ				樹木の移植について30分時間予習し30分復習する			
	4	樹木園の整備(除草ほか)				管理作業について30分時間予習し30分復習する			
	5	樹木園の整備(アブローチほか)				管理作業について30分時間予習し30分復習する			
	6	樹木の剪定				剪定について30分時間予習し30分復習する			
	7	樹木の切り口の保護方法				保護材について30分時間予習し30分復習する			
	8	樹木の根まわし				根回しについて30分時間予習し30分復習する			
	9	樹木の根巻				根巻きについて30分時間予習し30分復習する			
	10	土壌環境の整備①土壌改良など				土壌改良について30分時間予習し30分復習する			
	11	土壌環境の整備②土壌改良など				土壌改良について30分時間予習し30分復習する			
	12	樹木の植え付け				植え付けについて30分時間予習し30分復習する			
	13	樹木の植え付け				植え付けについて30分時間予習し30分復習する			
	14	樹木の養生				養生について30分時間予習し30分復習する			
	15	樹木の養生				養生について30分時間予習し30分復習する			
16									